

目次

免責事項	5
最新情報	6
ログインと表示言語を設定する	7
ログイン情報を保存する	7
表示言語を設定する	7
インターフェイスを移動する	8
ナビゲーションツールバー	8
サイドバー	8
ワークエリア	9
ヘッダーバー	9
結果グリッド	9
レイアウトをカスタマイズする	11
情報を検索する	12
キューに入れられたコマンドとコマンド履歴を管理する	13
セルフサービスポータルについて	14
ユーザーにセルフサービスポータルへのアクセス権を与える	14
セルフサービスポータルへログインする	14
コンピューターを操作する	15
コンピューターの詳細を表示する	16
コンピューターへメッセージを送信する	33
コンピューター情報を収集する	34
モバイルデバイスを操作する	35
モバイルデバイスの管理に関する情報	36
デバイスの詳細を表示する	37
デバイスをロックする	46
デバイスのパスコードを管理する	47
デバイスを消去する	49
デバイスへメッセージを送信する	50
デバイス情報を更新する	51
デバイスの名前を変更する	52
デバイスのローミングオプションを設定する	53
デバイスにアプリケーションを配信する	54

デバイスのアプリケーションをアンインストールする	55
デバイスに構成プロファイルをインストールする	56
デバイスから構成プロファイルを削除する	57
デバイスにプロビジョニングプロファイルをインストールする	58
デバイスからプロビジョニングプロファイルを削除する	59
デバイスオーナーシップを設定する	60
デバイスの登録ユーザーを設定する	61
デバイスの組織情報を設定する	62
アクティベーションロックオプションを設定する	63
カスタムフィールド値を設定する	64
失敗したインストールを再試行する	65
デバイスをポリシーに追加する	66
ポリシーを操作する	67
ポリシーについて	68
ポリシーの詳細を表示する	69
標準ポリシーを作成する	70
スマートポリシーを作成する	71
フィルターを理解する	72
フィルターフィールドを使用する	72
フィルターの組み合わせ	72
フィルターを削除する	73
ポリシー内のインハウスアプリケーションを操作する	74
ポリシーにインハウスアプリケーションを追加する	74
ポリシーからインハウスアプリケーションを削除する	75
ポリシー内のサードパーティアプリケーションを操作する	77
ポリシーにサードパーティアプリケーションを追加する	77
ポリシーからサードパーティアプリケーションを削除する	78
ポリシー内の構成プロファイルを操作する	79
構成プロファイルをポリシーに追加する	79
構成プロファイルの割り当てルールを編集する	80
ポリシーから構成プロファイルを削除する	81
ポリシー内のメディアファイルを操作する	83
メディアファイルをポリシーに追加する	83

メディアファイルの割り当てルールを編集する	84
ポリシーからメディアファイルを削除する	85
ポリシー内のアクションを操作する	86
スマートポリシーにアクションを追加する	86
アクションの割り当てルールを編集する	86
スマートポリシーからアクションを削除する	87
ポリシーを編集する	88
標準ポリシーを編集する	88
スマートポリシーを編集する	89
ポリシーを削除する	91
割り当て可能なアイテムを操作する	92
メディアファイルをインポートする	93
メディアファイルの詳細を表示する	97
メディアファイルのプロパティを編集する	99
メディアファイルを削除する	102
インハウスアプリケーションの詳細を表示する	103
サードパーティアプリケーションの詳細を表示する	105
電子書籍の詳細を表示する	107
構成プロファイルの詳細を表示する	108
プロビジョニングプロファイルの詳細を表示する	109
アクションを操作する	110
アクションの詳細を表示する	111
アクション:デバイスへメッセージを送信	113
アクション:メールを送信	114
アクション:SMS を送信	115
アクション:ローミングオプションを設定	116
アクション:アクティベーションロックオプションを設定	117
アクション:壁紙を設定	119
アクション:デバイス名を設定	120
アクション:カスタムフィールド値の設定	121
アクション:デバイス情報のアップデート	122
アクション:アテンションモードの設定	123

アクション:デバイスをフリーズ	124
アクション:VPP招待を送る	125
アクション:VPP でのユーザー登録	127
アクション:VPP からのユーザー退任	129
アクション:構成プロファイルを削除	130
アクション:非管理中デバイスへの降格	131
アクションを編集する	132
アクションを複製する	133
アクションを削除する	134
カスタムフィールドを操作する	135
カスタムフィールドを作成する	136
カスタムフィールドを編集する	137
カスタムフィールドを複製する	138
カスタムフィールドを削除する	139
用語集	141

免責事項

本書ならびにそこに記載されるソフトウェアは機密情報であり、秘密保持契約書によって保護されている専有情報が含まれます。本書のいかなる部分も、Absolute® Software Corporation による明示的な書面による同意なしに、いかなる形態での複製も、秘密保持契約に縛られないいかなる団体への開示も行うことはできません。

Absolute Software Corporation は本書を改訂し、定期的にその内容を変更する権利を保持します。また、こうした改訂または変更は、事前の契約で要求される場合を除き、義務ではありません。

本書に含まれる情報は、正確なものと言えますが、あくまで製品の応用のための指針として提供しているものであり、何らかの保証をするものではありません。Absolute Software Corporation は本書の使用について責任を負うことも、本書の使用に起因する特許権または第三者の他の権利の侵害の責任を負うこともありません。

Absolute Software Corporation
Suite 1600 Four Bentall Centre
1055 Dunsmuir Street
PO Box 49211
Vancouver, British Columbia
Canada V7X 1K8

©2015 Absolute Software Corporation. 無断複写・複製・転載を禁ず。Computrace および Absolute は Absolute Software Corporation の登録商標です。LoJack は LoJack Corporation の登録商標であり、Absolute Software Corporation によるライセンス契約の下で使用されます。LoJack Corporation は本書の一切の内容に責任を負いません。他のすべての商標は、該当する各社が所有しています。Absolute Software Corporation に発行された特許のリストについては、www.absolute.com/patentsを参照してください。

アプリケーションのバージョン: 1.6
最終更新日(日/月/年): 08/07/2015

最新情報

Absolute Manage Web Admin バージョン 1.6 には、次のような新しい機能や更新された機能があります。

- Absolute Manage サーバーに登録されたコンピューターを表示し、その詳細にアクセスするための[アプリケーション内の新しいエリア](#)
- コンピューターへの[メッセージの送信](#)機能と、コンピューターからの[インベントリ情報の収集](#)機能
- コンピューターに関連するコマンドを含めるための、[キューに入れられたコマンドおよびコマンド履歴](#)エリアの拡大
- [アクション](#)の導入。アクションを作成してスマートポリシーに割り当てると、モバイルデバイスがポリシーに参加したときの Absolute Manage の動作を制御することができます
- モバイルデバイスに[カスタムフィールド](#)を作成し、管理する機能。カスタムフィールドを使用すると、Absolute Manage によって提供される情報アイテムの所定のリストを拡張し、組織の固有の要件を満たすカスタマイズしたインベントリを構築できます
- REST アーキテクチャに基づいたアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)。これにより、すべての AM Web Admin 機能へプログラミング機能を用いてアクセスできます (詳細は、リリースパッケージに含まれる API 資料を参照してください)
- セルフサービスポータルの日本語へのローカライゼーション
- Absolute Manage サーバーバージョン6.8.1 との互換性

ログインと表示言語を設定する

Absolute Manage Web Admin は、アプリケーションをログアウトしてブラウザを閉じた後でも、ログインページで設定した特定の設定を記憶することができます。

注記 ブラウザが cookies を拒否するように設定されている場合、設定は保存できません。

ログイン情報を保存する

同一のコンピューターから Absolute Manage Web Admin にログインするたびにサーバー情報やユーザー名を入力しないようにするには、ログインページの**ユーザー名とパスワードを保存**チェックボックスを選択します。これらの詳細は、ブラウザの cookies が削除されるまで保存されますが、ログイン時には引き続きパスワードを入力する必要があります。

保存したログイン情報を削除するには、**ユーザー名とパスワードを保存**チェックボックスの選択を解除してからログインしてください。

表示言語を設定する

ログインページに初めてアクセスすると、Absolute Manage Web Admin はブラウザに設定されているデフォルト言語で表示されます。Absolute Manage Web Admin がブラウザのデフォルト言語をサポートしない場合、代わりに英語が使用されます。

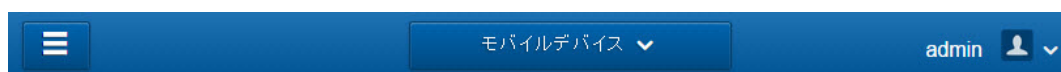
デフォルト以外の言語を使用したい場合、ログインページのドロップダウンリストから利用可能な言語を選択することで、容易に切り替えることができます。

インターフェイスを移動する

Absolute Manage Web Admin ワークスペースは、以下のメインエリアで構成されます:

- [ナビゲーションツールバー](#)
- [サイドバー](#)
- [ワークエリア](#)

ナビゲーションツールバー



Absolute Manage Web Admin のすべてのページの上 部に、ナビゲーションツールバーがあります。このツールバーを使用すると、アプリケーションのあるエリアから別のエリアに素早く移動できます。以下の表は、ツールバーから実行できる操作を説明します:

アイコン	説明
	クリックするとアプリケーションのメインエリアに移動します。このメニューから コマンドのキューと履歴を表示 することもできます。
	クリックするとホームページに移動します。
	現在作業中のアプリケーションのレベルを示します。クリックするとアプリケーション階層内のより高いエリアに移動します。
	クリックすると製品バージョンとログイン情報を開く、または、アプリケーションをログアウトします。

サイドバー



Absolute Manage Web Admin のほとんどのページの左 側に、サイドバーがあります。サイドバーには、特定エリアの項目に移動できるリンクがあります。たとえば、モバイルデバイスエリアのサイドバーには、お客様の組織のすべての管理デバイスに対するリンクが、デバイスの種類によってまとめて表示されます。また、具体的な検索条件を使用して特定の項目を探すための検索フィールドもあります。

サイドバーの右端にある矢印をクリックすると、このサイドバーを非表示にすることができます。非表示にしたサイドバーを表示するには、タブをもう一度クリックします。

ワークエリア

割り当て可能なインハウスアプリケーション

すべて 🔍 検索 列の表示/非表示

結果: 8 アイテム								
アプリ名	OS タイプ	バージョン	ビルド番号	サイズ	説明	バンドル識別子	互換性	ユニバーサル
AbsoluteApps	iOS	1.4.2	898	1.96 MB	AA	com.absolute.AppStore	4.0+	はい
AbsoluteAppsIOS	Android	2.0.1	1086	1.31 MB	Do not chage description. Search ...	com.absolute.absoluteapps	2.2+	いいえ
AbsoluteSafe	iOS	1.3	640	1.88 MB	AbsoluteSafe	com.absolute.AbsoluteSafe.inhouse	4.0+	はい
AbsoluteSafe	Android	2.0	301	12.66 MB	AbsoluteSafe	com.absolute.android.abtsafe	2.2+	いいえ
AndroMoney Expense Track ...	Android	2.3.5	40	1.94 MB	AndroMoney Expense Track Money	com.kpmoney.android	2.2+	いいえ
Helpdesk	iOS	1.0	107	15.35 KB	ghfg	com.absolute.Helpdesk	4.0+	はい
Marketing	iOS	1.0	107	15.88 KB	ghfgf	com.absolute.Marketing	4.0+	はい
Routing Settings	Android	1.0	1	276.43 KB	RoutingSettings	com.sec.knox.KnoxRoutingSetting...	2.2+	いいえ

一般的に、ワークエリアは項目を表示し、それに対して操作を行う場所です。ワークエリアは、結果グリッドのヘッダーバーを含むページ右側のフレームを取り囲んでいます。

ヘッダーバー

ヘッダーバーには以下のコンポーネントが含まれます:



- ページまたは項目のタイトル: たとえば、**割り当て可能なアイテム > 構成プロファイル**に移動すると、ヘッダーバーに示されるページの名前は、割り当て可能な構成プロファイルになります。
- 検索フィールド: 具体的な検索条件を使用して個々の項目を検索します。たとえば、モバイルデバイスエリアで特定のバージョンのオペレーティングシステムを実行するすべての管理デバイスを検索することができます。
- ワークエリアのツールバー: 作業中のエリアに固有の制御機能が含まれます。たとえば、モバイルデバイスエリアでポリシーを追加ボタンをクリックすると、ポリシーまたはスマートポリシーを作成できます。
- ヘルプボタン: クリックするとオンラインヘルプが開きます。この状況依存のヘルプを開くと、現在作業中のページまたはダイアログに関連する情報が表示されます。

結果グリッド

Absolute Manage Web Admin のほとんどのページで、ワークエリアの下部に結果グリッドが含まれます。結果グリッドは行と列の表であり、要求された情報を整理して表示します。たとえば、モバイルデバイスエリアですべての管理デバイスを表示するとき、デバイスが結果グリッドに表示されます。作業中のエリアに応じて、結果グリッドで以下の操作をコンテンツに対して実行することができます:

- 個々の項目の詳細を表示する
- ある項目で、または複数の項目で同時に操作を実行する
- 複数の結果ページを移動する
- [列を調整する](#)

また、グリッド内の結果の並び替え方法も変更できます:


- 現在、結果は列ヘッダーに   アイコンが付いた列によって並び替えられています。
- 別の列で結果を並び替えるには、適切な列ヘッダーをクリックします。

- 並び替えの順番を逆にするには、列ヘッダーをもう一度クリックします。アイコンは、結果が昇順 (▲) または降順 (▼) のどちらで並び替えられているかを示します。

列レイアウトをカスタマイズする

列を表示および非表示にすることで、結果グリッドに含まれる情報をカスタマイズすることができます。また、結果グリッド内で列の幅や場所を変更できます。システムは、ログアウトした後もカスタマイズしたレイアウトを記憶します。


➔ 結果グリッドの列レイアウトをカスタマイズするには:

1. 結果グリッドをカスタマイズしたいエリアに移動します。
2. **列の表示/非表示**をクリックします。
3. 列の表示/非表示ダイアログで、以下のアクションの1つ以上を実行して列を更新します:
 - 結果グリッドに列を追加するには:
 - i) 利用可能な列の下検索フィールドに、追加したい列の名前のすべて、または一部を入力します。利用可能な列のリストは、入力内容に合わせて動的に更新されます。または、このフィールドを空欄にして利用可能な列から選択します。
 - ii) 利用可能な列のリストから列の名前をドラッグし、含まれる列のリストに移動します。
 - 結果グリッドから列を削除するには、以下のいずれかを実行します:
 - 含まれる列のリストで、削除したい列の隣にある  アイコンをクリックします。
 - 含まれる列のリストから列の名前をドラッグし、利用可能な列のリストに移動します。
 - 含まれる列のリストの列の順番を変更するには、以下を実行します:
 - 列を結果グリッドの左側に移動させるには、列をリストの上部に向けてドラッグします。
 - 列を結果グリッドの右側に移動させるには、列をリストの下部に向けてドラッグします。
4. 変更没有问题がなければ、**完了**をクリックします。列の表示/非表示ダイアログが閉じます。
5. 結果グリッド内の列の幅を変更するには、好みの幅になるまで列のヘッダー右側にある境界をドラッグします。

情報を検索する

Absolute Manage Web Adminの多くのページで、特定の検索基準を使用して情報を素早く見つけることのできる検索フィールドがあります。

➔ 結果グリッド内の情報を検索するには:

1. 検索を行うエリアに移動します。デフォルトで、すべての利用可能な情報が結果グリッドに含まれています。
2. 特定の結果を検索するには、検索フィールドの隣にある  をクリックし、リストから検索基準を選択します。

注記 利用可能な検索基準のリストは、操作中のエリア内の利用可能な列によって変わります。通常、結果グリッドで表示されている列は、検索基準として使用できます。

3. 検索フィールドに、情報を探すために使用する検索キーワードのすべて、または一部を入力します。

検索結果は、入力内容に合わせて結果グリッドで動的に更新されます。

キューに入れられたコマンドとコマンド履歴を管理する


Absolute Manage Web Adminユーザーがモバイルデバイスとコンピューターに発行したコマンドに関する情報は、アプリケーションの以下のエリアから表示することができます。

- **キューに入れられたコマンド**: Absolute Manage Web Admin から送信されたコマンドに関する情報が含まれます。これらのコマンドはまだ目標デバイスで実行されていない、実行保留中の状態です。コマンドが開始されたときに目標デバイスが利用できなかったためにコマンドがキューに入れられた可能性があります。
- **コマンド履歴**: Absolute Manage Web Admin から送信されたコマンドに関する情報が含まれます。これらのコマンドはまだ(成功または失敗を問わず)目標デバイスで実行されていません。コマンドの実行中にエラーが発生した場合、このページに表示されます。

これらのページに記載したくないコマンドは、削除することもできます。


- コマンド履歴からコマンドを削除すると、そのコマンドは結果グリッドから削除されるだけです。
- コマンドをキューから削除すると、結果グリッドから削除されるだけでなく、システムがそのコマンドをデバイスにプッシュしていない場合、対象デバイス上でそのコマンドが実行されなくなります。

➔ キューに入れられたコマンドまたはコマンド履歴を表示するには:


1. 画面の左上で  をクリックします。
2. メニューから**キューに入れられたコマンドまたはコマンド履歴を表示する**を選択します。
3. デバイスタイプのサイドバーで、**コンピューター**または**モバイルデバイス**のどちらのコマンドを表示するか選択します。
4. 検索フィールドを使用して、具体的な条件でリストを絞り込み、特定のコマンドを素早く探し出すことができます。検索結果は、入力内容に合わせて動的に更新されます。

注記 結果グリッドの最新情報を表示するために、ブラウザの更新ボタンのクリックが必要な場合があります。

➔ キューに入れられたコマンドまたはコマンド履歴を削除するには:

1. 画面の左上で  をクリックします。
2. メニューから**キューに入れられたコマンドまたはコマンド履歴を表示する**を選択します。
3. デバイスタイプのサイドバーで、**コンピューター**または**モバイルデバイス**のどちらのコマンドを削除するか選択します。
4. 削除したい各コマンドのチェックボックスを選択します。

注記 キューに入れられたコマンドを削除すると、システムがそのコマンドをデバイスにプッシュしていない場合、対象デバイス上でそのコマンドが実行されなくなります。

5.  をクリックします。
6. **コマンドを削除**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

セルフサービスポータルについて

Absolute Manage Web Admin は、セルフサービスポータルとセットで使用すると、デバイスユーザーが自分のアカウントに登録しているコンピューターやモバイルデバイスを遠隔で管理できるようになります。セルフサービスポータルの使用を推奨すると、ユーザーが自分の問題を自身の力で解決できるようになるため、IT サポートに必要な労力を減らすことができると考えられます。

セルフサービスポータルでユーザーが実施できる管理タスクは、デバイスのプラットフォームによって異なりますが、以下などが含まれます。

- デバイスの詳細情報を表示する
- 不正アクセスを防止するため、デバイスをロックする
- パスコードを消去および設定する
- デバイスへメッセージを送信する
- 紛失または盗難にあったデバイスを消去する

ユーザーにセルフサービスポータルへのアクセス権を与える

セルフサービスポータルを使用するには、デバイスユーザーが Absolute Manage の「登録ユーザー」と見なされる必要があります。登録ユーザーのインポートと、Absolute Manage でのデバイスの登録については、*Absolute Manage ユーザーガイド*を参照してください。

デバイスユーザーにセルフサービスポータルへのアクセス権を与えることを決定した場合、このポータルのウェブアドレスを通知する必要があります。このウェブアドレスは、通常は以下ようになります。https://<アドレス>/mylogin/ (例: https://amwebadmin.company.com/mylogin/) Absolute Manage Web Admin のログインページの右下には、セルフサービスポータルへの直接リンクもあります。

また、デバイスユーザーに、セルフサービスポータルへのログイン方法に関する詳細情報を提供することもできます。ログイン後、デバイスユーザーがヘルプにアクセスすると、ユーザーが実施できる各タスクをステップごとに案内します。

セルフサービスポータルへログインする

➔ セルフサービスポータルへログインするには:

1. お手元のブラウザに、セルフサービスポータルのウェブアドレスを入力します。

注記 または、Absolute Manage Web Adminのログインページの右下にある**セルフサービスポータル**リンクを選択することもできます。

2. セルフサービスポータルのログインページで、以下の情報を入力します。
 - **ユーザー名** – Absolute Manage の登録ユーザーアカウントに関連付けられているユーザー名
 - **パスワード** – Absolute Manage の登録ユーザーアカウントに関連付けられているパスワード
 - **ドメイン名** – Absolute Manage の登録ユーザーアカウントに関連付けられているドメイン名
3. 同一のコンピューターからセルフサービスポータルにログインするたびにユーザー情報を入力しないようにするには、**ユーザー名とパスワードを保存**チェックボックスを選択します。
4. **ログイン**をクリックします。

コンピューターを操作する

コンピューターエリアを使用して IT 展開内のコンピューターを表示し、これらのデバイスの管理処理を行います。

このエリアに初めてアクセスした際は、すべてのタイプのコンピューターが一覧表示されています。特定のタイプのコンピューターのみ扱う場合、コンピューターのサイドバーから、以下のデバイスグループのいずれかを選択することで、このリストをフィルタリングすることができます。

- すべてのコンピューター
- PC
- MAC

また、検索フィールドに特定の検索条件を入力して[個別のデバイスを検索](#)したり、結果グリッドに含まれる[情報をカスタマイズ](#)したりできます。

コンピューターエリアでは、以下のタスクを実行することができます。

- [コンピューターの詳細を表示する](#)
- [コンピューターへメッセージを送信する](#)
- [コンピューター情報を収集する](#)

コンピューターの詳細を表示する

コンピューターの詳細ページは、そのハードウェアプロファイル、インストール済みソフトウェア、ネットワークアダプターを含め、コンピューターに関する情報をすべて一覧表示します。

→ コンピューターの詳細を表示するには:

1. **コンピューター > すべてのコンピューター**に移動すると、お客様の組織のすべてのコンピューターのリストが表示されます。
2. 結果グリッドで、詳細を表示したいコンピューターをクリックします。

コンピューターの詳細ページが開きます。以下の表は、このページで利用可能なコンピューター情報をまとめたものです:

フィールド	説明
OS プラットフォーム	コンピューターで使用中のオペレーティング・システムのタイプ
OS バージョン	オペレーティング・システムのバージョン番号
最終ハートビート	コンピューターにインストールされたエージェントから、最後にハートビート信号を受信した日付と時刻
記録作成日	Absolute Manage サーバーでこのコンピューターの記録が作成された日付と時刻
エージェントのアクティブ IP	コンピューターの IP アドレスであり、最後の連絡時にエージェントがレポートして、Absolute Manage サーバー上に記録されたもの 注記 コンピューターに複数の IP アドレスがある場合、このフィールドには「n/a」と表示されます。
エージェントバージョン	コンピューターにインストールされた Absolute Manage エージェントのバージョン番号
エージェントのビルド番号	コンピューターにインストールされた Absolute Manage エージェントのビルド番号
エージェントのシリアル番号	コンピューターにインストールされた Absolute Manage エージェントの固有のシリアル番号
コンピューターオンライン	コンピューターがその最後の予約ハートビート信号を送信したかどうかを示します
SD サーバーアドレス	このコンピューターに指定されたソフトウェア配信サーバーの IP アドレスまたは DNS 名
LM サーバーアドレス	このコンピューターに指定されたライセンス監視サーバーの IP アドレスまたは DNS 名
SD サーバーチェック間隔	Absolute Manage エージェントで設定した、ソフトウェア配信サーバーに新しいインストールパッケージがないか確認する間隔 (分単位)
LM サーバーチェック間隔	Absolute Manage エージェントで設定した、ライセンス監視サーバー上のライセンス仕様に変更がないか確認する間隔 (分単位)
OS パッチ管理に含まれる	エージェントが、Apple または Microsoft のオペレーティング・システムとソフトウェアパッチを確認し、Absolute Manage のソフトウェア配信機能を使用してそれらをインストールするように設定されているかどうかを示します

フィールド	説明
サードパーティパッチ管理に含まれる	エージェントが、サポートされるサードパーティソフトウェアのソフトウェアパッチを確認し、Absolute Manage のソフトウェア配信機能を使用してそれらをインストールするように設定されているかどうかを示します
OS のアップデートには Absolute Manage のみ使用	コンピューターが、オペレーティング・システムのアップデートを、Absolute Manage のパッチ管理のみを通じて、ソフトウェアアップデート (OS X の場合) または Windows Update (Windows の場合) を通さずに受け取るかどうかを示します
Absolute Remote が有効	エージェントの画面共有機能がこのコンピューターで有効かどうかを示します
Absolute Remote ポート	エージェントが画面共有接続を受理するポート
Absolute Remote のユーザー確認が必要	エージェントが接続を確立する前に、コンピューターのユーザーが画面共有リクエストを受理する必要があるかどうかを示します
コンピューターのオーナーシップ	コンピューターのオーナーの種類 (会社、ユーザー、ゲスト)
コンピューターの登録日	このコンピューターが Absolute Manage を通じて MDM に登録された日付 (あれば)
コンピューターが MDM に登録済み	このコンピューターが Absolute Manage を通じて MDM に登録されているかどうかを示します
コンピューターが登録プログラムを通じて登録済み	このコンピューターが登録プログラムを通じて MDM に登録されているかどうかを示します (他の手段により登録されている場合の反対)
コンピューター登録プログラムの登録日	コンピューターが登録プログラムに記録された日付 (MDM に登録しているコンピューターでのみ利用可能)
コンピューター登録プロファイルの割り当て日	コンピューターに現在の登録プログラムが割り当てられた日付 (MDM に登録しているコンピューターでのみ利用可能)
コンピューター登録プロファイルの UUID	このコンピューターに割り当てられた登録プロファイルの UUID (MDM に登録しているコンピューターでのみ利用可能)
コンピューター登録ステータス	<p>コンピューターが Apple のデバイス登録プログラムに参加中で、登録ステータスを提供するかどうかを示します。このフィールドには以下の値が考えられます:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 登録プログラムに存在しない – デバイスは登録プログラムに参加していません ● 未割り当て – デバイスは登録プログラムに参加していますが、現在登録プロファイルがデバイスに割り当てられていません ● 割り当て済み – 登録プロファイルがデバイスに割り当てられていますが、デバイスは MDM に登録されていません ● インストール済み – 登録プロファイルがデバイスにインストールされています。つまり、デバイスは MDM に登録され、プロファイルオプションが有効になっています
コンピューターのデバイス識別子 (UDID)	管理コンピューターの対象識別子 (一意の内部 ID) (MDM に登録しているコンピューターでのみ利用可能)
コンピューターを追跡中	コンピューターが現在 Absolute Manage のコンピューター追跡機能を通じて監視されているかどうかを示します

フィールド	説明
クライアント情報 1-10	<p>ユーザー定義可能なコンテンツの情報フィールド。これらのフィールドには、アドミニストレーターまたはローカルユーザーが指定する任意のテキストタイプが含まれます。</p> <p>注記 これらのフィールドの実際の名前は異なる場合があります。</p>

3. コンピューターの詳細をさらに表示するには、**ハードウェア**、**CPU**、**システムソフトウェア**、**メモリー**、**ボリューム**、**ネットワークアダプター**、**不足しているパッチ**、**インストール済みソフトウェア**、および**インストール済みプロファイル**のタブを順番にクリックします。

以下の表は、これらのタブで利用可能なコンピューター情報をまとめたものです:

フィールド	適用先	説明
ハードウェア		
コンピューターのシリアル番号	すべてのコンピューター	<p>コンピューターのシリアル番号</p> <p>注記 Windows ベースのコンピューターでは、シリアル番号がない場合があります。</p>
プライマリ MAC アドレス	すべてのコンピューター	コンピューターの現在の一次ネットワーク接続の MAC アドレス
日時	すべてのコンピューター	<p>エージェントからの最後のハートビート信号の間に報告された、コンピューターの内部クロックの日時</p> <p>注記 コンピューターのローカルクロックとサーバーのクロックの違いは、このフィールドと最終ハートビートフィールドを比較するとわかります (どちらも、二つの異なるクロックで同時刻に計測された値を表示します)。</p>
ROM 起動情報	すべてのコンピューター	コンピューターの起動 ROM の情報文字列。この文字列の正確な内容とフォーマットは、ROM のベンダーに依存します。
メモリースロット	すべてのコンピューター	コンピューターのマザーボード上の RAM のスロット番号
メモリーモジュール数	すべてのコンピューター	コンピューターにインストールされている RAM モジュールの数
物理メモリー	すべてのコンピューター	コンピューターにインストールされた実際の RAM の合計量
合計スワップ領域	すべてのコンピューター	コンピューターのハードディスク上で現在予約されているスワップ領域のサイズ
使用済みスワップ領域	すべてのコンピューター	コンピューター上のディスクにスワップされたデータの現在の量
空きスワップ領域	すべてのコンピューター	コンピューターのハードディスク上で現在予約されているが、現在未使用のスワップ領域のサイズ
暗号化済みスワップ領域	OS X コンピューターのみ	スワップファイルの暗号化が有効になったかどうかを示します

フィールド	適用先	説明
ボリューム数	すべてのコンピューター	コンピューターにマウントされているボリュームの数
ATA デバイス数	すべてのコンピューター	コンピューターに接続され、電源が入っている ATA デバイスの数
SCSI デバイス数	すべてのコンピューター	コンピューターに接続され、電源が入っている SCSI デバイスの数
FireWire デバイス数	すべてのコンピューター	コンピューターに接続され、電源が入っている FireWire デバイスの数
USB デバイス数	すべてのコンピューター	コンピューターに接続されている USB デバイスの数
PCI デバイス数	すべてのコンピューター	コンピューターにインストールされている PCI カードの数
ディスプレイ数	すべてのコンピューター	コンピューターに接続され、認識されているディスプレイデバイスの数
BIOS 日付	Windows コンピューターのみ	BIOS に保存されているコンピューターの BIOS の作成日
BIOS ベンダー	Windows コンピューターのみ	コンピューターの BIOS の作成者
BIOS バージョン	Windows コンピューターのみ	コンピューターの BIOS のバージョン番号
BIOS タイプ	Windows コンピューターのみ	コンピューターでアクティブな BIOS のタイプ: レガシーまたは UEFI
SMBIOS バージョン	Windows コンピューターのみ	コンピューターのシステム管理 BIOS のバージョン番号
メインボード 製造業者	Windows コンピューターのみ	コンピューターで使用されているマザーボードのベンダー
メインボード 製品名	Windows コンピューターのみ	ベンダーにより指定されているマザーボード名
メインボードのシリアル番号	Windows コンピューターのみ	マザーボードのシリアル番号
メインボードのタイプ	Windows コンピューターのみ	ベンダーにより指定されているコンピューターで使用されているマザーボードのタイプ
メインボードのバージョン	Windows コンピューターのみ	コンピューターで使用されているマザーボードのバージョン番号
メインボードのアセットタグ	Windows コンピューターのみ	コンピューターのマザーボードのアセットタグ
システムエンクロージャー 製造業者	Windows コンピューターのみ	コンピューターのケースのベンダー
システムエンクロージャーのシリアル番号	Windows コンピューターのみ	コンピューターのケースのシリアル番号
システムエンクロージャーのタイプ	Windows コンピューターのみ	コンピューターのケースのタイプ

フィールド	適用先	説明
システムエンクロージャーのバージョン	Windows コンピューターのみ	コンピューターのケースのバージョン番号
システムエンクロージャーのアセットタグ	Windows コンピューターのみ	コンピューターのケースのアセットタグ
コンピューターの製造業者	Windows コンピューターのみ	コンピューターの製造業者
コンピューターのバージョン	Windows コンピューターのみ	コンピューターのバージョン番号
コンピューターのモデル	Windows コンピューターのみ	コンピューターのモデル番号
コンピューターのサービスタグ	Windows コンピューターのみ	コンピューターのサービスタグ
コンピュータータイプ	OS X コンピューターのみ	コンピューターの正確なモデル
SMC バージョン	OS X コンピューターのみ	コンピューターの SMC ファームウェアのバージョン番号 (Intel ベースの Mac のみ)
コンピューターの製造年数	OS X コンピューターのみ	コンピューターの製造年数。つまり、製造後の経過年数
コンピューターの製造日	OS X コンピューターのみ	コンピューターの製造日
コンピューターの製造工場	OS X コンピューターのみ	コンピューターが製造された場所
Apple 製品名	OS X コンピューターのみ	<p>このタイプのコンピューターに関して Apple が使用する正式な製品名</p> <hr/> <p>注記 このフィールドの内容は、Apple のサーバーからコンピューターのシリアル番号に基づいてダウンロードされます。そのため、Absolute Manage エージェントがインストールされた後、少なくとも 1 度はコンピューターがインターネット接続している場合にのみ利用できます。このフィールドは、コンピューターが Apple サーバーへ接続している限り、10 日ごとに更新されます。</p> <hr/>
コンピューターの購入日	OS X コンピューターのみ	<p>製造業者のファイルに従ったコンピューターの購入日</p> <hr/> <p>注記 この情報はコンピューターのベンダーのサーバーから読み込まれるもので、Absolute Manage エージェントがインストールされた後、少なくとも 1 度はコンピューターがインターネット接続している場合にのみ利用できます。加えて、この情報を提供しないベンダーも存在します。</p> <hr/>

フィールド	適用先	説明
コンピューターの保証情報	すべてのコンピューター	<p>コンピューターの現在の保証状態</p> <p>注記 この情報はコンピューターのベンダーのサーバーから読み込まれるもので、Absolute Manage エージェントがインストールされた後、少なくとも 1 度はコンピューターがインターネット接続している場合にのみ利用できます。加えて、この情報を提供しないベンダーも存在します。</p>
コンピューターの保証終了	すべてのコンピューター	<p>コンピューターの保証が終了する日付。値が「n/a」の場合、情報が無い、または保証が期限切れとなったことを示します。</p> <p>注記 この情報はコンピューターのベンダーのサーバーから読み込まれるもので、Absolute Manage エージェントがインストールされた後、少なくとも 1 度はコンピューターがインターネット接続している場合にのみ利用できます。加えて、この情報を提供しないベンダーも存在します。</p>
CPU		
OS プラットフォーム	すべてのコンピューター	コンピューターで使用中のオペレーティング・システムのタイプ
プロセッサのタイプ	すべてのコンピューター	メインプロセッサのシリーズおよびバージョン
プロセッサのベンダー	すべてのコンピューター	メインプロセッサの製造業者
プロセッサの速度	すべてのコンピューター	プロセッサのクロックレート
バスの速度	すべてのコンピューター	プロセッサのフロント側バスのクロック速度
物理コア	すべてのコンピューター	<p>コンピューターにインストールされているメインプロセッサコアの合計数</p> <p>注記 Windows ベースのマシンでは、起動プロセスの間に、またはタスクマネージャーで無効になった物理コアはここでは報告されません。</p>
アクティブコア	すべてのコンピューター	<p>コンピューターの現在有効なメインプロセッサコアの数。個々のコアが無効な場合、この数は物理コアより少ない場合があります (例えば消費電力を抑えるため)。</p> <p>注記 Windows ベースのマシンでは、タスクマネージャーで無効になったプロセッサはここでは報告されません。</p>
プロセッサ当たりのコア	OS X コンピューターのみ	メインプロセッサが所有するコアの数
プロセッサ L1 データ キャッシュ	すべてのコンピューター	プロセッサのデータ用レベル 1 キャッシュのサイズ

フィールド	適用先	説明
プロセッサ L1 インストラクションキャッシュ	すべてのコンピューター	プロセッサの命令用レベル 1 キャッシュのサイズ
プロセッサ L2 データキャッシュ	すべてのコンピューター	プロセッサのデータ用レベル 2 キャッシュのサイズ
プロセッサ L2 インストラクションキャッシュ	すべてのコンピューター	プロセッサの命令用レベル 3 キャッシュのサイズ
プロセッサ L3 キャッシュ	すべてのコンピューター	プロセッサのレベル 3 キャッシュのサイズ
プロセッサはハイパースレッディングをサポート	すべてのコンピューター	プロセッサが Intel のハイパースレッディング・テクノロジーをサポートするかどうかを示します
プロセッサのハイパースレッディングが有効	すべてのコンピューター	Intel のハイパースレッディング・テクノロジーが現在有効かどうかを示します 注記 Windows ベースのマシンでは、プロセッサがタスクマネージャーで無効になっている場合、このフィールドの情報は信頼できないおそれがあります。
プロセッサに MMX あり	Windows コンピューターのみ	プロセッサが Intel の MMX 命令セットをサポートするかどうかを示します
プロセッサに 3DNow あり	Windows コンピューターのみ	プロセッサが AMD の 3DNow! 命令セットをサポートするかどうかを示します
プロセッサに SSE あり	Windows コンピューターのみ	プロセッサが Intel の SSE 命令セットをサポートするかどうかを示します
プロセッサに SSE2 あり	Windows コンピューターのみ	プロセッサが Intel の SSE2 命令セットをサポートするかどうかを示します
プロセッサに SSE3 あり	Windows コンピューターのみ	プロセッサが Intel の SSE3 命令セットをサポートするかどうかを示します
プロセッサファミリー	Windows コンピューターのみ	製造業者が指定する、メインプロセッサのファミリー ID
プロセッサのモデル	Windows コンピューターのみ	製造業者が指定する、ファミリー内のメインプロセッサのモデル ID
プロセッサのステッピング	Windows コンピューターのみ	製造業者が指定する、モデル内のメインプロセッサのステッピング ID
システムソフトウェア		
OS プラットフォーム	すべてのコンピューター	コンピューターで使用中のオペレーティング・システムのタイプ
OS バージョン	すべてのコンピューター	オペレーティング・システムのバージョン番号
OS ビルド番号	すべてのコンピューター	オペレーティング・システムのビルド番号

フィールド	適用先	説明
OS の言語	すべてのコンピューター	<p>オペレーティング・システムのユーザーインターフェイス言語</p> <p>注記 単一言語のオペレーティング・システムの場合 (標準の Windows XP インストールなど)、このフィールドにはインストールされた言語が表示されます。インターフェイス言語を動的に変更できるオペレーティング・システムの場合 (OS X または Windows 7 など)、このフィールドには現在選択されている言語が表示されます。</p>
コンピューターの起動時間	すべてのコンピューター	コンピューターが最後に起動された日付と時刻
コンピューターのアップタイム	すべてのコンピューター	コンピューターが最後に起動してからの経過時間 (時間と分)。これは、最後のインベントリーの更新時点での最新情報です。
現在のユーザー名	すべてのコンピューター	コンピューターに現在ログインしているユーザーのフルネーム。ユーザーがログインしていない場合、このフィールドは空欄です。
現在のユーザーアカウント	すべてのコンピューター	ログイン中の現在のユーザーのアカウント名
現在のユーザーは管理者です	すべてのコンピューター	現在ログインしているユーザーにコンピューター上のアドミニストレーター権限があるかどうかを示します
最後のユーザーアカウント	すべてのコンピューター	コンピューターにログイン中の現在のユーザーのアカウント名。ユーザーがログインしていない場合、最後にログインしたユーザーのアカウント名が表示されます。
最後のユーザー名	すべてのコンピューター	コンピューターに現在ログインしているユーザーのフルネーム。ユーザーがログインしていない場合、最後にログインしたユーザーの名前が表示されます。
AD コンピューターの組織単位	すべてのコンピューター	コンピューターが所属するアクティブ・ディレクトリ組織単位の名前
AD コンピューターの組織単位パス	すべてのコンピューター	コンピューターが所属するアクティブ・ディレクトリ組織単位のパス
AD ユーザーの組織単位	すべてのコンピューター	コンピューターの現在のユーザーが所属するアクティブ・ディレクトリ組織単位の名前
AD ユーザーの組織単位パス	すべてのコンピューター	コンピューターの現在のユーザーが所属するアクティブ・ディレクトリ組織単位のパス
ディスク暗号化製品	すべてのコンピューター	<p>コンピューターで使用されているディスク暗号化ソフトウェアの名前 (あれば)</p> <p>注記 この情報は、.NET 2.0 または .NET 3.5 がインストールされている場合に限り、Windows XP および Windows Server 2003 クライアントで報告されます。</p>

フィールド	適用先	説明
ディスク暗号化バージョン	すべてのコンピューター	<p>コンピューターで使用されているディスク暗号化ソフトウェアのバージョン</p> <p>注記 この情報は、.NET 2.0 または .NET 3.5 がインストールされている場合に限り、Windows XP および Windows Server 2003 クライアントで報告されます。</p>
ディスク暗号化ステータス	すべてのコンピューター	<p>ディスク暗号化ソフトウェアが報告する、コンピューター上のディスク暗号化ソフトウェアの状態</p> <p>注記 この情報は、.NET 2.0 または .NET 3.5 がインストールされている場合に限り、Windows XP および Windows Server 2003 クライアントで報告されます。</p>
ディスク暗号化アルゴリズム	すべてのコンピューター	<p>ソフトウェアが報告する、ディスク暗号化ソフトウェアが使用している暗号化アルゴリズム</p> <p>注記 この情報は、.NET 2.0 または .NET 3.5 がインストールされている場合に限り、Windows XP および Windows Server 2003 クライアントで報告されます。</p>
ディスク暗号化キーのサイズ	すべてのコンピューター	<p>ディスク暗号化ソフトウェアが報告する、使用している暗号化キーの長さ(ビット単位)</p> <p>注記 この情報は、.NET 2.0 または .NET 3.5 がインストールされている場合に限り、Windows XP および Windows Server 2003 クライアントで報告されます。</p>
GMT デルタ	すべてのコンピューター	UTC (協定世界時) とコンピューターのクロックの間の差
夏時間	すべてのコンピューター	DST (夏時間) がコンピューターで有効になっているかどうかを示します
ユーザーの高速切り替えが有効	すべてのコンピューター	ユーザーアカウント間の高速切り替え (つまり、異なるアカウントを使用する前にすべてのアプリケーションを閉じ、ログアウトする必要がない) がコンピューター上で有効かどうかを示します
ファイアウォールが有効	すべてのコンピューター	オペレーティング・システムの内蔵ファイアウォールがこのコンピューターで有効かどうかを示します
インストール済みソフトウェアの数	すべてのコンピューター	<p>このコンピューターからインストールされ、Absolute Manage データベース内のインストール済みソフトウェア表に記載されているソフトウェアアイテムの数</p> <p>注記 インストール済みソフトウェアに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、インベントリーの収集 コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。</p>

フィールド	適用先	説明
不足している OS パッチの数	すべてのコンピューター	<p>このコンピューターで不足しているオペレーティング・システムのソフトウェア・パッチの数</p> <p>注記 パッチに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、インベントリーの収集 コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。</p>
プロセス数	すべてのコンピューター	<p>このコンピューターで実行され、Absolute Manage データベース内のプロセス表に記載されているプロセスの数</p> <p>注記 プロセスに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、インベントリーの収集 コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。</p>
ファイル数	すべてのコンピューター	<p>このコンピューター上に位置し、Absolute Manage データベース内のファイル表に記載されているファイルの数</p> <p>注記 ファイルに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、インベントリーの収集 コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。コマンドが認識したファイルのみが Absolute Manage データベースに保存されます。検索したコンピューター上のすべてのファイルではありません。</p>
フォント数	すべてのコンピューター	<p>このコンピューター上にインストールされ、Absolute Manage データベース内のフォント表に記載されているフォントの数</p> <p>注記 フォントに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、インベントリーの収集 コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。</p>
プリンター数	すべてのコンピューター	<p>このコンピューター上で定義され、Absolute Manage データベース内のプリンター表に記載されているプリンターの数</p> <p>注記 プリンターに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、インベントリーの収集 コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。</p>
Timbuktu アクセス	すべてのコンピューター	このコンピューターを Timbuktu を使用して遠隔で制御できるかを示します
VNC アクセス	すべてのコンピューター	このコンピューターをバーチャルネットワークコンピューティング (VNC) を使用して遠隔で制御できるかを示します

フィールド	適用先	説明
ネットワークアダプター数	すべてのコンピューター	コンピューターに現在接続されている、アクティブなネットワークアダプターの数
Absolute Remote が有効	すべてのコンピューター	エージェントの画面共有機能がこのコンピューターで有効かどうかを示します
リモートデスクトップ画面共有	すべてのコンピューター	Apple Remote Desktop または Microsoft Remote Desktop を通じた画面共有機能がコンピューター上で有効かどうかを示します
OS サービスパック	Windows コンピューターのみ	コンピューターにインストールされている、最新のオペレーティング・システムのサービスパック
OS インストール日	Windows コンピューターのみ	このオペレーティング・システムのコピーがコンピューターにインストールされた日付と時刻
アクティブ化した OS	Windows コンピューターのみ	このオペレーティング・システムのコピーがアクティブになっているかどうかを示します 注記 このフィールドは、Windows 2000 には適用されません。
OS アクティベーション猶予期間	Windows コンピューターのみ	終了する前にオペレーティング・システムをアクティベーションする必要がある猶予期間の最後 注記 このフィールドは、Windows 2000 には適用されません。
OS シリアル番号	Windows コンピューターのみ	このオペレーティング・システムのコピーのシリアル番号
OS 製品 ID	Windows コンピューターのみ	このコンピューター上にあるオペレーティング・システムの個々のコピーのシリアル番号。この値は、コントロールパネルのシステムエリアに表示される ID 番号です。
OS がボリュームライセンス契約である	Windows コンピューターのみ	ボリュームライセンスの一部として、このオペレーティング・システムのコピーがアクティブになっているかどうかを示します 注記 このフィールドは、Windows 2000 には適用されません。
仮想マシン	Windows コンピューターのみ	エージェントが内部で実行している仮想マシンの種類。Absolute Manage は、現在 Parallels、Virtual PC、および VMware を識別できます。エージェントが仮想マシン内部で実行されていないと、「ネイティブ」と報告されます。
セキュリティ識別子	Windows コンピューターのみ	アクティブ・ディレクトリおよび他のセキュリティ関連を目的として Windows が生成する一意の ID
OS 更新ユーティリティが有効	すべてのコンピューター	オペレーティング・システムのローカルな更新ユーティリティ (OS X コンピューターの Software Update や Windows コンピューターの Windows Update) がこのコンピューター上で有効になっているかどうかを示します

フィールド	適用先	説明
リモートアシスタンスを許可	Windows コンピューターのみ	このコンピューターでリモートアシスタンスが有効かどうかを示します
アシスタンスによるリモートコントロールを許可	Windows コンピューターのみ	リモートアシスタンスを通じたこのコンピューターの制御機能が有効かどうかを示します
PC Anywhere Access	Windows コンピューターのみ	このコンピューターを pcAnywhere を使用して遠隔で制御できるかどうかを示します
DameWare アクセス	Windows コンピューターのみ	このコンピューターを DameWare を使用して遠隔で制御できるかどうかを示します
Defender をインストール済み	Windows コンピューターのみ	このコンピューターに Windows Defender がインストールされているかどうかを示します
Defender が有効	Windows コンピューターのみ	このコンピューターで Windows Defender が現在有効かどうかを示します
Defender リアルタイム保護	Windows コンピューターのみ	このコンピューターで Windows Defender のリアルタイム保護が有効かどうかを示します
Defender オートスキャンが有効	Windows コンピューターのみ	このコンピューターで Windows Defender の自動スキャン機能が有効かどうかを示します
Defender エンジンバージョン	Windows コンピューターのみ	コンピューターにインストールされた Windows Defender のバージョン番号
Defender 定義バージョン	Windows コンピューターのみ	Windows Defender が使用するマルウェアの定義のバージョン番号
Windows サービス数	Windows コンピューターのみ	Absolute Manage データベースに含まれる、このコンピューターのサービス数 注記 サービスに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、 インベントリーの収集 コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。
Darwin バージョン	OS X コンピューターのみ	オペレーティング・システムの一部である Darwin のバージョン
個人ファイル共有	OS X コンピューターのみ	コンピューターで個人ファイル共有が有効かどうかを示します
Windows ファイル共有	OS X コンピューターのみ	コンピューターで Windows 用ファイル共有が有効かどうかを示します
個人ウェブ共有	OS X コンピューターのみ	コンピューターで個人ウェブ共有が有効かどうかを示します
遠隔ログイン	OS X コンピューターのみ	コンピューターで遠隔ログインが有効かどうかを示します
FTP アクセス	OS X コンピューターのみ	コンピューターで FTP アクセスが有効かどうかを示します
遠隔 Apple イベント	OS X コンピューターのみ	コンピューターで遠隔 Apple イベントが有効かどうかを示します
FileVault をサポート	OS X コンピューターのみ	このコンピューターで FileVault が利用できるかどうかを示します

フィールド	適用先	説明
FileVault が有効	OS X コンピューターのみ	このコンピューターで FileVault が有効かどうかを示します
FileVault の認証による再起動をサポート	OS X コンピューターのみ	FileVault 回復キーを提示すると、ローカルでパスワードを入力することなく、遠隔でこのコンピューターを再起動できるかどうかを示します
FileVault にパーソナルリカバリーキーがある	OS X コンピューターのみ	コンピューターが標準の、ローカルで生成された FileVault 回復キーを保持しているかどうかを示します
FileVault に組織リカバリーキーがある	OS X コンピューターのみ	このコンピューターに組織全体の FileVault 回復キーが設定されているかどうかを示します
FileVault がリカバリーキーを使用してアンロックされました	OS X コンピューターのみ	コンピューターが動作中で、最後の再起動が FileVault 認証済みの再起動オプションを用いて行われたかどうかを示します
サーバーに保存された FileVault リカバリーキー	OS X コンピューターのみ	このコンピューターの FileVault 回復キーが Absolute Manage Server に保存されたかどうかを示します。『はい』と『いいえ』に加えて、この値は『はい、未確認』となる場合があります。これは、このコンピューターの回復キーがサーバーに保存されていますが、キーが有効かどうか不明であることを示します (例えば、ユーザーが異なるキーを設定している場合があります)。
プリンター共有	OS X コンピューターのみ	コンピューターでプリンター共有が有効かどうかを示します
遠隔管理	OS X コンピューターのみ	Apple Remote Desktop 遠隔管理アクセス (画面共有の他に) が有効かどうかを示します
Wake on LAN が有効	OS X コンピューターのみ	コンピューターで Wake-on-LAN (管理用ネットワークアクセスを使用して、コンピューターのスリープ状態を解除します) が有効かどうかを示します
Wake on LAN をサポート	OS X コンピューターのみ	コンピューターが Wake-on-LAN をサポートするかどうかを示します
スタートアップアイテム数	OS X コンピューターのみ	<p>Absolute Manage データベース内のスタートアップアイテム表に記載されている、コンピューターのスタートアップアイテムの数</p> <p>注記 スタートアップアイテムに関する情報の収集または更新は、自動ではありません。更新は、インベントリの収集コマンドを使用することで明示的に引き起こすことができます。</p>
メモリー		
メモリスロットの名前	すべてのコンピューター	メモリスロットのラベル
メモリーのサイズ	すべてのコンピューター	スロットにインストールされているメモリーモジュールの RAM サイズ
メモリーの速度	すべてのコンピューター	メモリーモジュールがアクセスされるクロックレート

フィールド	適用先	説明
メモリーの種類	すべてのコンピューター	メモリースロットにインストールされているメモリーの一般的なタイプ (SDRAM や DDR SDRAM など)
ボリューム		
ボリューム名	すべてのコンピューター	ボリュームの名前 注記 Windows コンピューターでは、このフィールドは空欄です。
サイズ	すべてのコンピューター	フォーマット化したボリューム容量 (合計領域、空きまたは使用済み)
フォーマット	すべてのコンピューター	ボリュームをフォーマット化するために使用するファイルシステム (例えば、NTFS、FAT32、または Mac OS Extended)
ディスプレイ名	Windows コンピューターのみ	ボリュームの表示名
ボリュームタイプ	OS X コンピューターのみ	ボリュームの一般的なタイプ: ハードディスク、リムーバブル、サーバー
空き領域	すべてのコンピューター	絶対値でのボリュームの未使用領域
空き領域の割合 (%)	すべてのコンピューター	合計フォーマット化領域の割合でのボリュームの未使用領域
ドライブレター	Windows コンピューターのみ	ボリュームに割り当てられているドライブ名
ボリュームシリアル番号	Windows コンピューターのみ	ボリュームのシリアル番号
オブジェクト数	OS X コンピューターのみ	ボリューム上のオブジェクトの総数 (ファイルおよびフォルダー、可視および不可視) 注記 この情報は、サーバーボリュームでは使用できません。
フォルダ数	OS X コンピューターのみ	ボリューム上のディレクトリの総数 (可視および不可視) 注記 この情報は、サーバーボリュームでは使用できません。
ジャーナリング	OS X コンピューターのみ	このボリュームがジャーナリングされたかどうかを示します
ハードウェアによるロック	OS X コンピューターのみ	このボリュームがハードウェア設定を通じて書き込み保護されているかどうかを示します
ソフトウェアによるロック	OS X コンピューターのみ	このボリュームがソフトウェア設定を通じて書き込み保護されているかどうかを示します 注記 ハードウェアによって書き込み保護されたボリューム、例えば CD-ROM は、ソフトウェアによって書き込み保護されているとして表示されることがあります。

フィールド	適用先	説明
起動ボリューム	すべてのコンピューター	コンピューターを起動したのがこのボリュームからかどうかを示します
圧縮	すべてのコンピューター	このボリューム上のデータが、オペレーティング・システムによって圧縮されているかどうかを示します
ネットワークアダプター		
アダプターの名 前	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターのレベル (例えば Ethernet や AirPort)
アダプターの IP アドレス	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターに割り当てられた IP アドレス
アダプターのサブネット マスク	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターに割り当てられたサブネット マスク
アダプターの MAC アドレス	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターの MAC アドレス
構成タイプ	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターの設定方法 (例えば DHCP や手動)
プライマリーインターフェイス	すべてのコンピューター	このネットワークアダプターが、コンピューターのメイン IP インターフェイスとして使用されているものかどうかを示します
ルーターアドレス	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターに割り当てられたルーターの IP アドレス
DHCP サーバーアドレス	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターに IP アドレスを供給している DHCP サーバーの IP アドレス (あれば)
DNS サーバー	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターが連絡し、名前を IP アドレスに分解するように設定されたすべての DNS サーバーの IP アドレス。複数の DNS サーバーが指定されている場合、IP アドレスはコンマで区切られます。
検索ドメイン	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターで指定された、デフォルトの検索ドメイン。複数のドメインが指定されている場合、コンマで区切られます。
TCP 実装	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターで使用する TCP スタックの一般的なタイプ
デバイス名	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターの論理名
リンクステータス	すべてのコンピューター	このネットワークアダプターのネットワークリンクがアクティブかどうかを示します
アダプターの速度	すべてのコンピューター	このネットワークアダプターの現在の接続上の公称データレート
全二重	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターが、全二重モードで動作中であるかどうかを示します (半二重モードとは反対に)
アダプターのベンダー	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターの製造業者
ハードウェア	すべてのコンピューター	ネットワークアダプターのハードウェアカテゴリ
不足しているパッチ		

フィールド	適用先	説明
不足しているパッチの名前	すべてのコンピューター	不足しているパッチの名前
不足しているパッチのバージョン	すべてのコンピューター	不足しているパッチのバージョン番号
不足しているパッチの重要度	すべてのコンピューター	このパッチに定められた重大度 注記 この情報はパッチのソースによって供給され、パッチによっては存在しない場合があります。
不足しているパッチは必須である	Windows コンピューターのみ	Microsoft がこのパッチを必須としてマーキングしたかどうかを示します
不足しているパッチのリリース日	すべてのコンピューター	このパッチがソフトウェアベンダーからリリースされた日付
不足しているパッチは OS パッチです	すべてのコンピューター	このパッチがオペレーティング・システムのパッチかどうかを示します
不足しているパッチのアクション	Windows コンピューターのみ	このパッチにインストールまたはアンインストールアクションが含まれるかどうかを示します
不足しているパッチのインストール期日	Windows コンピューターのみ	Microsoft が推奨する、このパッチをインストールする日付
不足しているパッチの言語	Windows コンピューターのみ	このパッチで意図されているオペレーティング・システムの言語
インストール済みソフトウェア		
インストール済みソフトウェアの名前	すべてのコンピューター	ソフトウェアの名前
インストール済みソフトウェアの会社	Windows コンピューターのみ	ソフトウェアを製造した会社の名前
インストール済みソフトウェアの情報	OS X コンピューターのみ	ソフトウェアのバージョン情報ファイルからの追加情報
インストール済みソフトウェアのバージョン文字列	すべてのコンピューター	ソフトウェアの完全なバージョン情報
インストール済みソフトウェアのサイズ	すべてのコンピューター	ディスクにインストール済みのソフトウェアのサイズ
インストール済みソフトウェアのインストール日	すべてのコンピューター	ソフトウェアがコンピューターにインストールされた日付と時刻
インストール不可	Windows コンピューターのみ	クライアントコンピューター上に、ソフトウェアのアンインストールのエントリーが存在するかどうかを示します
ホットフィックス	Windows コンピューターのみ	このソフトウェアがホットフィックスとしてマーキングされたかどうかを示します
識別タイプ	すべてのコンピューター	Absolute Manage がコンピューター上でこのソフトウェアを発見した方法
インストール場所	Windows コンピューターのみ	コンピューター上のソフトウェアのパッチ。この情報は、そのインストーラーを受理することで識別されるソフトウェアでは使用できません。

フィールド	適用先	説明
インストール済みソフトウェアの製品 ID	すべてのコンピューター	Windows ソフトウェアの場合: レジストリーに記録された ID OS X ソフトウェアの場合: ソフトウェアのバンドル識別子
登録会社	Windows コンピューターのみ	この製品が登録されている会社
登録オーナー	Windows コンピューターのみ	この製品が登録されている人物
インストール実行者	Windows コンピューターのみ	ソフトウェアのインストール時に使用したユーザーアカウントの名前
インストール済みプロファイル		
インストール済みプロファイルの名前	OS X コンピューターのみ	構成ファイルの名前
インストール済みプロファイルのタイプ	OS X コンピューターのみ	プロファイルのタイプ: デバイスのプロファイルまたはユーザーのプロファイル。デバイスのプロファイルには、そのプロファイルがインストールされているデバイスに常に適用される設定が含まれます。ユーザープロファイルには、対応するユーザーアカウントが使用されるときのみ適用される設定が含まれます。
インストール済みプロファイルの識別子	OS X コンピューターのみ	プロファイルの識別文字列
インストール済みプロファイルのインストール日	OS X コンピューターのみ	プロファイルがコンピューターにインストールされた日付と時刻
インストール済みプロファイルの組織	OS X コンピューターのみ	プロファイルを提供した組織のオプションの名前
インストール済みのプロファイルが削除を許可	OS X コンピューターのみ	プロファイルを遠隔で削除できるか示します
ユーザー向けインストール済みプロファイル	OS X コンピューターのみ	このプロファイルがインストールされたユーザー。デバイスプロファイルの場合、このフィールドには「n/a」と記載されます。
インストール済みプロファイルの検証状態	OS X コンピューターのみ	プロファイルの署名 (あれば) を検証できるかどうかを示します。可能な値は、未署名」、未確認」(不正な変更を示す)、そして「不明」などです。
インストール済みプロファイルの説明	OS X コンピューターのみ	プロファイルのオプションの説明文字列

コンピューターへメッセージを送信する

管理中のコンピューターのユーザーに重要な情報を伝える必要がある場合、ユーザーが読めるようにコンピューターに直接メッセージを送信することができます。このコマンドは、従業員に次のコンピューターの管理に関する操作について伝える必要がある場合などに便利です。

➔ コンピューターへメッセージを送信するには:

1. メッセージを送信しようとするコンピューターが含まれる、コンピューターエリアのページに移動します。たとえば、**コンピューター > すべてのコンピューター**、[特定のコンピューターを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するコンピューターのチェックボックスを選択し、**コマンド > メッセージの送信**をクリックします。

また、コンピューターの詳細ページから、単独のコンピューターにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、メッセージを送信したいコンピューターをクリックします。当該コンピューターのコンピューターの詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**メッセージの送信**をクリックします。
3. 表示されたフィールドにメッセージを入力します。
 4. **メッセージの送信**をクリックします。
 5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

コンピューター情報を収集する

ネットワーク管理に役立てるため、管理中のコンピューターに関する幅広い情報を収集することができます。

管理中のコンピューターに関する情報は、定期的に Absolute Manage エージェントが収集し、Absolute Manage サーバーに送られます。この情報は次に Absolute Manage Web Admin が取り込んでアプリケーションで表示します。情報収集のプロセスはほぼ自動ですが、ある種の情報、例えばフォント、プリンター、スタートアップアイテム情報などは、ローカルの処理能力とネットワーク帯域幅を保護するため、リクエストがあった場合のみ収集します。これらの特定のアイテムに関する情報を取り込んだり、次にスケジュールされた更新を待てない場合に、他のコンピューターの情報を手動で更新するコマンドを送信できます。

➔ コンピューター情報を手動で収集するには:

1. 情報を収集しようとするコンピューターが含まれる、コンピューターエリアのページに移動します。たとえば、**コンピューター > すべてのコンピューター**、**特定のコンピューターを検索**に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するコンピューターのチェックボックスを選択し、**コマンド > インベントリの収集**をクリックします。

また、コンピューターの詳細ページから、単独のコンピューターにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、情報を収集したいコンピューターをクリックします。当該コンピューターのコンピューターの詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**インベントリの収集**をクリックします。
3. 最後のアップデートから変更されているコンピューター情報は、このコマンドを実行すると必ず収集されます。また、追加情報を収集するオプションも選択できます。
 - **フルインベントリを強制実行** – 選択したコンピューター上のエージェントに、すべてのコンピューター情報（つまり変更された情報だけでなく）をサーバーに送信するように指示します
 - **フォント情報を含む** – 選択したコンピューター上のエージェントに、インストール済みフォントに関する情報を送信するように指示します
 - **プリンター情報を含む** – 選択したコンピューター上のエージェントに、接続済みのプリンターに関する情報を送信するように指示します
 - **スタートアップアイテム情報を含む (OS X のみ)** – 選択したコンピューター上のエージェントに、インストール済みのスタートアップアイテムに関する情報を送信するように指示します
 - **サービス情報を含む (Windows のみ)** – 選択した Windows コンピューター上のエージェントに、実行中のサービスに関する情報を送信するように指示します
 4. **インベントリの収集**をクリックします。
 5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

モバイルデバイスを操作する

モバイルデバイスエリアを使用して IT 展開内のモバイルデバイスを表示し、これらのデバイスの管理処理を行います。

このエリアに初めてアクセスした際は、タイプやオペレーティング・システムを問わず、すべてのデバイスが一覧表示されています。特定のタイプのデバイスのみ扱う場合、モバイルデバイスのグループのサイドバーから、以下のデバイスグループのいずれかを選択することで、このリストをフィルタリングすることができます。

- すべての Android デバイス
- すべての Android タブレット
- すべての Android フォン
- すべての iOS デバイス
- すべての iPhone
- すべての iPad
- すべての iPod Touch デバイス

また、検索フィールドに特定の検索条件を入力して[個別のデバイスを検索](#)したり、結果グリッドに含まれる[情報をカスタマイズ](#)したりできます。

モバイルデバイスエリアでは、以下のタスクを実行することができます。

- [デバイスの詳細を表示する](#)
- [デバイスをロックする](#)
- [デバイスのパスコードを管理する](#)
- [デバイスのデータを削除する](#)
- [デバイスへメッセージを送信する](#)
- [デバイス情報を更新する](#)
- [デバイスの名前を変更する](#)
- [デバイスのローミングオプションを設定する](#)
- [デバイスにアプリケーションを配信する](#)
- [デバイスのアプリケーションをアンインストールする](#)
- [デバイスに構成プロファイルをインストールする](#)
- [デバイスから構成プロファイルを削除する](#)
- [デバイスにプロビジョニングプロファイルをインストールする](#)
- [デバイスからプロビジョニングプロファイルを削除する](#)
- [デバイスオーナーシップを設定する](#)
- [デバイスの登録ユーザーを設定する](#)
- [デバイスの組織情報を設定する](#)
- [アクティベーションロックオプションを設定する](#)
- [失敗したインストールを再試行する](#)

モバイルデバイスの管理に関する情報

Absolute Manage Web Admin は、iOS、Android または Windows Phone の以下のバージョンのオペレーティングシステムを実行している IT 展開の中でモバイルデバイスを管理することを可能にします:

- iOS 4.0 以降
- Android 2.2 以降
- Windows Phone 7 以降

注記 モバイルデバイスで利用できる管理コマンドは、デバイスが実行しているオペレーティングシステムによって異なります。オペレーティングシステムの特定のコマンドに対するサポートについての詳細は、そのコマンドのヘルプを参照してください。

展開内のモバイルデバイスをAbsolute Manage Web Adminを通じて管理できるようにするには、そのデバイスを Absolute Manage に登録する必要があります。モバイルデバイスの登録方法については、*Absolute Manage* ユーザーガイドの「モバイルデバイスの登録」を参照してください。

デバイスの詳細を表示する

デバイスの詳細ページは、デバイスのハードウェアプロファイル、インストール済みソフトウェア、ユーザーの詳細を含め、モバイルデバイスに関する情報をすべて一覧表示します。このページは、以下を含むアプリケーション内の複数の場所からアクセスできます:

- モバイルデバイスエリア
- ポリシーグループのモバイルデバイスタブ
- コンテンツ項目のモバイルデバイスタブ

➔ デバイスの詳細を表示するには:

1. デバイスが一覧表示されているページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**に移動すると、お客様の組織のすべてのモバイルデバイスのリストが表示されます。
2. 結果グリッドで、詳細を表示したいデバイスをクリックします。

デバイスの詳細ページが開き、デバイスのモデルと電話番号が上部に表示されます。以下の表は、このページの上部で利用可能なその他のデバイス情報をまとめたものです:

フィールド	適用先	説明
OS バージョン	すべてのデバイス	デバイスで現在実行中のオペレーティングシステムのバージョン
最終アクセス日時	すべてのデバイス	Absolute Manage サーバーからデバイスが最後に通信を受信した日付と時刻 (現地時間で表示)
パスコードあり	iOS および Android デバイスのみ	デバイスにパスコードが設定されているかを示します
バッテリーレベル	iOS および Android デバイスのみ	デバイスのバッテリーの残りの充電量をパーセントで表します
シリアル番号	iOS および Android デバイスのみ	デバイスのシリアル番号
識別子 (UDID)	すべてのデバイス	プロファイルの固有の内部識別子。iOS デバイスでは、この値は UDID となります。
OS ビルド番号	すべてのデバイス	デバイスにインストールされたバージョンのオペレーティングシステムのビルド番号
オーナーシップ	すべてのデバイス	デバイスのオーナーの種類 (会社、ユーザー、ゲスト等)。 この情報は、 デバイスオーナーシップを設定する によって変更することができます。
管理中	すべてのデバイス	デバイスが Absolute Manage モバイルデバイス管理 (MDM) システムを通じて管理されているかを示します
Jailbreak 済み	iOS デバイスのみ	デバイスが jail break されているかを示します。 つまり、デバイスのファームウェアが変更され、オペレーティングシステムの制限を除去しているかを示します

フィールド	適用先	説明
ルート化	Android デバイスのみ	デバイスがルート化されているかを示します。つまり、デバイスのファームウェアが変更され、オペレーティングシステムの制限を除去しているかを示します
記録作成日	すべてのデバイス	デバイスの記録がサーバーで作成された日付と時刻 (現地時間で表示)
AbsoluteApps のバージョン	iOS および Android デバイスのみ	デバイスにインストールされた AbsoluteApps インスタンスのバージョン番号
AbsoluteApps のビルド番号	iOS および Android デバイスのみ	デバイスにインストールされた AbsoluteApps バージョンのビルド番号
パーシスタンスをサポート	Android デバイスのみ	デバイスがパーシスタンスをサポートするかを示します。つまり、Absolute Manage クライアントソフトウェアが、削除の試みまたは工場リセットの後でもデバイスに留まるかを示します
MDM プロファイルが最新	iOS デバイスのみ	デバイスの MDM プロファイルに設定されている MDM アクセス権限が、サーバーで現在設定されているものと同じであることを示します
製造日	iOS デバイスのみ	<p>デバイスの製造日</p> <p>注記 この情報は、Apple のサーバーからデバイスのシリアル番号に基づいてダウンロードされます。そのため、この値はデバイスが MDM システムに登録された後、少なくとも一度はインターネット接続が有効であった場合のみ利用できます。この値はデバイスが Apple サーバーへのインターネット接続を継続している限り、10 日ごとに更新されます。</p>
製造年数	iOS デバイスのみ	<p>モバイルデバイスの製造年数。つまり、製造後の経過年数です</p> <p>注記 この情報は、Apple のサーバーからデバイスのシリアル番号に基づいてダウンロードされます。そのため、この値はデバイスが MDM システムに登録された後、少なくとも一度はインターネット接続が有効であった場合のみ利用できます。この値はデバイスが Apple サーバーへのインターネット接続を継続している限り、10 日ごとに更新されます。</p>
保証情報	iOS デバイスのみ	<p>デバイスの現在の保証状態</p> <p>注記 この情報は、Apple のサーバーからデバイスのシリアル番号に基づいてダウンロードされます。そのため、この値はデバイスが MDM システムに登録された後、少なくとも一度はインターネット接続が有効であった場合のみ利用できます。この値はデバイスが Apple サーバーへのインターネット接続を継続している限り、10 日ごとに更新されます。</p>

フィールド	適用先	説明
保証終了	iOS デバイスのみ	<p>デバイスの保証が終了する日付。値が n/a の場合、情報が無い、または保証が期限切れとなったことを示します。</p> <p>注記 この情報は、Apple のサーバーからデバイスのシリアル番号に基づいてダウンロードされます。そのため、この値はデバイスが MDM システムに登録された後、少なくとも一度はインターネット接続が有効であった場合のみ利用できます。この値はデバイスが Apple サーバーへのインターネット接続を継続している限り、10 日ごとに更新されます。</p>
パスコードの準拠	iOS デバイスのみ	デバイス上のパスコードがすべての関連する要件に適合しているかを示します。該当する場合は、Microsoft Exchange Server の要件も含まれます
パスコードのプロファイルとの準拠	iOS デバイスのみ	デバイス上のパスコードがすべてのアクティブなプロファイルに適合しているかを示します

3. デバイスの追加の詳細を表示するには、**ストレージ**、**ネットワーキング**、**ハードウェア**、**携帯電話情報**、**組織情報**、**システムメモリ**および最後に変更した**アイテムセクション**の領域を広げてください。

注記 ブラウザで cookies が有効になっていると、ログアウト後もシステムは拡大を選択したセクションを記憶します。

以下の表は、これらのセクションで利用可能なその他のデバイス情報をまとめたものです:

フィールド	適用先	説明
ストレージ		
デバイス容量	iOS デバイスのみ	デバイスのストレージ容量、オペレーティングシステムが必要とする容量は除きます。この容量は通常、公称容量未満の数ギガバイトとなります。(たとえば、32 GB の iPhone の容量は約 29 GB です。)この数値は、iTunes で表示される容量と同じです。
使用済み容量	iOS デバイスのみ	デバイス上の使用済みストレージ容量
利用可能な容量	iOS デバイスのみ	デバイス上の利用可能なストレージ容量。この数値は、iTunes で表示される利用可能な容量と同じです。
内部ストレージ	Android デバイスのみ	<p>デバイス内のアプリケーションデータで利用可能な内部ストレージの合計量。</p> <p>注記 一部のデバイスでは内蔵ストレージにパーティションを設定し、一部を USB ストレージとしています。この場合、ここに示す内部ストレージは、実際の内蔵ストレージよりはるかに小さくなります。</p>


フィールド	適用先	説明
SD カード 1 (ノンリムーバブル)	Android デバイスのみ	<p>デバイス内の 1 枚目の SD カードで利用可能なストレージの合計量。</p> <p>注記 一部のデバイスでは内蔵ストレージにパーティションを設定し、一部を USB ストレージとしています。この場合、デバイスの内部ストレージは SD カード 1 に表示されます。</p>
SD カード 2 (リムーバブル)	Android デバイスのみ	<p>デバイス内の 2 枚目の SD カードで利用可能なストレージの合計量。</p>
ネットワーキング		
GPS 対応	iOS および Android デバイスのみ	<p>デバイスが自分の場所を GPS 信号によって見つけることができるかを示します</p> <p>注記 GPS に対応していないデバイスも、他の手段、たとえば携帯電話基地局または範囲内の Wi-Fi ネットワークなどによって自分の位置を探ることができます。しかし、これらの位置検出方法は GPS と比べて精度は劣ります。</p>
Wi-Fi ネットワーク	iOS および Android デバイスのみ	最終のアクセス時にデバイスが接続されていた Wi-Fi ネットワークの名前 (あれば)
ホームネットワーク	iOS および Android デバイスのみ	デバイスの標準的なモバイルネットワーク
パブリック IP アドレス	iOS および Android デバイスのみ	最終のアクセス時にデバイスが Absolute Manage との通信に使用したパブリック IPv4 アドレス。この値は、セル IP アドレスまたは NAT ルーターのパブリックアドレスであり、それを經由して Wi-Fi ネットワークがインターネットに接続されます。
セル IP アドレス	iOS および Android デバイスのみ	現在使用中の、モバイル (セルラー) ネットワークのデバイスの IP アドレス (あれば)
Wi-Fi IP アドレス	iOS および Android デバイスのみ	最終のアクセス時に使用されていた Wi-Fi ネットワーク内のデバイスの IPv4 アドレス (あれば)
Wi-Fi MAC アドレス	iOS および Android デバイスのみ	デバイスの Wi-Fi 接続の MAC アドレス
Bluetooth MAC アドレス	iOS および Android デバイスのみ	デバイスの Bluetooth 接続の MAC アドレス
ハードウェア		
タブレット	iOS および Android デバイスのみ	デバイスがタブレットであることを示します
製造業者	すべてのデバイス	デバイスを製造した会社。この会社は、デバイスが販売されたときのブランド名と同じである必要はありません。
CPU 名	iOS および Android デバイスのみ	デバイスで使用されている CPU のタイプ

フィールド	適用先	説明
CPU 速度	iOS および Android デバイスのみ	デバイスで使用されている CPU のクロックレート
ディスプレイ解像度	iOS および Android デバイスのみ	デバイスのスクリーンサイズ、ピクセル単位で測定
ボード	iOS および Android デバイスのみ	デバイスのマザーボードの名前またはタイプコード <hr/> 注記 モバイルデバイスに使用されているマザーボードの多くは、アクセス可能な名前やタイプコードがありません。
ハードウェア暗号化	iOS および Android デバイスのみ	デバイスで利用可能なハードウェア暗号化のタイプ (ブロックレベルまたはファイルレベル)
カーネルバージョン	Android デバイスのみ	デバイスで利用可能なオペレーティングシステムのカーネルのバージョン情報
デバイス情報	Android デバイスのみ	その製造業者によって提供された、デバイスに関する追加情報
システムメモリー		
合計 RAM	Android デバイスのみ	デバイスにインストールされた RAM の合計量
利用可能な RAM	Android デバイスのみ	現在利用可能なデバイス内の RAM の量
合計キャッシュ	Android デバイスのみ	デバイスのキャッシュメモリーの合計量
利用可能なキャッシュ	Android デバイスのみ	現在利用可能なデバイス内のキャッシュメモリーの量
携帯電話情報		
現在のキャリアネットワーク	すべてのデバイス	最終のアクセス時にデバイスが登録していたモバイルネットワーク
携帯電話技術	iOS および Android デバイスのみ	デバイスが現在通信に使用している基本的な携帯電話技術。GSM や CDMA など
ローミング	iOS および Android デバイスのみ	デバイスがローミング中であるか、つまり、標準のプロバイダーのネットワーク以外のモバイルネットワークに接続しているかを示します。
携帯電話データネットワークのタイプ	Android デバイスのみ	デバイスが接続されている携帯電話技術のベース技術です。考えられる値は、なし、 EDGE 、 GPRS 、または UMTS です。
IMEI/MEID	すべてのデバイス	接続されているデバイスの IMEI (GSM) または MEID (CDMA) の電話識別番号 (あれば)
SIM ICC 識別子	iOS および Android デバイスのみ	デバイス内にある SIM の固有の国際識別子
現在のモバイル国コード	iOS および Android デバイスのみ	最終のアクセス時にデバイスが登録していたモバイルネットワークのモバイル国コード
現在のモバイルネットワークコード	iOS および Android デバイスのみ	最終のアクセス時にデバイスが登録していたモバイルネットワークのモバイルネットワークコード
ホームモバイル国コード	iOS および Android デバイスのみ	デバイスの標準的なモバイルネットワークのモバイル国コード

フィールド	適用先	説明
ホームモバイルネットワークコード	iOS および Android デバイスのみ	デバイスの標準的なモバイルネットワークのモバイルネットワークコード
データローミング有効	iOS デバイスのみ	デバイスがデータローミングを許可するように設定されているかを示します (標準プロバイダーのもの以外のモバイルネットワークを介してデータを交換する)
ボイスローミング有効	iOS デバイスのみ	デバイスがボイスローミングを許可するように設定されているかを示します (標準プロバイダーのもの以外のモバイルネットワークを介してボイスコールを開始または受信する)
キャリア設定バージョン	iOS デバイスのみ	デバイス内のキャリア設定のバージョン番号。キャリア設定には、さまざまな利用可能なネットワークおよびその他の情報の名前が含まれます。これらの設定は Apple によって提供され、iOS ソフトウェアとは独立に更新されます。
モバイルデバイスの IMEI/SV	Android デバイスのみ	デバイスの IMEI に示されている、デバイスにインストールされたソフトウェアの改訂番号
モデムファームウェアバージョン	iOS および Android デバイスのみ	デバイスにインストールされたモデムのファームウェアのバージョン番号 (あれば)
組織情報		
名前	iOS 7.0 以降のデバイスのみ	デバイスに格納されている組織名
電話	iOS 7.0 以降のデバイスのみ	デバイスに格納されている電話番号
電子メール	iOS 7.0 以降のデバイスのみ	デバイスに格納されている組織の電子メールアドレス
住所	iOS 7.0 以降のデバイスのみ	デバイスに格納されている組織の郵便番号または所在地
カスタム	iOS 7.0 以降のデバイスのみ	デバイスに格納されている組織に関する追加情報
最後に変更されたアイテム		
デバイス情報	すべてのデバイス	<p>デバイスのサーバーに格納された情報が変更された、最も最近の時刻 (現地時間で表示)</p> <hr/> <p>注記 この値は、デバイスの対応するプロパティが変更された時刻である必要は必ずしもなく、単にモバイルクライアントソフトウェアが Absolute Manage サーバーに変更を通知した時刻です。ここでは、バッテリーレベル、空き容量、ローミングステータスなどの頻繁に変更が発生するものは考慮されません。</p> <hr/>








フィールド	適用先	説明
インストール済みソフトウェア	iOS および Android デバイスのみ	<p>デバイスにインストールされたソフトウェアに関する、サーバーに格納された情報が変更された最も最近の時刻 (現地時間で表示)</p> <p>注記 この値は、アプリケーションがデバイスにインストールされた、またはデバイスから削除された時刻である必要は必ずしもなく、単にモバイルクライアントソフトウェアが Absolute Manage サーバーに変更を通知した時刻です。</p>
インストール済み構成プロファイル	iOS および Android デバイスのみ	<p>デバイスにインストールされた構成プロファイルに関する、サーバーに格納された情報が変更された最も最近の時刻 (現地時間で表示)</p> <p>注記 この値は、プロファイルがインストールされた、またはデバイスから削除された時刻である必要は必ずしもなく、単にモバイルクライアントソフトウェアが Absolute Manage サーバーに変更を通知した時刻です。</p>
インストール済み証明書	iOS デバイスのみ	<p>デバイスにインストールされた証明書に関する、サーバーに格納された情報が変更された最も最近の時刻 (現地時間で表示)</p> <p>注記 この値は、証明書がインストールされた、またはデバイスから削除された時刻である必要は必ずしもなく、単にモバイルクライアントソフトウェアが Absolute Manage サーバーに変更を通知した時刻です。</p>
インストール済みプロビジョニングプロファイル	iOS デバイスのみ	<p>デバイスにインストールされたプロビジョニングプロファイルに関する、サーバーに格納された情報が変更された最も最近の時刻 (現地時間で表示)</p> <p>注記 この値は、プロファイルがインストールされた、またはデバイスから削除された時刻である必要は必ずしもなく、単にモバイルクライアントソフトウェアが Absolute Manage サーバーに変更を通知した時刻です。</p>

4. このページの他のタブをクリックすると、デバイスに関するさらなる情報を確認したり、特定のタスクを実行したりできます:

- **モバイルポリシー:** モバイルデバイスが属するすべてのポリシーを表示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - **モバイルデバイスをポリシーに追加** ボタンをクリックすることで、[デバイスを標準ポリシーに追加](#)します。
 - 該当するポリシーのチェックボックスを選択し  をクリックすることによって、デバイスを標準ポリシーから削除します。
- **アプリケーション:** このタブは iOS および Android デバイスにのみ適用されます。モバイルデバイスにインストールされたアプリケーションを示します。

注記 このタブは、iOS デバイスの Camera や Mail など、デバイスのファームウェアに含まれるアプリケーションは表示しません。

このタブから以下のタスクを実行できます:

- **アプリケーションをインストール** ボタンをクリックして、[ソフトウェアをデバイスに配信](#)します。
- 該当するアプリケーションのチェックボックスを選択し  をクリックして [アプリケーションをアンインストール](#)します。
- **証明書**: このタブは、iOS デバイスにのみ適用されます。モバイルデバイスにインストールされた証明書を示します。
- **構成プロファイル**: モバイルデバイスにインストールされた構成プロファイルを示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - **構成プロファイルをインストール** ボタンをクリックして、[構成プロファイルをデバイスにインストール](#)します。
 - 該当するプロファイルのチェックボックスを選択し  をクリックして [構成プロファイルを削除](#)します。
- **プロビジョニングプロファイル**: このタブは、iOS デバイスにのみ適用されます。モバイルデバイスにインストールされたプロビジョニングプロファイルを示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - **プロビジョニングプロファイルをインストール** ボタンをクリックして、[プロビジョニングプロファイルをデバイスにインストール](#)します。
 - 該当するプロファイルのチェックボックスを選択し  をクリックして [プロビジョニングプロファイルを削除](#)します。
- **割り当てられたアイテム**: Absolute Manage を通じて管理され、モバイルデバイスに存在している割り当て可能なアイテム (インハウスおよびサードパーティアプリケーション、モバイルコンテンツ、プロファイル) を示します。
- **カスタムフィールド**: モバイルデバイスで利用可能なカスタムフィールドを、フィールド値と共に (入力されている場合) 示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - カスタムフィールドのチェックボックスを選択し、 をクリックすることで、モバイルデバイスの [カスタムフィールド値を入力](#)します。
 - カスタムフィールドのチェックボックスを選択し、 をクリックすることで、モバイルデバイスの [カスタムフィールド値を削除](#)します。
- **アドミニストレーター**: モバイルデバイスのアドミニストレーターを示します。
- **ユーザー**: モバイルデバイスの現在のユーザーが利用できるアクティブディレクトリまたはオープンディレクトリの情報を示します。
- **実施したアクション**: スマートポリシーにおけるデバイスのメンバーシップの結果、モバイルデバイスで実施されたアクションを示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - 該当するアクションのチェックボックスを選択し、 をクリックすることで、アクションをリストから消去します。
 - 該当するアクションのチェックボックスを選択し、 をクリックすることで、リスト上のアクションを再実行します。

注記 これらのタブでタスクを実行した後で結果グリッドの最新の情報を表示するには、ブラウザの更新ボタンのクリックが必要な場合があります。

デバイスをロックする

モバイルデバイスを遠隔でロックし、パスワードがローカルで入力されるまで使用できないようにするコマンドを発行することができます (パスワードが設定されていない場合を除く)。このコマンドは、iOS および Android デバイスのみで利用できます。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、デバイスがロックされます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

Android デバイスでは、選択した新しいパスワードを使用してデバイスをロックするオプションがあります。

➔ モバイルデバイスをロックするには:

1. ロックしようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、**特定のデバイスを検索**に移動できます。
2. 結果グリッドで、ロックしたいデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > デバイスをロック**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、ロックしたいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**デバイスをロック**をクリックします。
3. 新しいパスワードを使用して Android デバイスをロックする場合、提示されたフィールドにパスワードを入力し、確認します (デバイスに新しいパスワードを設定したくない場合はこのフィールドには何も入力しないでください)。

注記 デバイス上の構成プロファイルがパスワードを要求する場合、パスワードが指定されていないと、ユーザーは新しいパスワードを作成するよう促されます。

4. **ロック**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスのパスコードを管理する

パスコードに関連して、以下のアクションを実行するコマンドを発行できます:

- iOS デバイスでは、デバイスから遠隔でパスコードを削除
- Android デバイスでは、デバイスのパスコードを遠隔で削除して新たに設定

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、デバイスのパスコードが削除されるか更新されます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

注記 新しいパスコードを設定せずにデバイスからパスコードを削除し、デバイスにパスコードを必須項目とする構成プロファイルが存在しない場合、デバイスはパスコードなしで誰でもアクセスできるようになります。

➔ iOS デバイスでパスコードを削除するには:

1. パスコードを削除しようとする iOS デバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての iOS デバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当する iOS デバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > パスコードの消去**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページから、単独の iOS デバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、パスコードを削除しようとするデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**パスコードを消去**をクリックします。
3. **パスコードの消去**をクリックします。
4. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

➔ Android デバイスでパスコードを削除するには:

1. パスコードを削除しようとする Android デバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての Android デバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当する Android デバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > パスコードの設定と消去**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページから、単独の Android デバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、パスコードを削除しようとするデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**パスコードの設定と消去**をクリックします。
3. **パスコードの消去**をクリックします。

注記 デバイス上の構成プロファイルがパスコードを要求する場合、新しいパスコードを作成してください。

4. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

➔ Android デバイスで新しいパスコードを設定するには:

1. パスコードを設定しようとする Android デバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての Android デバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当する Android デバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > パスコードの設定と消去**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページから、単独の Android デバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、パスコードを設定しようとするデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**パスコードの設定と消去**をクリックします。
3. **新しいパスコードを設定** チェックボックスを選択します。
4. 提示されたフィールドに新しいパスコードを入力し、確認します。
5. **パスコードの消去と設定**をクリックします。
6. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスを消去する

モバイルデバイス上のすべてのユーザーデータを遠隔で消去したり、ユーザーがインストールしたすべてのアプリケーションを遠隔で消去し、デバイスを工場出荷時の状態に実質的にリセットすることができます。

警告! この操作は元に戻すことができません。モバイルデバイスから消去した情報は回収することができません(組織内にバックアップシステムがあれば、そこからのデータの回収は可能な場合もあります)。ユーザーの同意を得ずにデバイスのデータを消去すると、法的責任が問われるおそれがあります。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、デバイスが消去されます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

デバイスが消去されると、再びそのデバイスを登録するか、Absolute Manage 登録プロファイルを含むバックアップから復旧されるまで、そのデバイスを Absolute Manage を通じて管理することができなくなります。

➔ モバイルデバイスを消去するには:

1. 消去しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > デバイスの消去**をクリックします。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、消去したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**デバイスの消去**をクリックします。
3. 選択したデバイスのいずれかに内部 SD カードがある場合、以下のオプションから 1 つを選択するように求められます:
 - 内部ストレージのみ消去
 - 内部ストレージと SD カードを消去
 4. **デバイスの消去**をクリックします。

重要 デバイスの消去をクリックすると、デバイスのデータを消去するコマンドが発行されます。この操作は元に戻せません。

5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスへメッセージを送信する

モバイルデバイスのユーザーに重要な情報を伝える必要がある場合、ユーザーが読めるようにデバイスに直接メッセージを送信することができます。このコマンドは、iOS および Android デバイスのみで利用できます。

注記 このコマンドには、ターゲットデバイスに AbsoluteApps アプリケーションがインストールされている(その後、少なくとも 1 度は起動されている)必要があります。デバイスのプッシュ通知も有効である必要があります。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、デバイスがメッセージを受信します。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、メッセージは通常 1 分以内に受信できますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときにメッセージが配信されます。

➔ モバイルデバイスへメッセージを送信するには:

1. メッセージを送信しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、**特定のデバイスを検索**に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > メッセージの送信**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、メッセージを送信したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**メッセージの送信**をクリックします。
3. 表示されたフィールドにメッセージを入力します。
4. **メッセージの送信**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイス情報を更新する

デバイスに問い合わせ、それらに関する詳細 (ネットワーキング、ストレージ、ハードウェア情報など) を Absolute Manage データベースで更新するコマンドを発行することができます。その後、更新されたデバイス情報は Absolute Manage Web Admin で利用できるようになります。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、デバイスに問い合わせを行います。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ Absolute Manage でデバイス情報を更新するには:

1. 問い合わせしようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、**特定のデバイスを検索**に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > デバイス情報を更新**をクリックします。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、クエリを実行したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**デバイス情報を更新**をクリックします。
3. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

注記 結果グリッドとデバイスの詳細ページで最新情報を表示するために、ブラウザの更新ボタンのクリックが必要な場合があります。

デバイスの名前を変更する

モバイルデバイスの名前を変更するコマンドを発行することができます。このコマンドは、Android デバイスおよび iOS 8 以降を実行している監視対象の iOS デバイスで利用できます。

コマンドを発行すると、デバイスがその OS ベンダーの通知サーバーに次回連絡後すぐに、名前が変更されます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、名前の変更は通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ モバイルデバイスの名前を変更するには:

1. 名前を変更しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、デバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > デバイス名を設定**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページからデバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、名前を変更したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**デバイス名を設定**をクリックします。
3. 新しい名前フィールドにデバイスの名前を入力します。

注記 モバイルデバイスに付ける名前は、Absolute Manage の展開範囲の中で一意とする必要があります。

4. **名前を設定**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

注記 結果グリッドとデバイスの詳細ページで最新情報を表示するために、ブラウザの更新ボタンのクリックが必要な場合があります。

デバイスのローミングオプションを設定する

モバイルデバイスで音声およびデータローミングをアクティブ化または非アクティブ化するコマンドを発行できます。このコマンドは、iOS 5以降を実行しているiOSデバイスで利用できます。

注記 デバイスにローミングオプションを設定したら、デバイスのユーザーがこれらの設定を変更できなくなります。

コマンドを発行すると、デバイスがそのOSベンダーの通知サーバーに次回連絡後すぐに、デバイスのローミング設定が変更されます。デバイスがWi-Fiまたはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常1分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ モバイルデバイスにローミングオプションを設定するには:

1. ローミングオプションを変更しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのiOSデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > ローミングオプションを設定**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページから、単独のiOSデバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、ローミングオプションを変更しようとするデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**ローミングオプションを設定**をクリックします。
3. **音声ローミングを有効化**および**データローミングを有効化**のチェックボックスを選択するか選択を外すことで、デバイスのローミングオプションを設定します。
4. **ローミングオプションを設定**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスにアプリケーションを配信する

インハウスアプリケーションとサードパーティアプリケーションの両方を遠隔で配信し、モバイルデバイスでインストールすることができます。このコマンドは、iOS および Android デバイスのみで利用できます。

アプリケーションを Absolute Manage Web Admin からインストール用に配信する前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用して、アプリケーションファイルをモバイルアプリケーションパッケージとしてインポートする必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「モバイルデバイスでのソフトウェアのインストール」を参照してください。

注記 iOS デバイスに同じアプリケーションの非管理バージョンがすでに含まれる場合、そのデバイスにアプリケーションをインストールすることはできません (非管理アプリケーションとは、Absolute Manage 以外によってデバイスにインストールされたアプリケーションです)。

アプリケーションをインストールするコマンドを発行すると、デバイスがその OS ベンダーの通知サーバーに次回連絡後すぐに、デバイスのユーザーにアプリケーションをインストールすることが求められます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、ユーザーは通常 1 分以内にインストールするよう求められますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。デバイスのユーザーがインストールを拒否すると、アプリケーションはデバイスにインストールされません。

注記 iOS 4.x を実行するデバイスでは、ユーザーは AbsoluteApps が前面に来た場合のみアプリケーションをインストールするよう求められます。

➔ ソフトウェアをモバイルデバイスに配信するには:

1. ソフトウェアを配信しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、**特定のデバイスを検索**に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > アプリケーションをインストール**をクリックします。

注記 一度に複数のデバイスにコマンドを発行する場合、OS が同じデバイスを選択する必要があります。つまり、すべての iOS デバイス、またはすべての Android デバイスを選択します。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、ソフトウェアを配信したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**アプリケーションをインストール**をクリックします。
3. **インハウスアプリケーションとサードパーティアプリケーション**リストから、インストール用に配信したいアプリケーションのチェックボックスを選択します。
検索フィールドを使用して、具体的な条件 (アプリケーション名またはバージョン番号など) でリストを絞り込み、特定のアプリケーションを素早く探し出すことができます。
 4. **アプリケーションをインストール**をクリックします。
 5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスのアプリケーションをアンインストールする


モバイルデバイスからアプリケーションを遠隔でアンインストールするコマンドを送信することができます。このコマンドは、iOS 5以降を実行しているiOSデバイス、およびAndroidデバイスで利用できます。

アプリケーションをアンインストールできるかどうかは、デバイスのオペレーティングシステムによって異なります。

- iOSデバイスでは、管理中のアプリケーション、つまりAbsolute Manageを通じてインストールしたアプリケーションのみアンインストールできます。
- Androidデバイスでは、どのアプリケーションもアンインストールできますが、デバイスのユーザーがアプリケーションの削除を確認する必要があります。しかし、デバイスがパーシスタンスをサポートする場合、ユーザーによる確認は必要ありません。

コマンドを発行すると、デバイスがそのOSベンダーの通知サーバーに次回連絡後すぐに、アンインストール処理が開始されます。デバイスがWi-Fiまたはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常1分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。Androidデバイスでは、アプリケーションを実際に削除する前に確認アラートが表示されます。ユーザーが削除を許可しないと、アプリケーションはデバイスに残ります。

➔ モバイルデバイスでアプリケーションをアンインストールするには:

1. アプリケーションをアンインストールしようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、**特定のデバイスを検索**に移動できます。
2. 結果グリッドで、デバイスをクリックします。
3. デバイスの**アプリケーション**タブをクリックします。
4. アンインストールしたい各アプリケーションのチェックボックスを選択します。
検索フィールドを使用して、具体的な条件(名前またはバージョン番号など)でリストを絞り込み、特定のアプリケーションを素早く探し出すことができます。
5.  をクリックします。
6. **アプリケーションをアンインストール**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

注記 結果グリッドの最新情報を表示するために、ブラウザの更新ボタンのクリックが必要な場合があります。

デバイスに構成プロファイルをインストールする

既存の構成プロファイルをモバイルデバイスに遠隔でインストールすることができます。構成プロファイルは、お客様の展開内のモバイルデバイスに一般的な設定（たとえば Wi-Fi、VPN、e メール、またはアプリケーション固有の設定）を容易に配信することができます。Absolute Manage Web Adminから構成プロファイルをインストールする前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用してプロファイルをインポートまたは作成する必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「構成プロファイルの操作」を参照してください。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、構成プロファイルがデバイスにインストールされます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

プロファイルをインストールした結果は、デバイスのオペレーティングシステムに応じて多少異なります：

- iOS および Android デバイスでは、プロファイルはデバイスにインストールされている既存のプロファイルに追加されます。
- Windows Phone デバイスでは、プロファイルは選択したデバイスが同期されているメールボックスの現在のプロファイルに置き換わります。Exchange ActiveSync の動作仕様により、この操作を行うと、同じ Exchange メールボックスに同期されている他のすべてのデバイスにもプロファイルが適用されます。（このような他のデバイスが iOS デバイスである場合、インストールされたプロファイルは現在のプロファイルに置き換わりませんが、プロファイルの設定はそのデバイスにインストールされている構成プロファイルが無効にすることがあります。）

➔ デバイスに構成プロファイルをインストールするには：

1. 構成プロファイルをインストールしようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての Windows Phone デバイス**、**特定のデバイスを検索**に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > 構成プロファイルをインストール**をクリックします。

注記 一度に複数のデバイスにコマンドを発行する場合、OS が同じデバイスを選択する必要があり、すべての iOS デバイス、すべての Android デバイス、またはすべての Windows Phone デバイスを選択します。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、構成プロファイルをインストールしたいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**構成プロファイルをインストール**をクリックします。
3. インストールしたい構成プロファイルのチェックボックスを選択します。
検索フィールドを使用して、具体的な条件（プロファイル名または説明など）でリストを絞り込み、特定の構成プロファイルを素早く探し出すことができます。
 4. **プロファイルのインストール**をクリックします。
 5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスから構成プロファイルを削除する


構成プロファイルをモバイルデバイスから遠隔で削除することができます。Windows Phone デバイスに限り、削除されたプロファイルは Exchange サーバーで指定されたデフォルトの ActiveSync ポリシーの設定と置き換わります。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、構成プロファイルがデバイスから削除されます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ モバイルデバイスから構成プロファイルを削除するには:

1. 構成プロファイルを削除しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、適切なデバイスをクリックします。
3. デバイスの**構成プロファイル**タブをクリックします。
4. 削除したい各構成プロファイルのチェックボックスを選択します。

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (プロファイル名または識別子など) でリストを絞り込み、特定の構成プロファイルを素早く探し出すことができます。

5.  をクリックします。
6. **アンインストール**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

注記 結果グリッドの最新情報を表示するために、ブラウザの更新ボタンのクリックが必要な場合があります。

デバイスにプロビジョニングプロファイルをインストールする

既存のプロビジョニングプロファイルを iOS デバイ스에遠隔でインストールすることができます。プロビジョニングプロファイルとは、必要なデジタル証明書、App ID、UDID を含むバイナリファイルで、エンタープライズまたはベータアプリケーションを、App Store の外で iOS デバイ스에配信することを可能にします。プロビジョニングプロファイルは通常はアプリケーションの一部として自動的にインストールされますが、特殊な状況では手動でインストールする必要があります。Absolute Manage Web Adminからプロビジョニングプロファイルをインストールする前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用してプロファイルをインポートする必要があります。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、プロビジョニングプロファイルがデバイスにインストールされます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ iOS デバイ스에プロビジョニングプロファイルをインストールするには:

1. プロビジョニングプロファイルをインストールしようとする iOS デバイ스에含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての iOS デバイ스**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > プロビジョニングプロファイルをインストール**をクリックします。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、プロビジョニングプロファイルをインストールしたいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**プロビジョニングプロファイルをインストール**をクリックします。
3. インストールしたいプロビジョニングプロファイルのチェックボックスを選択します。
検索フィールドを使用して、具体的な条件 (プロファイル名または UUID など) でリストを絞り込み、特定のプロビジョニングプロファイルを素早く探し出すことができます。
 4. **プロファイルのインストール**をクリックします。
 5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスからプロビジョニングプロファイルを削除する


プロビジョニングプロファイルを iOS デバイスから遠隔で削除することができます。デバイスからプロビジョニングプロファイルを削除すると、次回デバイス (アプリケーションではなく) が再起動した後は、そのプロファイルに依存して認証しているアプリケーションが、そのデバイスで使用できなくなります。

コマンドを発行すると、その OS ベンダーの通知サーバーにデバイスが次回連絡後すぐに、プロビジョニングプロファイルがデバイスから削除されます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ プロビジョニングプロファイルを iOS デバイスから削除するには:

1. プロビジョニングプロファイルを削除しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての iOS デバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、適切なデバイスをクリックします。
3. デバイスの**プロビジョニングプロファイル**タブをクリックします。
4. 削除したい各プロビジョニングプロファイルのチェックボックスを選択します。

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (プロファイル名または識別子など) でリストを絞り込み、特定のプロビジョニングプロファイルを素早く探し出すことができます。

5.  をクリックします。
6. **アンインストール**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

注記 結果グリッドの最新情報を表示するために、ブラウザの更新ボタンのクリックが必要な場合があります。

デバイスオーナーシップを設定する

モバイルデバイスが属するオーナーの種類を指定することができます。この情報を指定すると、ポリシーの作成プロセスでデバイスをオーナーシップの種類ごとに素早くグループ化させる場合に役立ちます。

➔ デバイスオーナーシップを設定するには:

1. オーナーシップを設定したいデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > デバイスオーナーシップを設定**をクリックします。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、設定したいオーナーシップのデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**デバイスオーナーシップを設定**をクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **未定義**: デバイスにオーナーシップ情報が指定されていません。
 - **会社**: デバイスは組織に属します。
 - **ユーザー (個人デバイス)**: デバイスはそのユーザーに属します。
 - **ゲスト**: デバイスはネットワークのビジターに属します。ビジターとは、ネットワークにアクセスすることが許可されているけれども従業員ではない人物を指します。
 4. **オーナーシップを設定**をクリックします。
 5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスの登録ユーザーを設定する

モバイルデバイスが属するユーザーのネットワークアカウントを指定することができます。この情報を指定しないと、デバイスはユーザーに属するものとしてマークされませんが、引き続き管理デバイスのままとなります。

➔ モバイルデバイスに登録ユーザーを設定するには:

1. 登録ユーザーを設定したいデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > デバイス登録ユーザーを設定**をクリックします。
また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。
 - a) 結果グリッドで、登録ユーザーを設定したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**デバイス登録ユーザーを設定**をクリックします。
3. **ユーザー名**フィールドに、デバイスに関連付けたいアクティブディレクトリまたはオープンディレクトリのアカウントのユーザー名を入力します。
4. **ドメイン**フィールドに、そのアカウントが属するドメインを入力します。

注記 オープンディレクトリアカウントでは、ドメイン情報は必要ありません。

5. **ユーザーを設定**をクリックします。
6. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスの組織情報を設定する

iOS 7 以降を実行しているモバイルデバイスでは、お客様の組織の基本的な連絡先情報を遠隔で設定することができます。これらの詳細はデバイスで記憶されますが、デバイスのユーザーは参照することができません。

➔ iOS 7 以降を実行しているデバイスで組織情報を設定するには:

1. 組織情報を設定しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての iOS デバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > 組織情報を設定**をクリックします。

注記 一度に複数のデバイスにコマンドを発行する場合、すべての選択したデバイスが iOS 7 以降を実行している必要があります。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、組織情報を設定したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**組織情報を設定**をクリックします。
3. 次の情報を記入してください:
 - **名前:**組織の名前
 - **電話番号:**組織の電話番号
 - **電子メール:**組織の電子メールアドレス
 - **住所:**組織の住所
 - **コメント:**選択したモバイルデバイスに記憶させる、組織に関する追加情報

注記 現在デバイスに記憶されている組織情報をすべて削除する場合、これらのフィールド内のテキストを消去します。

4. **情報を設定**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

アクティベーションロックオプションを設定する

iOS 7 以降のデバイスはアクティベーションロック機能を搭載しています。これは Apple の「iPhone を探す」サービスの一部です。アクティベーションロック機能では、デバイスを再アクティベーションまたは消去するために、デバイスのユーザーの Apple ID とパスワードを入力する必要があります。

デフォルトで、「iPhone を探す」がオンになっている監視対象のデバイスではアクティベーションロック機能は有効ではありません。「iPhone を探す」がオンになっているときにデバイスでこの機能を有効にするか無効にするかを選択できます。

このコマンドは、iOS 7 以降の監視対象下にある iOS デバイスにのみ適用されます。

注記 この機能がデバイスで有効になっている場合、このコマンドを使用してアクティベーションロック機能を無効にすることはできません。デバイスで有効になっているアクティベーションロック機能を無効にする方法については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「すでに有効なアクティベーションロックを無効化する」を参照してください。

➔ iOS 7 以降の監視対象下にある iOS デバイスでアクティベーションロックオプションを設定するには:

1. アクティベーションロックオプションを設定しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべての iOS デバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > アクティベーションロックオプションを設定**をクリックします。

注記 一度に複数のデバイスにコマンドを発行する場合、すべての選択したデバイスが iOS 7 以降の監視対象下にあるデバイスである必要があります。


また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、アクティベーションロックオプションを設定したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**アクティベーションロックオプションを設定**をクリックします。
3. 次のいずれかのボタンをクリックします。
 - **アクティベーションを許可**: 選択したデバイスで「iPhone を探す」が有効になると、アクティベーションロック機能も有効になります。選択したデバイスで「iPhone を探す」が無効になると、アクティベーションロック機能も無効になります。
 - **アクティベーションを許可しない**: 選択したデバイスではアクティベーションロック機能を有効にすることはできなくなります。「iPhone を探す」がオンであるかを問わず、オフのままです。しかし、選択したデバイスでアクティベーションロック機能が現在有効になっている場合、有効な状態のままとなります。
 4. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。


カスタムフィールド値を設定する

モバイルデバイスに関連付けられたカスタムフィールドに、データを手動で入力・削除することができます。このタスクは、個々のモバイルデバイスにカスタムフィールド値を設定する方法を説明します。複数のデバイスにカスタムフィールド値を設定するには、[カスタムフィールド値の設定アクションを作成し、それをスマートポリシーに割り当てます](#)。

➔ モバイルデバイスのカスタムフィールド値を入力するには:

1. モバイルデバイスが一覧表示されているページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**に移動すると、お客様の組織のすべてのモバイルデバイスのリストが表示されます。
2. 結果グリッドで、カスタムフィールド値を入力したいモバイルデバイスをクリックします。
3. **カスタムフィールド**タブをクリックします。
4. 結果グリッドで、値を設定したいカスタムフィールドのチェックボックスを選択します。
5.  をクリックします。
6. カスタムフィールドに値を入力します。入力できる値は、フィールドのデータ型によって決まります。
 - **文字列** – フォーマットされていない任意のテキスト
 - **数値** – 表示されたディスプレイ形式の数値
 - **Boolean** – true または false 値
 - **日付** – 具体的な日付と時間
 - **ファイルバージョン** – 対象モバイルデバイスのプラットフォームの入力規則に従ったバージョン番号。iOS で有効なファイルのバージョン番号は、ピリオド区切りの最大 3 つの整数で構成され、任意で **a**、**b**、**d**、**f** および別の整数が続きます (例えば、1.0、2.4.1、6.8d1)。Android および Windows Phone で有効なファイルのバージョン番号は、ピリオド区切りの最大 4 つの整数で構成されます (例えば、5.7、3.0.0.233)。
 - **IP アドレス** – IPv4 アドレス (例えば、192.168.0.1)
 - **数え上げ** – 事前定義済みリストの値
7. **保存**をクリックします。
8. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

➔ モバイルデバイスのカスタムフィールド値を削除するには:

1. モバイルデバイスが一覧表示されているページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**に移動すると、お客様の組織のすべてのモバイルデバイスのリストが表示されます。
2. 結果グリッドで、カスタムフィールド値を削除したいモバイルデバイスをクリックします。
3. **カスタムフィールド**タブをクリックします。
4. 結果グリッドで、値を削除したいカスタムフィールドのチェックボックスを選択します。
5.  をクリックします。
6. **削除**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

失敗したインストールを再試行する

構成プロファイルまたはプロビジョニングプロファイル、あるいはモバイルデバイスで以前に失敗したアプリケーションのインストールを再試行するコマンドを発行することができます。このコマンドをデバイスに発行すると、Absolute Manage は、デバイスが属するポリシーに割り当てられている、デバイスに存在していないすべてのプロファイルまたはアプリケーションをインストールしようと試みます。

➔ モバイルデバイスで失敗したプロファイルまたはアプリケーションのインストールを再試行するには:

1. インストールを再試行しようとするデバイスが含まれるモバイルデバイスエリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、該当するデバイスのチェックボックスを選択し、**コマンド > すべて再試行...**をクリックします。

また、デバイスの詳細ページから、単独のデバイスにコマンドを発行することもできます。

- a) 結果グリッドで、インストールを再試行したいデバイスをクリックします。該当デバイスのデバイス詳細ページが開きます。
 - b) コマンドのサイドバーから、**すべて再試行...**をクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **失敗したプロファイルをすべて再試行**: 選択したデバイスで以前失敗したすべての構成プロファイルおよびプロビジョニングプロファイルのインストールを再試行します
 - **失敗したアプリケーションをすべて再試行**: 選択したデバイスで以前失敗したすべてのアプリケーションのインストールを再試行します
 4. **再試行**をクリックします。
 5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

デバイスをポリシーに追加する

モバイルデバイスを既存の標準ポリシーに追加することができます。スマートポリシーでは、デバイスは所定の基準に基づいて、その場で動的に追加されるため、この種のポリシーには手動でモバイルデバイスを追加することはできません。

➔ モバイルデバイスを既存の標準ポリシーに追加するには:

1. ポリシーに追加しようとするデバイスが含まれる**モバイルデバイス**エリアのページに移動します。たとえば、**モバイルデバイス > すべてのモバイルデバイス**、[特定のデバイスを検索](#)に移動できます。
2. 結果グリッドで、ポリシーに追加したいデバイスをクリックします。
3. デバイスの**モバイルデバイス**タブをクリックします。
4. **モバイルデバイスをポリシーに追加**をクリックします。
5. デバイスを追加したい標準ポリシーのチェックボックスを選択します。
検索フィールドを使用して、具体的な条件 (ポリシー名など) でリストを絞り込み、特定のポリシーを素早く探し出すことができます。
6. **ポリシーを追加**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシーを操作する

モバイルポリシーエリアを使用して標準ポリシーまたはスマートポリシーを作成し、システム内にすでに存在するモバイルデバイスを管理します。ポリシーは、モバイルデバイスの管理の特定の場面を自動化するために便利です。

検索フィールドに特定の検索条件を入力すると、個別のポリシーを検索することができます。

モバイルポリシーエリアでは、以下のタスクを実行することができます。

- [ポリシーの詳細を表示する](#)
- [標準ポリシーを作成する](#)
- [スマートポリシーを作成する](#)
- [ポリシーを編集する](#)
- [ポリシーを削除する](#)

ポリシーについて

ポリシーを使用すると、モバイルデバイスの管理の特定の場面を自動化することができます。ポリシーには目標となるモバイルデバイスの集合に加えて、以下の要素の1つ以上が含まれます。

- サードパーティアプリケーション: 以下の方法で管理できます。
 - ポリシーに追加されたデバイスに自動的にインストールし、ポリシーを離れるデバイスから自動的に削除する
 - ポリシーに追加されたデバイスに自動的にインストールし、ポリシーから削除されたデバイスから自動的に離れる
 - ポリシーに属するデバイスで許可する
 - ポリシーに追加されたデバイスで許可し、ポリシーを離れるデバイスから削除する
- インハウスアプリケーション: これは以下の方法で管理できます。
 - ポリシーに追加されたデバイスに自動的にインストールし、ポリシーを離れるデバイスから自動的に削除する
 - ポリシーに追加されたデバイスに自動的にインストールし、ポリシーから削除されたデバイスから自動的に離れる
 - ポリシーに属するデバイスで禁止する
 - ポリシーに属するデバイスで許可する
 - ポリシーに追加されたデバイスで許可し、ポリシーを離れるデバイスから削除する
- 構成プロファイル: これは以下の方法で管理できます。
 - ポリシーに属するデバイスで必須に設定する
 - ポリシーに属するデバイスで利用可能にする。それによりユーザーは自分の判断でインストールできる
 - ポリシーに追加されたデバイスに自動的にインストールし、ポリシーを離れるデバイスから自動的に削除する
 - ポリシーに属するデバイスで禁止する
- メディアファイル: これは以下の方法で管理できます。
 - ポリシーに追加されたデバイスに自動的にインストールし、ポリシーを離れるデバイスから自動的に削除する
 - ポリシーに追加されたデバイスに自動的にインストールし、ポリシーから削除されたデバイスから自動的に離れる
 - ポリシーに属するデバイスで許可する
 - ポリシーに追加されたデバイスで許可し、ポリシーを離れるデバイスから削除する
- アクション (モバイルデバイスにスマートポリシーを設定したときに、Absolute Manage が何をすべきか指定することができます)

注記 一部のモバイルオペレーティングシステムでは、ユーザーはアプリケーションのインストールまたは削除を確認する必要がある場合があります:





モバイルデバイスの管理を自動化する以下の2種類のポリシーがあります。

- **標準ポリシー**: ポリシーから、またはポリシーへ特定のモバイルデバイスを手動で追加したり削除したりすることを可能にします。標準ポリシー内のデバイスのリストは、変更されるまで変わりません。
- **スマートポリシー**: どのモバイルデバイスをポリシーに含めるか決定するフィルター基準を設定することを可能にします。スマートポリシー内のデバイスのリストは、デバイスが選択したフィルター基準を満たすとその場で自動的に更新されます。ポリシーから、またはポリシーへ特定のモバイルデバイスを手動で追加したり削除したりすることはできません。

ポリシーの詳細を表示する

モバイルデバイス、アプリケーション、構成プロファイル、メディアファイル、およびポリシーを形成するアクションを含め、既存のポリシーの詳細を表示することができます。

➔ ポリシーの詳細を表示するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 結果グリッドで、詳細を表示したいポリシーをクリックします。
3. 以下のタブをクリックすると、ポリシーに関する情報を表示したり、ポリシーで特定のタスクを実行することができます:
 - **モバイルデバイス**: ポリシーのメンバーである全てのモバイルデバイスを一覧表示します。標準ポリシーの詳細を表示する場合、このタブからポリシーへの[モバイルデバイスの追加と削除](#)を行うことができます。スマートポリシーの詳細を表示する場合、ポリシーのフィルターがこのリストを決定するため、モバイルデバイスのリストを手動で編集することはできません。
 - **インハウスアプリケーション**: ポリシーの一部である全てのインハウスアプリケーションを一覧表示します。このタブからポリシーへの[インハウスアプリケーションの追加と削除](#)を行うことができます。
 - **サードパーティアプリケーション**: ポリシーの一部である全てのサードパーティアプリケーションを一覧表示します。このタブからポリシーへの[サードパーティアプリケーションの追加と削除](#)を行うことができます。
 - **構成プロファイル**: ポリシーの一部である全ての構成プロファイルを一覧表示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - ポリシーへ、またはポリシーからの[構成プロファイルの追加と削除](#)
 - チェックボックスを選択し、をクリックすることで、構成プロファイルの[ポリシー割り当てルールを編集](#)します。
 - **コンテンツ**: ポリシーの一部である全てのメディアファイルを一覧表示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - ポリシーへ、またはポリシーからの[メディアファイルの追加と削除](#)
 - チェックボックスを選択し、をクリックすることで、メディアファイルの[ポリシー割り当てルールを編集](#)します。
 - **アクション**: このタブは、スマートポリシーにのみ適用されます。ポリシーの一部である全てのアクションを一覧表示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - ポリシーへ、またはポリシーからの[アクションの追加と削除](#)
 - チェックボックスを選択し、をクリックすることで、アクションの[ポリシー割り当てルールを編集](#)します。
 - 該当するアクションのチェックボックスを選択し、をクリックすることで、リスト上のアクションを再実行します。

ページ上部にある[検索フィールド](#)を使用して、具体的な条件 (デバイスモデルまたはアプリケーション名など) で一覧表示された項目を絞り込むことで、これらのページの特定の結果を素早く探すことができます。また、これらのページの[レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。

標準ポリシーを作成する

標準ポリシーを作成すると、モバイルデバイスの管理の特定の場面を自動化することができます。標準ポリシーでは、モバイルデバイスの一式を選択し、特定のルールをこれらのデバイスに適用することができます。詳細については、[ポリシーについて](#)を参照してください。

ポリシーを作成または編集すると、デバイスが通知サーバーまたはその OS ベンダーに接触後すぐに、影響を受けるデバイスへの変更が行われます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ 標準ポリシーを作成するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 作業エリアのツールバーで、**ポリシーを追加** > **新規ポリシー**をクリックします。
3. ポリシーの名前を入力し、**ポリシーを作成**をクリックします。
4. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

新しいポリシーがモバイルポリシーリストに追加されます。

5. 結果グリッドで、作成したポリシーをクリックします。
6. ポリシーのモバイルデバイスタブで、**モバイルデバイスをポリシーに追加**をクリックします。
7. ポリシーに追加したいモバイルデバイスのチェックボックスを選択します。

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (デバイスのモデルまたは OS の種類など) でリストを絞り込み、特定のデバイスを素早く探し出すことができます。

8. **ポリシーへの追加**をクリックします。
9. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。
10. 以下のアクションの1つ以上を実行します:

- [インハウスアプリケーションをポリシーに追加](#)
- [サードパーティアプリケーションをポリシーに追加](#)
- [構成プロファイルをポリシーに追加](#)
- [モバイルコンテンツをポリシーに追加](#)

スマートポリシーを作成する

スマートポリシーを作成すると、モバイルデバイスの管理の特定の場面を自動化することができます。スマートポリシーを使用すると、ポリシーに含まれるモバイルデバイスを決定するフィルター基準を設定し、基準に一致するデバイスに特定のルールを適用できます。詳細については、[ポリシーについて](#)を参照してください。

注記 スマートポリシーに含まれるモバイルデバイスのリストは、フィルター基準に一致するデバイスに基づいて動的に更新されます。そのため、スマートポリシーにデバイスを手動で追加したり、削除することはできません。

ポリシーを作成または編集すると、デバイスが通知サーバーまたはその OS ベンダーに接触後すぐに、影響を受けるデバイスへの変更が行われます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

➔ スマートポリシーを作成するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 作業エリアのツールバーで、**ポリシーを追加 > 新規スマートポリシー**をクリックします。
3. プロパティを設定ダイアログのページで、以下を実行します:
 - a) スマートポリシーの名前を入力します。
 - b) スマートポリシーでモバイルデバイスのフィルタリングに使用したい基準の種類を選択します:
 - **モバイルデバイス**: デバイスの詳細の任意の組み合わせに基づいてフィルターを作成できます
 - **インストール済みアプリケーション別モバイルデバイス**: インストールまたは紛失したアプリケーションに基づいてフィルターを作成できます
 - **追加された構成プロファイル別モバイルデバイス**: インストールまたは紛失した構成プロファイルに基づいてフィルターを作成できます
 - c) **続行**をクリックします。
4. スマートフィルターを作成ダイアログのページで、以下を実行します:
 - a) 1つ以上のフィルターを追加します。詳細については、[フィルターを理解する](#)を参照してください。
 - b) **続行**をクリックします。
5. 確認して保存ダイアログページで、作成したフィルターを確認します。必要に応じて、**戻る**をクリックし、フィルターを編集することができます。
6. フィルターに問題がなければ、**保存**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

スマートポリシーのモバイルデバイスタブに、フィルター基準に現在一致しているデバイスのリストが表示されます。

8. 以下のアクションの1つ以上を実行します:
 - [インハウスアプリケーションをポリシーに追加](#)
 - [サードパーティアプリケーションをポリシーに追加](#)
 - [構成プロファイルをポリシーに追加](#)
 - [モバイルコンテンツをポリシーに追加](#)
 - [アクションをポリシーに追加](#)

フィルターを理解する

スマートポリシーのフィルターは、ポリシーの一部であるべきモバイルデバイスを決定するために使用できます。たとえば、特定の構成プロファイルを iOS 6 以前のモバイルデバイスにインストールするというポリシーを作成したい場合があるかもしれません。展開されているデバイスが数百台あれば、ポリシーに含めるデバイを手作業でピックアップして選択するのではなく、システムが自動的にデバイスのリストをその場で作成し、更新してほしいと思うでしょう。スマートポリシーは、設定したフィルターに基づいてポリシーに含めるデバイスのリストを管理します。(スマートポリシーの作成については、[スマートポリシーを作成する](#)を参照してください。)

フィルターフィールドを使用する

フィルターは、使用するフィルター基準に応じて2つ以上のフィールドで構成されます。以下は、スマートポリシー内で指定できるフィルターの例を示します。

A filter rule interface showing a dropdown menu with the text 'モバイルデバイスを管理' (Manage mobile devices) and a text input field containing the value 'true'. A red minus button is visible to the right.

例 1: このフィルターは、Absolute Manage によって積極的に管理されているモバイルデバイスを抽出します。

A filter rule interface showing a dropdown menu with the text 'モバイルデバイスの OS プラットフォーム' (Mobile device OS platform), a comparison operator dropdown set to 'は以下の値に等しい' (Is equal to), and a text input field containing the value 'iOS'. A red minus button is visible to the right.

例 2: このフィルターは、任意のバージョンの iOS オペレーティングシステムを実行しているモバイルデバイスを抽出します。

A filter rule interface showing a dropdown menu with the text 'モバイルデバイスの OS バージョン' (Mobile device OS version), a comparison operator dropdown set to 'は以下の値以下である' (Is less than or equal to), and a text input field containing the value '6'. A red minus button is visible to the right.

例 3: このフィルターは、任意のオペレーティングシステムのバージョン 6 以前を実行しているモバイルデバイスを抽出します。

フィルターに含まれるフィールドは、以下のように定義されています:

- 最初のフィールド = フィルター基準: 利用可能なフィルター基準のリスト (管理中のモバイルデバイスなど)
- 2 番目のフィールド = 演算子: 選択したフィルター基準ごとの演算子のリスト (は以下の値以下であるなど)
- 3 番目のフィールド = 値: 特定の値を入力または選択できるテキストフィールドまたはリストボックス (選択したフィルター基準に応じて、利用できる場合とできない場合があります)
- 4 番目のフィールド = 値のタイプ: 前のフィールドで入力した値をさらに定義するための値のタイプのリスト (選択したフィルター基準に応じて、利用できる場合とできない場合があります)

たとえば、保証期間が 30 日後に切れるモバイルデバイスを抽出するには、以下のようにフィルターを作成することができます:

- フィルター基準 = モバイルデバイスの保証終了
- 演算子 = 次の値に入る
- 値 = 30
- 値のタイプ = 日数

フィルターの組み合わせ


希望する結果を得るため、複数のフィルターを組み合わせることができます:

- 結果の精度を高めるには、フィルターエリア上部のリストからすべてを選択し、フィルターを追加をクリックして追加のフィルターを指定します。この操作によって各フィルター間に「AND」演算子が置かれ、すべてのフィルターを満たす結果のみ得られるようになります。

- 結果の範囲を広げるには、フィルターエリア上部のリストから任意を選択し、フィルターを追加をクリックして追加のフィルターを指定します。この操作によって各フィルター間に「OR」演算子が置かれ、少なくとも1つのフィルターを満たす結果が得られるようになります。

希望の結果を得るため、必要なだけフィルターを追加することができます。

フィルターを削除する

1つ以上のフィルターを削除することができます。個々のフィルターを削除するには、フィルターの隣にあるアイコンをクリックします。

ポリシー内のインハウスアプリケーションを操作する

iOS および Android デバイスでは、以下の方法でポリシー内のインハウスアプリケーションを使用できます:

- インハウスアプリケーションを、ポリシーに属するモバイルデバイスのユーザーによるオンデマンドインストールが行えるようにする
- インハウスアプリケーションを、ポリシーに属するモバイルデバイスに自動的にインストールする
- ポリシーに属するモバイルデバイスでのインハウスアプリケーションのインストールを禁止する

インハウスアプリケーションをAbsolute Manage Web Adminから追加する前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用して、アプリケーションファイルをモバイルアプリケーションパッケージとしてインポートする必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「モバイルデバイスでのソフトウェアのインストール」を参照してください。

モバイルデバイスのオペレーティング・システムに応じて、ユーザーは以下のアプリケーションのインストールまたは削除を確認する必要がある場合があります:

- サイレントインストール (アプリケーションがユーザーの確認なしにインストールされる) は一部の Samsung Galaxy デバイスでサポートされています
- サイレント削除 (アプリケーションがユーザーの確認なしに削除される) は一部の Samsung Galaxy デバイスと、iOS 5 以降を実行しているデバイスでサポートされています (Absolute Manage を通じてインストールしたアプリケーションのみ)

ポリシーのアクションは、デバイスが通知サーバーまたはその OS ベンダーに接触するとすぐに、ポリシーに属するモバイルデバイスで発生します。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。アプリケーションのオンデマンドインストールを用いると、デバイスのユーザーに[メッセージを送信](#)または電子メールを送信して、新しいアプリケーションが利用できることを通知できます。

ポリシーにインハウスアプリケーションを追加したら、そのポリシー内のアプリケーションの割り当てプロパティを編集することはできなくなります。これらのプロパティを編集する場合、ポリシーから該当するアプリケーションを削除し、適切なプロパティを使用して再度追加する必要があります。

ポリシーにインハウスアプリケーションを追加する

➔ ポリシーにインハウスアプリケーションを追加するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. インハウスアプリケーションを追加したいポリシーをクリックします。
3. **インハウスアプリケーション**タブをクリックします。
4. 作業エリアのツールバーで、**インハウスアプリケーションを追加**をクリックします。
5. ポリシーに追加したい各インハウスアプリケーションのチェックボックスを選択します

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (アプリケーション名またはバージョン番号など) でリストを絞り込み、特定のアプリケーションを素早く探し出すことができます。

6. **割り当てルール**リストから、ポリシーに属するデバイス上で、選択したアプリケーションをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール:** アプリケーションは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされます。デバイスがポリシーを離れてもアプリケーションはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればアプリケーションを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド:** アプリケーションは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはアプリケーションを手動でインストールすることができます。デバイスがポリシーを離れても

アプリケーションはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればアプリケーションを手動で削除することができます。

- **自動インストール、自動削除:**アプリケーションは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされ、ポリシーから離れると削除されます。
- **オンデマンド、自動削除:**アプリケーションは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはアプリケーションを手動でインストールすることができます。アプリケーションは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
- **禁止:**アプリケーションはポリシーに属するデバイスにインストールできません。

注記 iOS デバイスでのオンデマンドインストールについての詳細は、[Absolute Global Support](#)にお問い合わせください。

7. ポリシーが選択したアプリケーションの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定** チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの 1 つを選択します:
 - **次の期間内で毎日:**アプリケーションは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1 日の特定の時刻の間のみ利用できます (たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始:**アプリケーションは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。


注記 これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時 (UTC) に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間 (DST) は UTC に適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。

8. **ポリシーへの追加** をクリックします。
9. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシーからインハウスアプリケーションを削除する

ポリシーからアプリケーションを削除すると、当該ポリシーに属するモバイルデバイスにはすぐには影響がありません。つまり、「自動インストール」に設定されているアプリケーションを削除しても、それはポリシーのデバイスからは削除されず、「禁止」に設定されているアプリケーションを削除しても、それがポリシーのデバイスにインストールされることはありません。しかし、アプリケーションに関してモバイルデバイスに敷かれた制限は解除され、その後は、以前必要だったアプリケーションを削除したり、禁止したアプリケーションをインストールしたりすることができます。

➔ ポリシーからインハウスアプリケーションを削除するには:

1. **モバイルポリシーエリア**に移動します。
2. インハウスアプリケーションを削除したいポリシーをクリックします。
3. **インハウスアプリケーション**タブをクリックします。
4. 削除したい各インハウスアプリケーションのチェックボックスを選択します
5.  をクリックします。
6. **アプリケーションを削除** をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシー内のサードパーティアプリケーションを操作する

iOS および Android デバイスでは、以下の方法でポリシー内のサードパーティアプリケーションを使用できます:

- サードパーティアプリケーションを、ポリシーに属するモバイルデバイスのユーザーによるオンデマンドインストールが行えるようにする
- サードパーティアプリケーションを、ポリシーに属するモバイルデバイスに自動的にインストールする

サードパーティアプリケーションをAbsolute Manage Web Adminからポリシーに追加する前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用して、アプリケーションファイルをモバイルアプリケーションパッケージとしてインポートする必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「モバイルデバイスでのソフトウェアのインストール」を参照してください。

モバイルデバイスのオペレーティング・システムに応じて、ユーザーは以下のアプリケーションのインストールまたは削除を確認する必要がある場合があります:

- サイレントインストール (アプリケーションがユーザーの確認なしにインストールされる) は一部の Samsung Galaxy デバイスでサポートされています
- サイレント削除 (アプリケーションがユーザーの確認なしに削除される) は一部の Samsung Galaxy デバイスと、iOS 5 以降を実行しているデバイスでサポートされています (Absolute Manage を通じてインストールしたアプリケーションのみ)

ポリシーのアクションは、デバイスが通知サーバーまたはその OS ベンダーに次回接触するとすぐに、ポリシーに属するモバイルデバイスで発生します。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。アプリケーションのオンデマンドインストールを用いると、デバイスのユーザーに[メッセージを送信](#)または電子メールを送信して、新しいアプリケーションが利用できることを通知できます。

ポリシーにサードパーティアプリケーションを追加したら、そのポリシー内のアプリケーションの割り当てプロパティを編集することはできなくなります。これらのプロパティを編集する場合、ポリシーから該当するアプリケーションを削除し、適切なプロパティを使用して再度追加する必要があります。

ポリシーにサードパーティアプリケーションを追加する

➔ ポリシーにサードパーティアプリケーションを追加するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. サードパーティアプリケーションを追加したいポリシーをクリックします。
3. **サードパーティアプリケーション**タブをクリックします。
4. 作業エリアのツールバーで、**サードパーティアプリケーションを追加**をクリックします。
5. ポリシーに追加したい各サードパーティアプリケーションのチェックボックスを選択します

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (アプリケーション名またはバージョン番号など) でリストを絞り込み、特定のアプリケーションを素早く探し出すことができます。

6. **割り当てルール**リストから、ポリシーに属するデバイス上で、選択したアプリケーションをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール:**アプリケーションは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされます。デバイスがポリシーを離れてもアプリケーションはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればアプリケーションを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド:**アプリケーションは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはアプリケーションを手動でインストールすることができます。デバイスがポリシーを離れても

アプリケーションはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればアプリケーションを手動で削除することができます。

- **自動インストール、自動削除:**アプリケーションは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされ、ポリシーから離れると削除されます。
- **オンデマンド、自動削除:**アプリケーションは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはアプリケーションを手動でインストールすることができます。アプリケーションは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。

注記 iOS デバイスでのオンデマンドインストールについての詳細は、[Absolute Global Support](#)にお問い合わせください。

7. ポリシーが選択したアプリケーションの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定**チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの1つを選択します:
 - **次の期間内で毎日:**アプリケーションは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1日の特定の時刻の間のみ利用できます (たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始:**アプリケーションは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。


注記 これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時 (UTC) に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間 (DST) は UTC に適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。

8. **ポリシーへの追加**をクリックします。
9. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシーからサードパーティアプリケーションを削除する

ポリシーからアプリケーションを削除すると、当該ポリシーに属するモバイルデバイスにはすぐには影響がありません。つまり、**自動インストール**に設定されているアプリケーションを削除しても、それはポリシーのデバイスからは削除されず、**禁止**に設定されているアプリケーションを削除しても、それがポリシーのデバイスにインストールされることはありません。しかし、アプリケーションに関してモバイルデバイスに敷かれた制限は解除され、その後は、以前必要だったアプリケーションを削除したり、禁止したアプリケーションをインストールしたりすることができます。

➔ ポリシーからサードパーティアプリケーションを削除するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. サードパーティアプリケーションを削除したいポリシーをクリックします。
3. **サードパーティアプリケーション**タブをクリックします。
4. 削除したい各サードパーティアプリケーションのチェックボックスを選択します
5.  をクリックします。
6. **アプリケーションを削除**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシー内の構成プロファイルを操作する

以下の方法でポリシー内の構成プロファイルを使用できます:

- 構成プロファイルを、ポリシーに属するモバイルデバイスのユーザーによるオンデマンドインストールが行えるようにする (iOS および Android デバイスのみ)
- 構成プロファイルを、ポリシーに属するモバイルデバイスに自動的にインストールする
- ポリシーに属するモバイルデバイスでの構成プロファイルのインストールを禁止する

Absolute Manage Web Adminから構成プロファイルをポリシーへ追加する前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用してプロファイルをインポートまたは作成する必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイドの「構成プロファイルの操作」*を参照してください。

ポリシーのアクションは、デバイスが通知サーバーまたはその OS ベンダーに接触するとすぐに、ポリシーに属するモバイルデバイスで発生します。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。

複数のポリシー内にある同じ構成プロファイルを重複して使用することができます。たとえば、プロファイルが自動インストールされる 1 つのポリシーと、プロファイルが禁止されている別のポリシーの両方にデバイスを設定することができます。両方のポリシーの要件を同時に満たす方法はないので、Absolute Manage は以下の階層を使用してプロファイルのアクションを実行します。ここで高次のエントリーは低次のエントリーに優先されます。

- 禁止
- 自動インストール
- オンデマンド
- 自動削除

たとえば、モバイルデバイスに設定されている 1 つのポリシーでは構成プロファイルが自動インストールされ、別のポリシーでは禁止されている場合、**禁止** カテゴリは **自動インストール** カテゴリより優先されるため、プロファイルはこのデバイスでは利用できません。

注記 Windows Phone デバイスでは、一度に 1 つの構成プロファイルのみをアクティブにできます (Exchange ActiveSync ポリシー)。結果として、デバイスが属する Absolute Manage ポリシーが 1 つ以上のプロファイルに自動インストールを指定している場合、プロファイルは Windows Phone デバイスにはインストールされません。

ポリシーに構成プロファイルを追加したら、そのポリシー内のプロファイルの割り当てプロパティを編集することができなくなります。これらのプロパティを編集する場合、ポリシーから該当する構成プロファイルを削除し、適切なプロパティを使用して再度追加する必要があります。

構成プロファイルをポリシーに追加する

➔ 構成プロファイルをポリシーに追加するには:

1. **モバイルポリシー** エリアに移動します。
2. 構成プロファイルを追加したいポリシーをクリックします。
3. **構成プロファイル** タブをクリックします。
4. 作業エリアのツールバーで、**構成プロファイルを追加** をクリックします。
5. ポリシーに追加したい各構成プロファイルのチェックボックスを選択します

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (プロファイル名または説明など) でリストを絞り込み、特定の構成プロファイルを素早く探し出すことができます。

6. **割り当てルール**リストから、ポリシーに属するデバイス上で、選択したプロファイルをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール**: プロファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされます。デバイスがポリシーを離れてもプロファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればプロファイルを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド**: プロファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはプロファイルを手動でインストールすることができます。デバイスがポリシーを離れてもプロファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればプロファイルを手動で削除することができます。
 - **自動インストール、自動削除**: プロファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされ、ポリシーから離れると削除されます。
 - **オンデマンド、自動削除**: プロファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはプロファイルを手動でインストールすることができます。プロファイルは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
 - **禁止**: これらのプロファイルは、ポリシーに属するデバイスにインストールできません。

注記 オンデマンドのプロファイルインストールは、iOS および Android デバイスのみで利用できます。iOS デバイスでのオンデマンドのプロファイルインストールについての詳細は、[Absolute Global Support](#)にお問い合わせください。

7. 選択したプロファイルの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定** チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの 1 つを選択します:
 - **次の期間内で毎日**: プロファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1 日の特定の時刻の間のみ利用できます (たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始**: プロファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。


注記 これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時 (UTC) に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間 (DST) は UTC に適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。

8. **ポリシーへの追加**をクリックします。
9. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

構成プロファイルの割り当てルールを編集する

➔ ポリシー内の構成プロファイルの割り当てルールを編集するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 編集したいポリシーをクリックします。
3. **構成プロファイル**タブをクリックします。
4. 割り当てルールを変更したい各構成プロファイルのチェックボックスを選択します

5.  をクリックします。
6. **割り当てルールリスト**から、ポリシーに属するデバイス上で、選択したプロファイルをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール**: プロファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされます。デバイスがポリシーを離れてもプロファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればプロファイルを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド**: プロファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはプロファイルを手動でインストールすることができます。デバイスがポリシーを離れてもプロファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればプロファイルを手動で削除することができます。
 - **自動インストール、自動削除**: プロファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにインストールされ、ポリシーから離れると削除されます。
 - **オンデマンド、自動削除**: プロファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはプロファイルを手動でインストールすることができます。プロファイルは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
 - **禁止**: これらのプロファイルは、ポリシーに属するデバイスにインストールできません。
7. 選択したプロファイルの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定** チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの 1 つを選択します:
 - **次の期間内で毎日**: プロファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1 日の特定の時刻の間のみ利用できます (たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始**: プロファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。

注記 これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時 (UTC) に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間 (DST) は UTC に適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。


8. **保存** をクリックします。
9. **完了** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシーから構成プロファイルを削除する

ポリシーから構成プロファイルを削除すると、当該ポリシーに属するモバイルデバイスにはすぐには影響がありません。つまり、「自動インストール」に設定されているプロファイルを削除しても、それはポリシーのデバイスからは削除されず、「禁止」に設定されているプロファイルを削除しても、それがポリシーのデバイスにインストールされることはありません。しかし、構成プロファイルに関してモバイルデバイスに敷かれた制限は解除され、その後は、以前必要だったプロファイルを削除したり、禁止したプロファイルをインストールしたりすることができます。

➔ ポリシーから構成プロファイルを削除するには:

1. **モバイルポリシーエリア**に移動します。
2. 構成プロファイルを削除したいポリシーをクリックします。
3. **構成プロファイル**タブをクリックします。
4. 削除したい各ポリシーのチェックボックスを選択します

5.  をクリックします。
6. **プロフィールを削除** をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシー内のメディアファイル进行操作する

iOS および Android デバイスでは、以下の方法でポリシー内のメディアファイルを使用できます:

- メディアファイルを、ポリシーに属するモバイルデバイスのユーザーによる AbsoluteSafe 内のオンデマンドインストールが行えるようにする
- AbsoluteSafe を通じて、ポリシーに属するモバイルデバイスにメディアファイルを自動的にダウンロードする

ポリシーを通じて利用可能になったメディアファイルにユーザーがアクセスするには、モバイルデバイスに AbsoluteSafe アプリケーションがインストールされている必要があります。

ポリシーにメディアファイルを追加するには、[ファイルを Absolute Manage にインポートする必要があります](#)。

ポリシーのアクションは、デバイスが通知サーバーまたはその OS ベンダーに接触するとすぐに、ポリシーに属するモバイルデバイスで発生します。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。デバイスのユーザーに[メッセージを送信](#)または電子メールを送信して、新しいメディアファイルが利用できることを通知できます。

メディアファイルをポリシーに追加する

➔ メディアファイルをポリシーに追加するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. メディアファイルを追加したいポリシーをクリックします。
3. **コンテンツ**タブをクリックします。
4. 作業エリアのツールバーで、**コンテンツをポリシーに追加**をクリックします。
5. ポリシーに追加したい各メディアファイルのチェックボックスを選択します

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (ファイル名またはメディアカテゴリーなど) でリストを絞り込み、特定のメディアファイルを素早く探し出すことができます。

6. **割り当てルール**リストから、ポリシーに属するデバイス上で、選択したメディアファイルをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール:**メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド:**メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **自動インストール、自動削除:**メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされ、ポリシーから離れると削除されます。
 - **オンデマンド、自動削除:**メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。ファイルは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
7. ポリシーが選択したメディアファイルの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定**チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの 1 つを選択します:


- **次の期間内で毎日**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1日の特定の時刻の間のみ利用できます(たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
- **開始**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。

注記 これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時(UTC)に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間(DST)はUTCに適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。

8. **ポリシーへの追加**をクリックします。
9. **完了**をクリックして確認メッセージを閉じてください。

メディアファイルの割り当てルールを編集する

➔ ポリシー内のメディアファイルの割り当てルールを編集するには:


1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 編集したいポリシーをクリックします。
3. **コンテンツ**タブをクリックします。
4. 割り当てルールを変更したい各メディアファイルのチェックボックスを選択します
5.  をクリックします。
6. **割り当てルール**リストから、ポリシーに属するデバイス上で、選択したメディアファイルをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **自動インストール、自動削除**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされ、ポリシーから離れると削除されます。
 - **オンデマンド、自動削除**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。ファイルは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
7. ポリシーが選択したメディアファイルの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定**チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの1つを選択します:
 - **次の期間内で毎日**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1日の特定の時刻の間のみ利用できます(たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。

注記 これらのフィールドには、現地 の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時 (UTC) に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差 の存在を考慮する 必要があります。さらに、夏時間 (DST) は UTC に適用されていないため、その補正も手動で行う 必要があります。

8. **コンテンツの編集** をクリックします。
9. **完了** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシーからメディアファイルを削除する

➔ ポリシーからメディアファイルを削除するには:

1. **モバイルポリシー** エリアに移動します。
2. メディアファイルを削除したいポリシーをクリックします。
3. **コンテンツ** タブをクリックします。
4. 削除したい各メディアファイルのチェックボックスを選択します
5.  をクリックします。
6. **コンテンツを削除する** をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシー内のアクションを操作する

スマートポリシー内のアクションを使用すると、モバイルデバイスがポリシーに参加したときに自動的に実施されるタスクを指定できます。アクションは標準ポリシーと一緒に使用できません。

アクションをスマートポリシーに追加する前に、前もって[割り当て可能なアイテム > アクション](#)エリアにアクションを用意しておく必要があります。

アクションをスマートポリシーに追加する場合、デバイスがその OS ベンダーの通知サーバーに連絡するとすぐに、そのポリシーのメンバーであるすべてのモバイルデバイス上でアクションが実施されます。デバイスが Wi-Fi またはモバイルネットワークに接続されている場合、このアクションは通常 1 分以内に実行されますが、それ以外の場合はデバイスがネットワークに再接続されたときに行われます。アクションは、将来スマートポリシーに参加する各モバイルデバイスでも実施されます。

スマートポリシーにアクションを追加する

➔ スマートポリシーにアクションを追加するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. アクションを追加したいスマートポリシーをクリックします。
3. **アクション**タブをクリックします。
4. 作業エリアのツールバーで、**ポリシーにアクションを追加**をクリックします。
5. スマートポリシーに追加したい各アクションのチェックボックスを選択します。

検索フィールドを使用して、具体的な条件 (アクション名など) でリストを絞り込み、特定のアクションを素早く探し出すことができます。

6. アクションを遅延、または繰り返すかどうか指定します。
 - モバイルデバイスがスマートポリシーに参加するすぐにアクションを実施させず、指定した間隔が経過した後で実施させる場合、**モバイルデバイスアクション開始遅延**を選択します。
 - 指定した間隔の後、指定した回数だけモバイルデバイスでアクションを繰り返す場合、**アクションのリポート**を選択します。

必要に応じて、これらのオプションの両方を組み合わせることができます。例えば、両方のオプションを使用して、モバイルデバイスがポリシーに参加した2時間後、およびその後1時間ごとにメッセージをモバイルデバイスに送信することができます。


注記 指定した遅延または繰り返しは、既存および将来のスマートポリシーのメンバーに適用されます。既存メンバーの遅延は、アクションがスマートポリシーに割り当てられた瞬間から計算されます。遅延またはリポートされるアクションは、モバイルデバイスがスマートポリシーのメンバーでなくなると、実施されません。

7. **保存**をクリックします。
8. **完了**をクリックして確認メッセージを閉じてください。

アクションの割り当てルールを編集する

➔ スマートポリシー内のアクションの割り当てルールを編集するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 編集したいスマートポリシーをクリックします。

3. **アクション**タブをクリックします。
4. 割り当てルールを変更したいアクションのチェックボックスを選択します。
5.  をクリックします。
6. アクションを遅延、または繰り返すかどうか指定します。
 - モバイルデバイスがスマートポリシーに参加すですぐにアクションを実施させず、指定した間隔が経過した後で実施させる場合、モバイルデバイス**アクション開始遅延**を選択します。
 - 指定した間隔の後、指定した回数だけモバイルデバイスでアクションを繰り返す場合、**アクションのリポート**を選択します。

必要に応じて、これらのオプションの両方を組み合わせることができます。例えば、両方のオプションを使用して、モバイルデバイスがポリシーに参加した2時間後、およびその後1時間ごとにメッセージをモバイルデバイスに送信することができます。


注記 指定した遅延または繰り返しは、既存および将来のスマートポリシーのメンバーに適用されます。既存メンバーの遅延は、アクションがスマートポリシーに割り当てられた瞬間から計算されます。遅延またはリポートされるアクションは、モバイルデバイスがスマートポリシーのメンバーでなくなると、実施されません。

7. **保存**をクリックします。
8. **完了** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

スマートポリシーからアクションを削除する

スマートポリシーからアクションを削除すると、そのアクションの残りの繰り返し、または遅延実行は、実施されません。Absolute Manage Web Adminおよびすべての関連するスマートポリシーからアクションを削除したい場合、[アクションを削除](#) できます。

➔ スマートポリシーからアクションを削除するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. アクションを削除したいスマートポリシーをクリックします。
3. **アクション**タブをクリックします。
4. 削除したい各アクションのチェックボックスを選択します。
5.  をクリックします。
6. **アクションの削除**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

ポリシーを編集する

既存のポリシーは以下の方法で編集することができます:

- 標準ポリシーでは、ポリシー名の編集、ポリシーに属するモバイルデバイスのリストの編集、モバイルデバイスのポリシー間の移動を行うことができます。
- スマートポリシーでは、ポリシー名の編集とポリシーのフィルター基準の編集を行うことができます。


また、すべてのポリシーで以下のタスクを実行できます:

- [ポリシーに含まれるインハウスアプリケーションを追加または削除する](#)
- [ポリシーに含まれるサードパーティアプリケーションを追加または削除する](#)
- [ポリシーに含まれる構成プロファイルを追加または削除する](#)
- [ポリシーに含まれるモバイルコンテンツの割り当てプロパティを追加、削除、編集する](#)
- [スマートポリシーの場合、ポリシーに含まれるアクションの割り当てプロパティを追加、削除、編集する](#)


ポリシー内のインハウスアプリケーションまたはサードパーティアプリケーションの割り当てプロパティを編集するには、ポリシーから当該アプリケーションを削除し、希望のプロパティを使用して再度追加する必要があります。

標準ポリシーを編集する

➔ 標準ポリシーの名前を変更するには:

- モバイルポリシーエリアに移動します。
- 編集したいポリシーのチェックボックスを選択します。
-  をクリックします。
- ポリシーの新しい名前を入力します。
- ポリシーの編集をクリックします。
- OK をクリックして確認メッセージを閉じてください。


➔ 標準ポリシーに属するモバイルデバイスのリストを編集するには:

- モバイルポリシーエリアに移動します。
- 編集したいポリシーをクリックします。
- モバイルデバイスタブで、必要に応じてモバイルデバイスを追加または削除します:
 - モバイルデバイスをポリシーに追加するには:
 - モバイルデバイスをポリシーに追加をクリックします。
 - 追加したい各モバイルデバイスのチェックボックスを選択します (検索フィールドを使用して、具体的な条件でデバイスのリストを絞り込み、特定のデバイスを素早く探し出すことができます)。
 - ポリシーへの追加をクリックします。
 - モバイルデバイスをポリシーから削除するには:
 - 削除したい各モバイルデバイスのチェックボックスを選択します。
 -  をクリックします。
 - デバイスを削除するをクリックします。

注記 モバイルデバイスをポリシーから削除すると、「自動削除」に設定されているアプリケーション、モバイルコンテンツ、構成プロファイルはそのデバイスから削除されます。


4. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

➔ モバイルデバイスをポリシー間で移動するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 移動しようとするモバイルデバイスが含まれる標準ポリシーをクリックします。
3. モバイルデバイスタブで、移動させたい各モバイルデバイスのチェックボックスを選択します。
4.  をクリックします。
利用可能な標準ポリシーのリストが開きます。
5. モバイルデバイスを移動させたい各ポリシーのチェックボックスを選択します。
検索フィールドを使用して、具体的な条件 (ポリシー名号など) でリストを絞り込み、特定のポリシーを素早く探し出すことができます。
6. **モバイルデバイスを移動**をクリックします。
7. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

スマートポリシーを編集する

➔ スマートポリシーの名前またはフィルター基準を変更するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 編集したいスマートポリシーのチェックボックスを選択します。
3.  をクリックします。
4. プロパティを編集ダイアログのページで、必要に応じて以下を実行します:
 - a) スマートポリシーの新しい名前を入力します。
 - b) スマートポリシーでモバイルデバイスのフィルタリングに使用したい基準の種類を変更します:
 - **モバイルデバイス**: デバイスの詳細の任意の組み合わせに基づいてフィルターを作成できます
 - **インストール済みアプリケーション別モバイルデバイス**: インストールまたは紛失したアプリケーションに基づいてフィルターを作成できます
 - **追加された構成プロファイル別モバイルデバイス**: インストールまたは紛失した構成プロファイルに基づいてフィルターを作成できます
 - c) **続行**をクリックします。
5. スマートフィルタを編集ダイアログのページで、必要に応じて以下を実行します:
 - a) ポリシーのフィルターを編集します。詳細については、[フィルターを理解する](#)を参照してください。
 - b) **続行**をクリックします。
6. 確認して保存ダイアログページで、編集したフィルターを確認します。フィルターの編集に戻るには、**戻る**をクリックします。
7. フィルターに問題がなければ、**保存**をクリックします。
8. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

スマートポリシーのモバイルデバイスタブに、フィルター基準に現在一致しているデバイスのリストが表示されます。


ポリシーを削除する

ポリシーを削除すると、そのポリシーに属するモバイルデバイスは以下のように影響を受けます:

ポリシーの内容	割り当てルール	ポリシーの削除後にモバイルデバイスで見られる影響
インハウスアプリケーション サードパーティアプリケーション	自動インストール	アプリケーションはデバイスに残る
	オンデマンド	アプリケーションは AbsoluteApps でダウンロードすることができなくなる すでにインストールされたアプリケーションはデバイスに残る
	自動インストール、自動削除	アプリケーションはデバイスから削除される
	オンデマンド、自動削除	アプリケーションは AbsoluteApps でダウンロードすることができなくなる すでにインストールされているアプリケーションはデバイスから削除される
構成プロファイル	自動インストール	プロファイルはデバイスに残る
	オンデマンド	プロファイルは AbsoluteApps でインストールすることができなくなる すでにインストールされたプロファイルはデバイスに残る
	自動インストール、自動削除	プロファイルはデバイスから削除される
	オンデマンド、自動削除	プロファイルは AbsoluteApps でインストールすることができなくなる すでにインストールされているプロファイルはデバイスから削除される
メディアファイル	自動インストール	ファイルは AbsoluteSafe でアクセス可能な状態を維持する
	オンデマンド	ファイルは AbsoluteSafe でダウンロードすることができなくなる すでにダウンロードされているファイルは AbsoluteSafe に残る
	自動インストール、自動削除	ファイルは AbsoluteSafe から削除される
	オンデマンド、自動削除	ファイルは AbsoluteSafe でダウンロードすることができなくなる すでにダウンロードされているファイルは AbsoluteSafe から削除される

加えて、ポリシーが削除されると、ポリシーがモバイルデバイスに加える制限（たとえば、禁止されているアプリケーションをインストールするなど）が解除されます。

➔ ポリシーを削除するには:

1. **モバイルポリシー**エリアに移動します。
2. 削除したい各ポリシーのチェックボックスを選択します。
3.  をクリックします。
4. **ポリシーの削除**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

割り当て可能なアイテムを操作する

割り当て可能なアイテムエリアを使用して、モバイルデバイスとポリシーに割り当て可能なアイテム (メディアファイルやアプリケーションなど) の表示と管理を行うことができます。

このエリアに初めてアクセスした際は、メディアファイルのみが一覧表示されています。割り当て可能なアイテムのサイドバーから、以下のアイテムタイプのいずれかを選択することで、他のアイテムも表示することができます。

- インハウスアプリケーション
- サードパーティアプリケーション
- ブックストアのブック
- 構成プロファイル
- プロビジョニングプロファイル
- アクション

また、検索フィールドに特定の検索条件を入力して[個別のアイテムを検索](#)したり、結果グリッドに含まれる[情報をカスタマイズ](#)したりできます。

割り当て可能なアイテムエリアでは、以下のタスクを実行することができます。

- [メディアファイルの詳細を表示する](#)
- [メディアファイルをインポートする](#)
- [メディアファイルのプロパティを編集する](#)
- [メディアファイルを削除する](#)
- [インハウスアプリケーションの詳細を表示する](#)
- [サードパーティアプリケーションの詳細を表示する](#)
- [電子書籍の詳細を表示する](#)
- [構成プロファイルの詳細を表示する](#)
- [プロビジョニングプロファイルの詳細を表示する](#)
- [アクションの詳細を表示する](#)
- [アクションを作成する](#)
- [アクションを複製する](#)
- [アクションを削除する](#)

メディアファイルをインポートする

Absolute Manage Web Adminを使用してメディアファイルをインポートし、AbsoluteSafe アプリケーションを通じて iOS および Android の管理 デバイスを利用 可能にすることができます。

インポートプロセスの間に、既存の**ポリシー**を通じてメディアファイルを配信すると、特定のファイルにアクセスできる人々を詳細に管理することができます。さらに、オプションでメディアファイルが AbsoluteSafe から除去されないようにすることもできます。AbsoluteSafe 内のファイルは暗号化された形式でモバイルデバイスに記憶され、コンピューターのデバイスバックアップの一部ではありません (たとえば iTunes を通じたバックアップなど)。

任意の種類 のファイルをモバイルデバイスに配信できる一方で、AbsoluteSafe は以下のメディアファイルのディレクトリをアプリケーション内で表示することに対応しています:


- Web コンテンツ
 - HTML ページ (HTM, HTML)
 - XML
 - XSL
 - Safari ウェブアーカイブ (WEBARCHIVE); iOS のみ
- ドキュメント
 - PDF
 - Word (DOC, DOCX)*; iOS のみ
 - Pages (PAGES); iOS のみ
 - リッチテキスト (RTF)
 - RTF ディレクトリ (RTFD); iOS のみ
 - 書式設定されていないテキスト (TXT)
- プレゼンテーション
 - PowerPoint (PPT, PPTX)*; iOS のみ
 - Keynote (KEY); iOS のみ
- スプレッドシート
 - Excel (XLS, XLSX)*; iOS のみ
 - Numbers (NUMBERS); iOS のみ
- 画像
 - BMP
 - GIF
 - JPG, JPEG
 - PNG
 - TIF, TIFF; iOS のみ
 - WEBP; Android のみ
- オーディオ**
 - AAC オーディオ (M4A/3GP)
 - AAC オーディオブック (M4B/M4P); iOS のみ
 - AIFF (AIFF, AIF, AIFC, CDDA); iOS のみ
 - AMR (AMR, 3GP)
 - FLAC; Android のみ
 - MIDI (IMY, MID, XMF, MXMF, OTA, RTTTL, RTX); Android のみ
 - MP3 (MP3, SWA)

- MPEG オーディオ (MPEG, MPG, MP3, SWA)
- Vorbis (OGG, MKV); Android のみ
- WAVE (WAV, BWF)
- ビデオとマルチメディア**
 - 3GP, 3GPP
 - 3GP2, 3G2
 - AVI
 - MPEG-4 (MP4, M4V)
 - QuickTime (MOV, QT, MQV); iOS のみ
 - VP8 (WEBM, MKV); Android のみ

* Microsoft Office 95 以前のフォーマットはサポートされません。

** オーディオおよびビデオフォーマットのサポートは、モバイルデバイスのコンテナとコーデックフォーマットに依存します。そのため、コンテナとコーデックがサポートされていても、AbsoluteSafe で再生できないファイルがある可能性があります。一部のデバイスでは、AbsoluteSafe はここに記載のない追加フォーマットを再生できることがあります。

➔ メディアファイルをインポートし、ポリシーを通じてそれらをモバイルデバイスに配信するには:

1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. サイドバーで、コンテンツをクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次にモバイルコンテンツをクリックすることもできます)
3. コンテンツの追加をクリックします。
4. ファイルのアップロードダイアログのページで、以下を実行します:
 - a) ページの指定エリアにインポートしたいファイルをドラッグするか、そのエリア内でクリックしてインポートするファイルを参照して選択します。
 - b) 必要に応じて、テキストフィールドでファイルの名前を編集します。
 - c) 続行をクリックします。
5. プロパティの割り当てダイアログのページで、以下を実行します:
 - a) インポートするファイルの分類として最もふさわしいカテゴリを入力します。入力に合わせて、デフォルトのカテゴリ (ドキュメント、ピクチャー、マルチメディアなど) が提案として表示されます。
 - b) フィールドに説明を入力します。
ここに入力した説明はモバイルデバイスのユーザーに表示されるため、インポートするファイルと関連のあるものにしてください。
 - c) モバイルデバイスのユーザーがこのファイルを AbsoluteSafe 以外のアプリケーションで表示または編集できるようにしたい場合、**AbsoluteSafe から出ることができる**チェックボックスを選択します。

重要 このオプションを有効にしないと、実際のファイルが AbsoluteSafe から出することは絶対にありませんが、そのファイルに含まれる情報に関しては必ずしも該当しません。たとえば、ユーザーがファイル内のテキストのスクリーンショットを取り、その画像を他人に送信する可能性等があります。

このオプションを有効にすると、ユーザーによるファイルのメール送信可能およびユーザーによるファイル印刷可能チェックボックスを選択し、これらのタスクを迅速に実行できるボタンを AbsoluteSafe に作ることができます。

- d) ファイルが大きく、ダウンロードに時間がかかり過ぎたりデータ通信料が過剰になることを避けた場合、**Wi-Fi のみでファイルをダウンロードする**チェックボックスを選択します。

注記 このオプションには AbsoluteSafe 1.1 以降が必要です。それ以前の AbsoluteSafe バージョンでは、この処理は無視されます。

- e) ファイルにパスワードを設定するには、**パスフレーズ**フィールドにパスワードを入力して確認します。このパスフレーズは、ファイルを AbsoluteSafe で開くたびに入力する必要があります。ファイルにパスフレーズを設定すると、AbsoluteSafe から出ることができなくなります。したがって、パスフレーズは AbsoluteSafe でサポートされているファイルの種類にのみ設定できます (サポートされているファイルの種類については上記を参照してください)。パスフレーズを設定すると、**ファイルを AbsoluteSafe から出すことが可能**オプションは有効にできません。
- f) **続行**をクリックします。
6. ポリシーの割り当てダイアログのページで、以下を実行します:
- ポリシーを割り当てずにこの時点でメディアファイルをインポートしたい場合、**保存**をクリックします。
 - ここでメディアファイルを既存のポリシーに割り当てたい場合、以下を実行します:
 - i) メディアファイルを追加したい各ポリシーのチェックボックスを選択します。検索フィールドを使用して、具体的な条件 (ポリシー名など) でリストを絞り込み、特定のポリシーを素早く探し出すことができます。
 - ii) **割り当てルール**リストから、ポリシーに属するデバイス上で、選択したメディアファイルをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **自動インストール、自動削除**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされ、ポリシーから離れると削除されます。
 - **オンデマンド、自動削除**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。ファイルは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
 - iii) 選択したメディアファイルの可用性を特定の日付または時刻に制限するには、**利用可能時間を設定**チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの 1 つを選択します:
 - **次の期間内で毎日**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1 日の特定の時刻の間のみ利用できます (たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。
-
- 注記** これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時 (UTC) に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間 (DST) は UTC に適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。
-
- iv) **保存**をクリックします。

7. **完了**をクリックします。



メディアファイルの詳細を表示する



Absolute Manage へインポートした、メディアファイルの詳細を、プロパティ、ポリシー、各ファイルに関連付けられたモバイルデバイスを含めて表示することができます。

➔ メディアファイルの詳細を表示するには:

1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. 結果グリッドで、詳細を表示したいメディアファイルをクリックします。

コンテンツの詳細ページが開きます。以下の表は、このページで利用可能なファイルの情報をまとめたものです:

フィールド	説明
AbsoluteSafe から出る	モバイルデバイスのユーザーがこのファイルを AbsoluteSafe の外に出すことが許可されていることを示します (たとえば閲覧するため、別のアプリケーションで編集するため、または他のデバイスに転送するためなど)。これに加えて、ユーザーが AbsoluteSafe から行えるアクションを表す以下のアイコンが表示されることがあります:  - AbsoluteSafe 内からファイルをメールで送信できることを示します  - AbsoluteSafe 内からファイルを印刷できることを示します
パスワードあり	ファイルにアクセスするためにパスワード (ファイルのプロパティで設定した) の入力が必要かどうかを示します
Wi-Fi ダウンロードのみ	モバイルデバイスが Wi-Fi 経由で接続しているときのみメディアファイルをダウンロードできるかどうかを示します
ファイル名	メディアファイルの名前
ファイルの種類	メディアファイルの種類
カテゴリ	メディアファイルが割り当てられているコンテンツカテゴリ
ファイルのサイズ	メディアファイルのサイズ
最終更新日	メディアファイルが最後に編集された日付と時刻 (現地時間で表示)
説明	メディアファイルの説明

3. 以下のタブをクリックすると、メディアファイルに関する情報を表示したり、メディアファイルで特定のアクションを実行することができます:
 - **ポリシー:**メディアファイルが属するすべてのポリシーを一覧表示します。このタブから以下のタスクを実行できます:
 - メディアファイルをポリシーに追加 タブから **コンテンツをポリシーに追加** ボタンをクリックします。
 - メディアファイルをポリシーから削除 タブから該当するポリシーのチェックボックスを選択し  をクリックします。
 - ポリシー割り当てルールの編集 タブからメディアへの該当するポリシーのチェックボックスを選択し  をクリックします。

- **モバイルデバイス**:メディアファイルにアクセスできるすべてのモバイルデバイスを一覧表示します (メディアファイルが属するポリシーのメンバーであるモバイルデバイス)。



ページ上部にある[検索フィールドを使用](#)にて、具体的な条件 (ポリシーまたはデバイス名など) で一覧表示された項目を絞り込むことで、これらのページの特定の結果を素早く探し出すことができます。また、これらのページの[列レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。

メディアファイルのプロパティを編集する


Absolute Manage へインポートした、メディアファイルのプロパティを編集することができます。これらのプロパティには、ファイル名、カテゴリー、説明、パーミッションオプションが含まれます。

メディアファイルが属するポリシーのリストを編集したり、ファイルに設定されているポリシーの割り当てルールを編集することもできます。

➔ メディアファイルのプロパティを編集するには:

1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. サイドバーで、**コンテンツ**をクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルコンテンツ**をクリックすることもできます)
3. 結果グリッドで、編集したいメディアファイルのチェックボックスを選択します。
4.  をクリックします。
5. ファイルのプロパティを適宜編集します。メディアファイルのプロパティについての詳細は、[メディアファイルをインポートする](#)を参照してください。
6. **保存**をクリックします。
7. **完了** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

➔ メディアファイルをポリシーに追加するには:



1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. サイドバーで、**コンテンツ**をクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルコンテンツ**をクリックすることもできます)
3. 結果グリッドで、編集したいメディアファイルををクリックします。
4. **ポリシータブ**をクリックします。
結果グリッドは、ファイルが属するすべてのポリシーを一覧表示します。
5. **ポリシーへのコンテンツの追加**をクリックします。
6. メディアファイルを追加したい各ポリシーのチェックボックスを選択します。
検索フィールドを使用して、具体的な条件 (ファイル名またはメディアカテゴリーなど) でリストを絞り込み、特定のメディアファイルを素早く探し出すことができます。
7. **割り当てルール**リストから、選択したポリシーに属するデバイス上で、メディアファイルをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **自動インストール、自動削除**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされ、ポリシーから離れると削除されます。

- **オンデマンド、自動削除**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。ファイルは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
8. 選択したポリシーがメディアファイルの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定** チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの1つを選択します:
- **次の期間内で毎日**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、1日の特定の時刻の間のみ利用できます(たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始**:メディアファイルは、このポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。


注記 これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時(UTC)に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間(DST)はUTCに適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。


9. **ポリシーに追加**をクリックします。
10. **完了**をクリックして確認メッセージを閉じてください。

➔ ポリシーからメディアファイルを削除するには:

1. **割り当て可能なアイテム**エリアに移動します。
2. サイドバーで、**コンテンツ**をクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルコンテンツ**をクリックすることもできます)
3. 結果グリッドで、編集したいメディアファイルをクリックします。
4. **ポリシータブ**をクリックします。
結果グリッドは、ファイルが属するすべてのポリシーを一覧表示します。
5. メディアファイルを削除したい各ポリシーのチェックボックスを選択します。
6.  をクリックします。
7. **コンテンツを削除する**をクリックします。
8. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

➔ メディアファイルの割り当てルールを編集するには:



1. **割り当て可能なアイテム**エリアに移動します。
2. サイドバーで、**コンテンツ**をクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルコンテンツ**をクリックすることもできます)
3. 結果グリッドで、編集したいメディアファイルをクリックします。
4. **ポリシータブ**をクリックします。
結果グリッドは、ファイルが属するすべてのポリシーを一覧表示します。
5. 割り当てルールを変更したい各ポリシーのチェックボックスを選択します。

6.  をクリックします。
 7. **割り当てルールリスト**から、選択したポリシーに属するデバイス上で、メディアファイルをどのように管理したいかを選択します:
 - **自動インストール**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **オンデマンド**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。デバイスがポリシーを離れてもメディアファイルはデバイスに留まり、デバイスのユーザーが必要であればファイルを手動で削除することができます。
 - **自動インストール、自動削除**:メディアファイルは、デバイスがポリシーに入ったときにダウンロードされ、ポリシーから離れると削除されます。
 - **オンデマンド、自動削除**:メディアファイルは AbsoluteApps がなくても利用できるようになり、デバイスのユーザーはファイルを手動でダウンロードすることができます。ファイルは、デバイスがポリシーから離れると削除されます。
 8. 選択したポリシーがメディアファイルの可用性を特定の日付または時刻に制限するようにさせたい場合、**利用可能時間を設定**チェックボックスを選択し、次に以下のオプションの1つを選択します:
 - **次の期間内で毎日**:メディアファイルは、ポリシーに属するモバイルデバイスで、1日の特定の時刻の間のみ利用できます (たとえば営業時間中など)。利用可能なフィールドで開始時刻と終了時刻を指定します。
 - **開始**:メディアファイルは、ポリシーに属するモバイルデバイスで、特定の期間の間のみ利用できます。開始時刻と日付、および終了時刻と日付を指定します。
-
- 注記** これらのフィールドには、現地の時刻を使用してください。入力した時刻は、協定世界時 (UTC) に変換され、Absolute Manage サーバー上に保存されます。結果として、モバイルクライアントとの時差の存在を考慮する必要があります。さらに、夏時間 (DST) は UTC に適用されていないため、その補正も手動で行う必要があります。
-
9. **コンテンツの編集**をクリックします。
 10. **完了** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

メディアファイルを削除する

Absolute Manage へインポートした、メディアファイルを削除することができます。メディアファイルを削除すると、そのファイルが属するポリシーから削除され、モバイルデバイスのユーザーが AbsoluteSafe を通じてそのファイルを利用することはできなくなります。メディアファイルを Absolute Manage Web Admin から削除しても、ユーザーが所有していたそのファイルのコピーは削除されません (ファイルが AbsoluteSafe から解放された場合)。

➔ Absolute Manage へインポートした、メディアファイルを削除するには:

1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. サイドバーで、コンテンツをクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次にモバイルコンテンツをクリックすることもできます)
3. 結果グリッドで、削除したいメディアファイルのチェックボックスを選択し、 をクリックします。
また、コンテンツの詳細ページから単独のメディアファイルを削除することもできます。
 - a) 結果グリッドで、削除したいメディアファイルをクリックします。そのファイルのコンテンツの詳細ページが開きます。
 - b) 削除をクリックします。
4. コンテンツの削除をクリックします。
5. OK をクリックして確認メッセージを閉じてください。

インハウスアプリケーションの詳細を表示する


Absolute Manage へインポートした、すべてのインハウスアプリケーションの詳細を表示することができます。これらのアプリケーションは iOS および Android デバイスに配信できます。

以下の 2 つの方法でインハウスアプリケーションをモバイルデバイスに配信することができます：

- ニーズに応じた[直接インストール](#)
- [ポリシー](#)による自動方式

アプリケーションを Absolute Manage Web Admin からインストール用に配信する前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用して、アプリケーションファイルをモバイルアプリケーションパッケージとしてインポートする必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「モバイルデバイスでのソフトウェアのインストール」を参照してください。

➔ Absolute Manage 内で利用可能なインハウスアプリケーションの詳細を表示するには：

1. **割り当て可能なアイテム**エリアに移動します。
2. サイドバーで、**インハウスアプリケーション**をクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**インハウスアプリケーション**をクリックすることもできます)

利用可能なインハウスアプリケーションのリストが結果グリッドに表示されます。ページ上部にある[検索フィールド](#)を使用して、具体的な条件 (アプリケーション名または OS の種類など) でリストを絞り込み、素早く特定のアプリケーションを探し出すことができます。また、このページの[列レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。

以下の表は、このページで利用可能なアプリケーションの情報をまとめたものです：

フィールド	適用先	説明
アプリ名	iOS および Android デバイス	アプリケーションパッケージの名前
OS タイプ	iOS および Android デバイス	パッケージに含まれるアプリケーションがサポートするオペレーティングシステム
バージョン	iOS および Android デバイス	パッケージに含まれるアプリケーションのバージョン番号
ビルド番号	iOS および Android デバイス	パッケージに含まれるアプリケーションのビルド番号
サイズ	iOS および Android デバイス	インストール後にアプリケーションコードがモバイルデバイスで要求するサイズ
簡略説明	iOS および Android デバイス	アプリケーションパッケージの簡略説明
バンドル識別子	iOS および Android デバイス	アプリケーションパッケージの固有識別子
互換性	iOS および Android デバイス	パッケージに含まれるアプリケーションと互換性のあるオペレーティングシステム
ユニバーサル	iOS デバイスのみ	アプリケーションが iPhone/iPod touch および iPad のハードウェアプラットフォームに最適化されているかを示します
サポートされているデバイス	iOS デバイスのみ	アプリケーションが実行されるハードウェアプラットフォーム (iPhone、iPad、iPod touch) のコマで区切ったリスト

フィールド	適用先	説明
iOS プロビジョニングプロファイル名	iOS デバイスのみ	アプリケーションに関連付けられているプロビジョニングプロファイルの名前
iOS プロビジョニングプロファイル有効期限	iOS デバイスのみ	アプリケーションに関連付けられているプロビジョニングプロファイルの有効期限

サードパーティアプリケーションの詳細を表示する


Absolute Manage へインポートした、すべてのサードパーティアプリケーションの詳細を表示することができます。これらのアプリケーションは iOS および Android デバイ스에配信できます。

以下の 2 つの方法でサードパーティアプリケーションをモバイルデバイスに配信することができます:

- ニーズに応じた[直接インストール](#)
- [ポリシー](#)による自動方式

アプリケーションを Absolute Manage Web Admin からインストール用に配信する前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用して、アプリケーションファイルをモバイルアプリケーションパッケージとしてインポートする必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「モバイルデバイスでのソフトウェアのインストール」を参照してください。

➔ Absolute Manage 内で利用可能なサードパーティアプリケーションの詳細を表示するには:

1. **割り当て可能なアイテム**エリアに移動します。
2. サイドバーで、**サードパーティアプリケーション**をクリックします。(画面の左上にあるアイコンをクリックし、次に**サードパーティアプリケーション**をクリックすることもできます)

利用可能なサードパーティアプリケーションのリストが結果グリッドに表示されます。ページ上部にある[検索フィールド](#)を使用して、具体的な条件 (アプリケーション名または OS の種類など) でリストを絞り込み、素早く特定のアプリケーションを探し出すことができます。また、このページの[列レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。

以下の表は、このページで利用可能なアプリケーションの情報をまとめたものです:


フィールド	適用先	説明
アイコン	iOS および Android デバイス	アプリケーションパッケージに関連付けられているアイコン
アプリ名	iOS および Android デバイス	アプリケーションパッケージの名前
OS	iOS および Android デバイス	パッケージに含まれるアプリケーションの記述に対応するオペレーティングシステム
カテゴリ	iOS および Android デバイス	アドミニストレーターによって指定された、アプリケーションパッケージのカテゴリ
互換性	iOS および Android デバイス	パッケージに含まれるアプリケーションと互換性のあるオペレーティングシステムのバージョン
ユニバーサル	iOS デバイスのみ	アプリケーションが iPhone/iPod touch および iPad のハードウェアプラットフォームに最適化されているかを示します
サポートされているデバイス	iOS デバイスのみ	アプリケーションが実行されるハードウェアプラットフォーム (iPhone、iPad、iPod touch) のコマで区切ったリスト
簡略説明	iOS および Android デバイス	アプリケーションパッケージの簡略説明
データバックアップの阻止	iOS デバイスのみ	デバイス上のアプリケーションのデータがシステムバックアップに含まれないようになっているかを示します

フィールド	適用先	説明
MDM が削除されたら 削除	iOS デバイスのみ	このアプリケーションが、Absolute Manage MDM サーバーに登録されなくなったモバイルデバイスから 自動的に削除されるかを示します。
購入済み VPP	iOS デバイスのみ	このアプリケーションで購入した App Store VPP (ボリューム購入プログラム) 管理ライセンスの合計 数
引換済み VPP	iOS デバイスのみ	管理されているモバイルデバイスにこのアプリケー ションのコピーをインストールするためにすでに使用 されている App Store VPP (ボリューム購入プログラ ム) コードの数。
残余 VPP	iOS デバイスのみ	このアプリケーションの割り当て分がまだ残っている App Store VPP (ボリューム購入プログラム) 管理 ライセンスの数

電子書籍の詳細を表示する

iTunes Store から購入して Absolute Manage へインポートした、すべての電子書籍の詳細を表示することができます。これらの書籍を iOS デバイスに配信するには、Absolute Manage Admin インタフェースを使用する必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「iTunes Book Store の書籍をモバイルユーザーに配信する」を参照してください。

➔ Absolute Manage 内で利用可能な電子書籍の詳細を表示するには:

1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. サイドバーで、**ブックストアの書籍**をクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**ブックストアの書籍**をクリックすることもできます)

iTunes Store で購入した利用可能なリストが結果グリッドに表示されます。ページ上部にある[検索フィールドを使用](#)にて、具体的な条件 (書籍の題名または説明など) でリストを絞り込み、素早く特定の書籍を探し出すことができます。また、このページの[列レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。

以下の表は、このページで利用可能な電子書籍の情報をまとめたものです:

フィールド	適用先	説明
アイコン	iOS デバイスのみ	書籍に関連付けられているアイコン
題名	iOS デバイスのみ	書籍の題名
簡略説明	iOS デバイスのみ	書籍の内容の簡単な説明
カテゴリー	iOS デバイスのみ	書籍のジャンル

構成プロファイルの詳細を表示する


Absolute Manage 内でインポートまたは作成した、すべての構成プロファイルの詳細を表示することができます。これらの構成プロファイルはモバイルデバイスにインストールすることができます。

以下の 2 つの方法で構成プロファイルをモバイルデバイスにインストールすることができます：

- ニーズに応じた[直接インストール](#)
- [ポリシー](#)による自動方式

Absolute Manage Web Adminから構成プロファイルをインストールする前に、Absolute Manage アドミンインターフェイスを使用してプロファイルをインポートまたは作成する必要があります。詳細については、*Absolute Manage ユーザーガイド*の「構成プロファイルの操作」を参照してください。

➔ Absolute Manage 内で利用可能な構成プロファイルの詳細を表示するには：

1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. サイドバーで、**構成プロファイル**をクリックします。(画面の左上にあるアイコンをクリックし、次に**構成プロファイル**をクリックすることもできます)

利用可能な構成プロファイルのリストが結果グリッドに表示されます。ページ上部にある[検索フィールドを使用](#)にて、具体的な条件 (プロファイル名または説明など) でリストを絞り込み、素早く特定のプロファイルを探し出すことができます。また、このページの[列レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。


以下の表は、このページで利用可能な構成プロファイルの情報をまとめたものです：

フィールド	適用先	説明
プロファイル名	すべてのデバイス	構成ファイルの名前
説明	すべてのデバイス	プロファイルのオプションの説明
発行組織	すべてのデバイス	プロファイルを提供した組織のオプションの名前
プロファイルのタイプ	すべてのデバイス	プロファイルのタイプ、たとえばデバイスのプロファイルまたはアプリのプロファイル。デバイスのプロファイルにはハードウェアまたはオペレーティング・システムの設定が含まれ、アプリのプロファイルには個々のアプリケーションの設定が含まれます。
プロファイル識別子	すべてのデバイス	プロファイルの識別文字列
プロファイル UUID	すべてのデバイス	プロファイルの固有識別子
削除を許可	すべてのデバイス	プロファイルを遠隔で削除できるか示します
使用された変数	すべてのデバイス	構成プロファイルで使用されている変数をコンマで区切ったリスト

プロビジョニングプロファイルの詳細を表示する

Absolute Manage 内で利用可能なすべてのプロビジョニングプロファイルの詳細を表示することができます。iOS デバイスにこれらのプロファイルをインストールするには、[デバイスにプロビジョニングプロファイルをインストールする](#)を参照してください。

➔ Absolute Manage 内で利用可能なプロビジョニングプロファイルの詳細を表示するには:

1. 割り当て可能なアイテムエリアに移動します。
2. サイドバーで、**プロビジョニングプロファイル**をクリックします。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**プロビジョニングプロファイル**をクリックすることもできます)

利用可能なプロビジョニングプロファイルのリストが結果グリッドに表示されます。ページ上部にある[検索フィールドを使用](#)にて、具体的な条件 (プロファイル名または ID など) でリストを絞り込み、素早く特定のプロファイルを探し出すことができます。また、このページの[列レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。

以下の表は、このページで利用可能なプロビジョニングプロファイルの情報をまとめたものです:

フィールド	適用先	説明
プロファイル名	iOS デバイスのみ	プロビジョニングプロファイルの名前
プロファイル有効期限	iOS デバイスのみ	プロビジョニングプロファイルの有効期限
UUID	iOS デバイスのみ	プロビジョニングプロファイルの固有識別子

アクションを操作する

割り当て可能なアクションページは、スマートポリシーに割り当て可能なアクションを管理するために使用します。アクションを使用すると、モバイルデバイスがスマートポリシーに参加したときに、Absolute Manage が何をすべきか指定することができます。例えば、国外に移動したモバイルデバイスを識別するスマートポリシーがあるとします。アクションを使用すると、モバイルデバイスが国外にいることが検知されたときにユーザーにローミングに関する手順を SMS で送信したり、デバイスにローミングオプションをご自分で設定したりできます。

割り当て可能なアクションページから、以下のアクションを作成できます。

- [デバイスへメッセージを送信](#)
- [電子メールを送信](#)
- [SMS を送信](#)
- [ローミングオプションを設定](#)
- [起動ロックオプションを設定](#)
- [壁紙を設定](#)
- [デバイス名を設定](#)
- [カスタムフィールド値の設定](#)
- [デバイス情報のアップデート](#)
- [アテンションモードの設定](#)
- [デバイスをフリーズ](#)
- [VPP招待を送る](#)
- [VPP でのユーザー登録](#)
- [VPP からのユーザー退任](#)
- [構成プロファイルを削除](#)
- [非管理中デバイスへの降格](#)

このページにリストアップされている既存のアクションから、以下のタスクも実行できます：


- [アクションの詳細を表示する](#)
- [アクションを編集する](#)
- [アクションを複製する](#)
- [アクションを削除する](#)

また、検索フィールドに特定の検索条件を入力して[個別のアイテムを検索](#)したり、結果グリッドに含まれる[情報をカスタマイズ](#)したりできます。

アクションの詳細を表示する

Absolute Manage Web Admin 内で作成したアクションの詳細は、各アクションに関連付けられたプロパティやポリシーを含めて表示することができます。

➔ アクションの詳細を表示するには:

1. 割り当て可能なアイテム > アクションエリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次にアクションをクリックすることもできます)
2. 結果グリッドで、詳細を表示したいアクションをクリックします。

アクションの詳細ページが開きます。以下の表は、このページで利用可能な情報をまとめたものです:



フィールド	説明
すべてのアクション	
名前	Absolute Manage に保存されているアクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明テキスト。この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
タイプ	実施するアクションのタイプ
ターゲットプラットフォーム	アクションが適用されるモバイルデバイスのプラットフォーム
最終更新日	アクションが最後に変更された日付と時刻
デバイスへメッセージを送信	
メッセージの本文	モバイルデバイスに送信され、アクションをトリガーするテキスト。このメッセージは、モバイルデバイスの画面に表示されます。
電子メールを送信	
To	電子メールの送信先
CC	電子メールのコピーの送信先 (あれば)
件名	電子メールの件名
メッセージの本文	電子メールの本文
SMS を送信	
メッセージの本文	送信するメッセージ、最大 140 文字
電話番号	SMS のテキストメッセージを送信する電話番号
ローミングオプションを設定	
音声ローミング	スマートポリシーに参加するモバイルデバイスで設定する、音声ローミングオプション
データローミング	モバイルデバイスをスマートポリシーに入れるために設定するデータローミングオプション
アクティベーションロックオプションを設定	
アクティベーションロック	「iPhone を探す」 「iPad を探す」設定を通じて、アクティベーションロックを iOS デバイスで有効にできるかを示す。
壁紙を設定	
壁紙のオプション	モバイルデバイスの壁紙に何を適用するかを示す

フィールド	説明
画像	アップロードした壁紙画像のプレビュー
画像のサイズ	アップロードした壁紙画像のサイズ
デバイス名を設定	
デバイス名	アクションがモバイルデバイスに適用する新しいデバイス名
カスタムフィールド値の設定	
カスタムフィールド	値を設定するカスタムフィールド
値	モバイルデバイスのカスタムフィールドに適用される値であり、それに基づいてアクションを実施する
アテンションモードの設定	
アテンションモード	アクションがアテンションモードを有効または無効にするかを示す
テキスト	アテンションモードが有効なときに、モバイルデバイスの画面に表示されるメッセージ
VPP でのユーザー登録とVPP 招待を送る	
件名	個々の電子メールの件名
メッセージの本文	電子メールまたは AbsoluteApps を使用して送信される招待メッセージの本文
SMS の本文	SMS から送信される招待メッセージの本文
招待を送る	アクションが VPP 登録通知をユーザーに送信するときに経由するチャンネル
VPP アカウント	アクションがモバイルデバイスのユーザーを登録するときに使用する VPP アカウント
VPP からのユーザー退任	
VPP アカウント	アクションがモバイルデバイスのユーザーを削除するときに使用する VPP アカウント
構成プロファイルを削除	
プロファイル	アクションがモバイルデバイスから削除する対象となる構成プロファイル

このページから以下のタスクも実行できます:

- [アクションの複製](#)
- [アクションの編集](#)
- [アクションの削除](#)

3. アクションが割り当てられているスマートポリシーを表示するには、**ポリシータブ**をクリックします。このタブから以下のタスクも実行できます:

- このタブから**アクションをポリシーに追加**ボタンをクリックすることで、[アクションをスマートポリシーに追加](#)します。
- 該当するスマートポリシーのチェックボックスを選択し、 をクリックすることによって、[アクションをスマートポリシーから削除](#)します。
- 該当するスマートポリシーのチェックボックスを選択し、 をクリックすることによって、アクションの**ポリシー割り当てルールを編集**します。

ページ上部にある[検索フィールド](#)を使用して、具体的な条件 (ポリシー名など) で一覧表示された項目を絞り込むことで、これらのページの特定の結果を素早く探し出すことができます。また、これらのページの[列レイアウトをカスタマイズ](#)し、最も関連のある情報を表示することもできます。


アクション: デバイスへメッセージを送信

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときの、モバイルデバイスへメッセージを送信するアクションを作成することができます。このアクションは、iOS および Android デバイスのみで利用できます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 デバイスへのメッセージの送信アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ デバイスへのメッセージの送信アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > デバイスへメッセージを送信**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム
メッセージの本文 *	モバイルデバイスに送信し、アクションをトリガーするテキスト。 このメッセージは、モバイルデバイスの画面に表示されます。メッセージには、 デバイスおよびユーザー関連の変数 も使用できます。メッセージの最大長さは 140 文字です。

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション:メールを送信

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、指定したアドレス (例えばアドミニストレーターのアドレス) にメールを送信するアクションを作成することができます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 メールを送信アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ メールを送信アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > メールを送信**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム
件名 *	アクションによって生成される電子メールの件名
To *	Toフィールドに入力する、受信者のメールアドレス このフィールドに複数のアドレスを入力するには、コンマで区切ります (",")。
CC	電子メールのコピーを送信する宛先のメールアドレス このフィールドに複数のアドレスを入力するには、コンマで区切ります (",")。
メッセージ	電子メールの本文 本文には デバイスおよびユーザー関連の変数 も使用できます。

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション:SMSを送信

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、指定した電話番号（例えばアドミニストレーターの電話番号）に SMS テキストメッセージを送信するアクションを作成することができます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で（お客様が展開している他のアクションと一緒に）それらを表示および管理することができます。

注記 SMS 送信アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ SMS の送信アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。（画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます）
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > SMSを送信**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム
電話番号 *	SMS テキストメッセージの送信先の電話番号 このフィールドに複数の電話番号を入力するには、コンマで区切ります (",")。
メッセージ *	送信するテキストメッセージ メッセージには、 デバイスおよびユーザー関連の変数 も使用できます。メッセージの最大長さは 140 文字です。

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。

アクション:ローミングオプションを設定


アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、データおよび音声ローミングの許可を設定するアクションを作成することができます。このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。

注記 モバイルデバイスのユーザーは、自分のデバイスのローミング設定をいつでも変更することができます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 ローミングオプションの設定アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ ローミングオプションの設定アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > ローミングオプションを設定**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。
音声ローミング データローミング	アクションに関連付ける音声およびデータローミングオプション: <ul style="list-style-type: none"> ● そのままにする – モバイルデバイスの現在の設定をそのまま残します ● オフ – モバイルデバイスの音声またはデータローミングを無効化します ● オン – モバイルデバイスの音声またはデータローミングを有効化します

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てるには、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。

アクション:アクティベーションロックオプションを設定

iOS 7 以降のデバイスはアクティベーションロック機能を搭載しています。これは Apple の「iPhone を探す」サービスの一部です。アクティベーションロック機能では、デバイスを再アクティベーションまたは消去するために、デバイスのユーザーの Apple ID とパスワードを入力する必要があります。


アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが該当したときの、モバイルデバイスでのアクティベーションロック機能の利用可否を設定するアクションを作成することができます。このアクションは、iOS 7 以降を実行している、監視対象下にあるデバイスでのみ利用できます。

注記 この機能がデバイスで有効になっている場合、このアクションを使用してアクティベーションロック機能を無効にすることはできません。デバイスで有効になっているアクティベーションロック機能を無効にする方法については、Absolute Manage ユーザーガイドの「すでに有効なアクティベーションロックを無効化する」を参照してください。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 アクティベーションロックオプションの設定アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ アクティベーションロックオプションの設定アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**Aアクションを追加 > アクティベーションロックオプションを設定**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。
アクティベーションロック	アクティベーションロック機能の使用可否: <ul style="list-style-type: none"> ● 禁止 - モバイルデバイスでアクティベーションロック機能を有効にすることはできなくなります。「iPhone を探す」がオンであるかを問わず、オフのままです。しかし、モバイルデバイスでアクティベーションロック機能が現在有効になっている場合、有効な状態のままとなります。 ● 許可 - モバイルデバイスで「iPhone を探す」が有効になると、アクティベーションロック機能も有効になります。選択したデバイスで「iPhone を探す」が無効になると、アクティベーションロック機能も無効になります。

4. 次のいずれかを実行してください。

- アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
- アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てるには、**保存してポリシーに割り当てる**をクリックします。

アクション:壁紙を設定


アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、壁紙を変更するアクションを作成することができます。このアクションは、iOS 7 以降を実行している、監視対象下にあるデバイスでのみ利用できます。

注記 モバイルデバイスのユーザーは、自分のデバイスの壁紙設定をいつでも変更することができます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 壁紙の設定アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ 壁紙の設定アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > 壁紙を設定**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム このアクションは、iOS 7 以降を実行している、監視対象下にあるデバイスでのみ利用できます。
壁紙のオプション	壁紙を適用させたいモバイルデバイスの場所: <ul style="list-style-type: none"> ● ロック画面 – このオプションを選択すると、モバイルデバイスはロックされたときのバックグラウンド画面として、選択した画像を使用します。 ● ホーム画面 – このオプションを選択すると、モバイルデバイスはロックされていないときのバックグラウンド画面として、選択した画像を使用します。

4. 壁紙として使用する画像を参照し、選択します。

選択する画像は、PNG または JPEG フォーマットとしてください。各 iOS デバイスのモデルごとの解像度の指針については、**画像を選択** ボタンの隣にあるツールチップを参照してください。画像を選択すると、プレビューエリアには iPhone の縦画面の壁紙として画像がどのように見えるか表示されます。

5. 次のいずれかを実行してください。

- アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
- **アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる**には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション: デバイス名を設定

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、モバイルデバイス名を変更するアクションを作成することができます。このアクションは、Android デバイスと、iOS 8 以降を実行している監視対象下にあるデバイスでのみ利用できます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 デバイス名の設定アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ デバイス名の設定アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > デバイス名を設定**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム
デバイス名 *	新しいデバイス名 名前には <u>デバイスおよびユーザー関連の変数</u> も使用できます。

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てるには、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション:カスタムフィールド値の設定

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときの、モバイルデバイスでのカスタムフィールド値を設定するアクションを作成することができます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 カスタムフィールド値の設定アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ カスタムフィールド値の設定アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > カスタムフィールド値を設定**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム
カスタムフィールド	値を設定したいカスタムフィールド このリストには、配置内で定義されたすべてのカスタムフィールドが含まれます。
データ型	選択したカスタムフィールドのデータ型
値 *	モバイルデバイスに設定したい値 この値には、 デバイスおよびユーザー関連の変数 も使用できます。 注記 代わりに 削除 を選択すると、カスタムフィールドに関してモバイルデバイスで現在設定されている情報を消去することができます。

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション: デバイス情報のアップデート

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、モバイルデバイスに保存された情報を更新するアクションを作成することができます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 デバイス情報のアップデートアクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ デバイス情報のアップデートアクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > デバイス情報のアップデート**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てるには、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。

アクション:アテンションモードの設定

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、アテンションモードを有効または無効にするアクションを作成することができます。モバイルデバイスがアテンションモードに入ると、デバイスの画面にメッセージが表示され、このモードが無効になるまでユーザーの干渉は行えません。


このアクションは、次の iOS および Android デバイスのみで利用できます。

- AbsoluteApps 1.4.4 以降がインストールされている、監視モードの iOS デバイス
- AbsoluteApps 2.0.5 以降がインストールされている、Samsung for Enterprise (SAFE) デバイス

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 アテンションモードの設定アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ アテンションモードの設定アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > アテンションモードを設定**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム
アテンションモード	このアクションがアテンションモードを有効または無効にするかどうか
アテンションメッセージ*	アテンションモードが有効な場合に、 有効 を選択すると、モバイルデバイスの画面に表示されるメッセージ

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - **アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる**には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。

アクション: デバイスをフリーズ


アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、モバイルデバイスのパスコードを変更してロックするアクションを作成することができます。このアクションにより、ローカルユーザーはそのデバイスにアクセスできなくなります。これは Android デバイスでのみ利用できます。

注記 モバイルデバイスを工場状態にリセットすることで、このロックを逃れることができる場合もありますが、リセットを行うと通常はデバイス上のすべてのデータが削除されます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 デバイスのフリーズアクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ デバイス・フリーズアクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > デバイスをフリーズ**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲット プラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム このアクションは、Android デバイスのみで利用できます。
新しいパスコード *	新しいパスコード このパスコードは、モバイルデバイス上に存在する既存のパスコードに置き換わります。
検証 *	新しいパスコードの確認

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - **アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる**には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。

アクション:VPP招待を送る


ユーザー個人の Apple ID を使用して、Apple Volume Purchase Program (VPP) に登録する招待を送信するアクションを作成することができます。この招待は、アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、ユーザーに送信されます。このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。

ユーザーにこの招待を送信する前に、ユーザーが VPP アカウントに登録済みであることを確認してください (例えば、[VPP でのユーザー登録](#) アクションを使用して)。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 VPP招待の送信アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ VPP招待の送信アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > VPP招待を送る**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。
VPP アカウント	ユーザーを登録させる VPP アカウント このリストには、Absolute Manage サーバーの設定で定義されているすべての VPP アカウントが含まれます。

フィールド	説明
招待を送る	<p>VPP 招待のオプション。以下の通知方法のうち、1つ以上を選択できます:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MDM ダイアログ – モバイルデバイスに表示される MDM ダイアログを通じて招待を送信します。この方法は、iOS 7.0.3 以降を実行しているモバイルデバイスとのみ使用できます。 ● ウェブクリップ – デバイスのホーム画面に配置されているウェブクリップを使用して招待を送信します。 ● SMS – SMS メッセージを通じて招待を送信します。表示されたフィールドにメッセージ (最大 140 文字) を入力します。メッセージには、デバイスおよびユーザー関連の変数も使用できます。 ● 電子メール – 電子メールを通じて招待を送信します。表示されたフィールドにメールの件名と本文を入力します。電子メールの本文にはデバイスおよびユーザー関連の変数も使用できます。 ● AbsoluteApps メッセージ – AbsoluteApps メッセージを通じて招待を送信します。表示されたフィールドにメッセージの本文を入力します。メッセージには、デバイスおよびユーザー関連の変数も使用できます。この方法は、AbsoluteApps がインストールされているモバイルデバイスとのみ使用できます。 <hr/> <p>注記 デバイスおよびユーザー関連の変数に加えて、MD_VPPInviteURL 変数も招待テキスト内で使用できます。Apple ウェブページへのリンクが表示され、ユーザーがそこに Apple ID を入力し、VPP に登録できます。</p>

4. 次のいずれかを実行してください。

- アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
- [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション:VPP でのユーザー登録

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、Apple Volume Purchase Program (VPP) にモバイルデバイスを追加するアクションを作成することができます。また、オプションで個人の Apple ID を使用して、プログラムにユーザー登録する招待を送信することもできます。このアクションは、iOS デバイスでのみ利用できます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 VPP でのユーザー登録アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ VPP でのユーザー登録アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > VPP でのユーザー登録**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。
VPP アカウント	デバイスのユーザーを登録するときに使用する VPP アカウント このリストには、Absolute Manage サーバーの設定で定義されているすべての VPP アカウントが含まれます。

フィールド	説明
オプションの登録	<p>VPP 登録オプション:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー登録のみ – このオプションを選択すると、このアクションの影響を受けるユーザーは、選択した VPP アカウントに登録されますが、Apple ID をアカウントにリンクする招待は受けていません。この招待は、ユーザーが VPP を通じてアプリをダウンロードし、使用する前に、後で (例えば VPP 招待を送る アクションを使用して) 行われます。この 2 ステップのプロセスは Apple のサーバー上で行った方が、ユーザーの登録と招待を同時に行うよりも迅速なため、多数のユーザーを登録する場合はこのプロセスが推奨されます。 ● ユーザーの登録および招待 – このオプションを選択すると、このアクションの影響を受けるユーザーは、選択した VPP アカウントに登録され、さらに Apple ID をアカウントにリンクする招待を受けます。VPP 登録招待をユーザーに送信するために使用するチャンネルを選択します。ユーザーは、個人の Apple ID とパスワードを Apple の VPP ウェブサイトに入力することで、自分で登録を完了する必要があります。以下の通知方法のうち、1つ以上を選択できます: <ul style="list-style-type: none"> – MDM ダイアログ – モバイルデバイスに表示される MDM ダイアログを通じて招待を送信します。この方法は、iOS 7.0.3 以降を実行しているモバイルデバイスとのみ使用できます。 – ウェブクリップ – デバイスのホーム画面に配置されているウェブクリップを使用して招待を送信します。 – SMS – SMS メッセージを通じて招待を送信します。表示されたフィールドにメッセージ (最大 140 文字) を入力します。メッセージには、デバイスおよびユーザー関連の変数も使用できます。 – 電子メール – 電子メールを通じて招待を送信します。表示されたフィールドにメールの件名と本文を入力します。電子メールの本文にはデバイスおよびユーザー関連の変数も使用できます。 – AbsoluteApps メッセージ – AbsoluteApps メッセージを通じて招待を送信します。表示されたフィールドにメッセージの本文を入力します。メッセージには、デバイスおよびユーザー関連の変数も使用できます。この方法は、AbsoluteApps がインストールされているモバイルデバイスとのみ使用できます。 <p>注記 デバイスおよびユーザー関連の変数に加えて、MD_VPPInviteURL 変数も招待テキスト内で使用できます。Apple ウェブページへのリンクが表示され、ユーザーがそこに Apple ID を入力し、VPP に登録できます。</p>

4. 次のいずれかを実行してください。

- アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
- [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション:VPP からのユーザー退任

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、Apple Volume Purchase Program (VPP) からモバイルデバイスを削除するアクションを作成することができます。このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 VPP からのユーザー退任アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ VPP からのユーザー退任アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > VPP からのユーザー退任**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム このアクションは、iOS デバイスのみで利用できます。
VPP アカウント	モバイルデバイスを削除する VPP アカウント このリストには、Absolute Manage サーバーの設定で定義されているすべての VPP アカウントが含まれます。

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - **アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる**には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。


アクション:構成プロフィールを削除

アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときに、モバイルデバイスから構成プロフィールを削除するアクションを作成することができます。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 構成プロフィールの削除アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ 構成プロフィールの削除アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション**エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > 構成プロフィールを削除**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。

フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
プロフィール	モバイルデバイスから削除する構成プロフィール リスト内の構成プロフィールは、モバイルデバイスのプラットフォームごとにまとめられています。

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - **アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる**には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。

アクション:非管理中デバイスへの降格


アクションを指定したスマートポリシーにモバイルデバイスが参加したときの、モバイルデバイスから MDM 制御を (該当する場合は Absolute Manage クライアントソフトウェアも) 削除するアクションを作成することができます。このアクションをモバイルデバイスに適用すると、Absolute Manage を通じた管理が行えなくなります。このアクションは、iOS および Android デバイスのみで利用できます。

重要 Absolute Manage ではこのアクションを元に戻すことができません。管理外としたモバイルデバイスを再度 Absolute Manage で管理する場合、そのデバイスを再登録する必要があります。

アクションを作成したら、**割り当て可能なアイテム > アクション** エリアの中で (お客様が展開している他のアクションと一緒に) それらを表示および管理することができます。

注記 非管理中デバイスへの降格アクションを編集または複製する場合、以下のタスクの表を参照し、アクションで利用可能なフィールドの説明をご確認ください。

➔ 非管理中デバイスへの降格アクションを作成するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション** エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 作業エリアのツールバーで、**アクションを追加 > 非管理中デバイスへの降格**をクリックします。
3. 次の情報を入力します。入力必須フィールドにはアスタリスク (*) が付いています。



フィールド	説明
アクション名 *	アクションの名前
説明	アクションの目的を明らかにする説明 この文章はAbsolute Manage Web Adminに表示され、自分自身と他のアドミニストレーターの参考用です。
ターゲットプラットフォーム	このアクションが適用されるモバイルデバイスのターゲットプラットフォーム

4. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - **アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる**には、**保存してポリシーに割り当て**をクリックします。

アクションを編集する

アクションを編集すると、変更内容は、そのアクションが現在割り当てられているスマートポリシーに、自動的に適用されます。



→ アクションを編集するには:

1. **割り当て可能なアイテム** > **アクション**エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 結果グリッドで、編集したいアクションのチェックボックスを選択します。
3.  をクリックします。
4. アクションのプロパティを適宜編集します。特定のアクションタイプに関する情報については、[アクションを操作する](#)を参照してください。
5. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当てる**をクリックします。

アクションを複製する

既存のアクションのコピーを作成し、編集することで別のアクションを作成できます。



→ アクションを複製するには:

1. **割り当て可能なアイテム** > **アクション**エリアに移動します。(画面の左上にあるアイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 結果グリッドで、複製したいアクションのチェックボックスを選択します。
3. をクリックします。
4. アクションのプロパティを適宜編集します。特定のアクションタイプに関する情報については、[アクションを操作する](#)を参照してください。
5. 次のいずれかを実行してください。
 - アクションをすぐにスマートポリシーに割り当てない場合、**保存**をクリックしてアクションを保存します。
 - [アクションを保存して1つ以上のスマートポリシーに割り当てる](#)には、**保存してポリシーに割り当てる**をクリックします。

アクションを削除する

アクションを削除する場合、そのアクションが割り当てられているスマートポリシーからも自動的に削除されます。

➔ アクションを削除するには:

1. **割り当て可能なアイテム > アクション**エリアに移動します。(画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**アクション**をクリックすることもできます)
2. 結果グリッドで、削除したいアクションのチェックボックスを選択します。
3.  をクリックします。
4. **アクションを削除**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

カスタムフィールドを操作する

モバイルカスタムフィールドページを使用して、モバイルデバイス向けにカスタマイズした情報フィールドを管理します。これらのカスタムフィールドは、お客様の展開で保存されるモバイルデバイスに関する情報量を増やすことができるため、お客様の組織からの特殊なデータ要件に対処することに役立ちます。カスタムフィールドに含まれるデータは、標準のインベントリ情報とともに Absolute Manage サーバーに保存されます。

モバイルカスタムフィールドエリアでは、以下のタスクを実行することができます。

- [カスタムフィールドを作成する](#)
- [カスタムフィールドを編集する](#)
- [カスタムフィールドを複製する](#)
- [カスタムフィールドを削除する](#)

検索フィールドに特定の検索条件を入力し、[個別のアイテムを検索](#)することもできます。


カスタムフィールドを作成する

配置内のモバイルデバイスに関する、選択した任意の種類情報を保存するカスタムフィールドを作成することができます。カスタムフィールドを使用すると、Absolute Manage によって提供される情報アイテムの所定のリストを拡張し、組織の固有の要件を満たすカスタマイズしたインベントリを構築できます。

カスタムフィールドを作成したら、次の方法でモバイルデバイス上の値を設定することができます。

- 個別のモバイルデバイスの場合、デバイス詳細ページから[カスタムフィールドを設定](#)できます。
- 複数のデバイスの場合、[カスタムフィールド値の設定アクションを作成](#)し、[それをスマートポリシーに割り当てます](#)。

➔ カスタムフィールドグループを作成するには:

1. 画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルカスタムフィールド**をクリックします。
2. **カスタムフィールドを追加**をクリックします。
3. カスタムフィールドの名前を入力してください。
4. カスタムフィールドの説明を入力してください。
5. カスタムフィールドを変数として使用し、[フィールドの内容を特定のメッセージおよび名前に埋め込む](#)場合は、変数名を入力します。
6. フィールドに保存したいデータの種類を選択します。
 - **文字列** – フォーマットされていない任意のテキスト
 - **数** – 任意の数値。複数の表示フォーマットから選択できます。
 - **Boolean** – true または false 値
 - **日付** – 具体的な日付と時間
 - **ファイルバージョン** – 対象モバイルデバイスのプラットフォームの入力規則に従ったバージョン番号。iOS で有効なファイルのバージョン番号は、ピリオド区切りの最大 3 つの整数で構成され、任意で「a」、「b」、「d」、「f」および別の整数が続きます (例えば、1.0、2.4.1、6.8d1)。
Android および Windows Phone で有効なファイルのバージョン番号は、ピリオド区切りの最大 4 つの整数で構成されます (例えば、5.7、3.0.0.233)。
 - **IP アドレス** – IPv4 アドレス (例えば、192.168.0.1)
 - **数え上げ** – 事前定義済みリストの値。1 行ごとに 1 つのアイテムを入力し、可能な値のリストを指定します。



注記 すべての数え上げ値は、文字列として扱われます。

7. **フィールドを追加**をクリックします。
8. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

カスタムフィールドを編集する

既存のカスタムフィールドのプロパティは、フィールドのデータ型を除いて任意に編集できます。



➔ カスタムフィールドを編集するには:

1. 画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルカスタムフィールド**をクリックします。
2. 結果グリッドで、編集したいカスタムフィールドのチェックボックスを選択します。
3.  をクリックします。
4. フィールドのプロパティを適宜編集します。既存のカスタムフィールドのデータ型は編集できません。
5. **保存**をクリックします。
6. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

カスタムフィールドを複製する

既存のカスタムフィールドのコピーを作成し、編集することで別のフィールドを作成できます。



➔ カスタムフィールドを複製するには:

1. 画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルカスタムフィールド**をクリックします。
2. 結果グリッドで、複製したいカスタムフィールドのチェックボックスを選択します。
3.  をクリックします。
4. フィールドのプロパティを適宜編集します。カスタムフィールドのプロパティ情報については、[カスタムフィールドを作成する](#)を参照してください。
5. **保存**をクリックします。
6. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

カスタムフィールドを削除する

カスタムフィールドを削除する場合、そのフィールドに関連付けられたすべてのデータも削除されます。

➔ カスタムフィールドを削除するには:

1. 画面の左上にある  アイコンをクリックし、次に**モバイルカスタムフィールド**をクリックします。
2. 結果グリッドで、削除したいカスタムフィールドのチェックボックスを選択します。
3.  をクリックします。
4. **削除**をクリックします。
5. **OK** をクリックして確認メッセージを閉じてください。

用語集

A

Absolute Manage

組織がそのエンドポイントのすべてを、PC、Mac、iOS、Android、Windows Phone デバイスを含む単独コンソールから永続的に管理し、安全を確保できるようにします。Absolute Manage は、完全な資産管理ソリューションとして展開することも、モバイルデバイスの管理 (MDM) のスタンドアロンソリューションとして展開することもできます。

Absolute Manage Admin

Absolute Manage システムを通じてクライアントデバイス (コンピューターとモバイルデバイスの両方) を管理するため、アドミニストレーターが各自のワークステーションにインストールできるソフトウェアアプリケーション。これとは対照的に、Absolute Manage Web Admin はモバイルデバイスのみを管理するため、アドミニストレーターがブラウザ経由でアクセスする Web ベースのアプリケーションです。

AbsoluteApps

モバイルデバイスにインストールされ、Absolute Manage へのリンクとして機能するクライアントアプリケーション。AbsoluteApps はモバイルデバイスのステータスについてレポートし、アドミニストレーターがデバイスを遠隔操作できるようにします。

AbsoluteSafe

iOS と Android デバイスのための Absolute Manage クライアント・アプリケーションであり、アドミニストレーターがモバイルデバイスのユーザーに確実にメディアを配信できるようにします。

ActiveSync

モバイルデバイスが Microsoft Exchange サーバーとデータおよびポリシーを同期できるようにするプロトコル。

ATA

アドバンスドテクノロジーアタッチメント。コンピューターの記憶装置 (例えば、ハードディスクドライブや光ディスクドライブなど) を接続するための古いインターフェース規格。

B

BIOS

基本入出力システム。コンピューターの電源を入れた後に、コンピューターを起動するために使用される内蔵ファームウェア。BIOS は、コンピューターのオペレーティング・システムと、接続されているすべてのデバイスの間のデータフローも管理します。

Bluetooth

電子デバイス間で、データをワイヤレスに短距離だけ交換するための技術基準。

C

CDMA

符号分割多元接続。北米およびアジアで最も一般的な、スペクトル拡散技術を使用するデジタルセルラー技術。

CPU

中央処理装置。ハードウェアとソフトウェアの命令を解釈して実行するモバイルデバイス内のコンポーネント。

D

DHCP

動的ホスト構成プロトコル。インターネットプロトコル(IP)ネットワーク上で使用される標準化されたネットワークプロトコルであり、インタフェースおよびサービスのためにIPアドレスなどのネットワーク構成パラメータを動的に配信します。

DNS

ドメイン名システム。コンピューター、サービス、またはインターネットやIPアドレスにドメイン名とホスト名を変換するプライベートネットワークに接続されているすべてのリソースのための、階層的な分散型ネーミングシステム。

DST

夏時間。夏の間時計を早めることで起床時間を早くし、夕方の明るい時間を楽しめるようにする慣習。一般的に、春の初めに時計を1時間先に進め、秋になると戻すように調整します。DSTの正確な開始日と終了日は場所によって変わります。

E

EDGE

拡張型データ GSM 環境。より高速なデータレートおよびモバイルデバイスへのマルチメディアの配信を可能にするために設計された、GSM 規格の後続バージョン。

F

FireWire

デジタルデバイス間の高速通信とデータ交換を可能にする技術。

FTP

ファイル転送プロトコル。インターネット上で、あるコンピューターから別のコンピューターにファイルを転送するために使用される、標準的なネットワークプロトコル。

G

GB

ギガバイト。バイトの倍数。デジタル情報の大きさを測る単位。1ギガバイトは、使用される測定基準に応じて、1,000,000,000または1,073,741,824バイトに相当します。

GPRS

汎用パケット無線サービス。モバイルデバイスがインターネットへの常時接続を維持することを可能にする、GSM ネットワークで使用するパケットベースの無線データ規格。GPRS はモバイルデバイスの最初一般的なデータ規格であり、EDGE および UMTS へと進化しました。

GPS

グローバル・ポジショニング・システム。4個以上のGPS衛星までの直線上に見通しを遮るものがない場合に、地球上または地上付近の任意の場所で、正確な位置と時間の情報を提供することができる、ナビゲーション衛星のグローバルシステム。

GSM

グローバル移動体通信システム。デジタルセルラー通信のための、世界で最も幅広く使用されている国際規格。

I

ICC 識別子

集積回路カードの識別子。各 SIM を一意に識別する、22桁までの番号。

IMEI

国際移動体装置識別番号。すべての3GPP (GSM、UMTS、およびLTE) モバイルデバイスを一意に識別する15桁の番号。

IMEISV

国際移動体装置識別ソフトウェアのバージョン。2桁のソフトウェアのバージョン番号であり、モバイルデバイスにインストールされたソフトウェアの改訂を識別するIMEIに添付されています。

IPv4 アドレス

インターネットプロトコルバージョン4のアドレス。通信用インターネットプロトコルバージョン4を使用してネットワーク内の各デバイスに割り当てられた数値ラベル。

iTunes

iOS デバイス上のファイルおよびアプリケーションを管理するためのインターフェースを提供する、Apple のモバイルデバイス管理アプリケーション。

iTunes Store

Apple デバイスのユーザーが、音楽、ビデオ、電子書籍、およびその他のメディアを購入・ダウンロードすることができる、Apple が運営するオンラインデジタルメディアストア。

M

MAC アドレス

メディアアクセス制御アドレス。12桁の16進数の番号であり、ハードウェアデバイスがネットワーク上で自分自身を一意に識別するために使用します。

MDM

モバイルデバイスの管理。Absolute Manage のモジュールであり、モバイルデバイスを MDM サーバーを通じて管理するためのサポートとなります。

MEID

モバイル機器識別子。すべての CDMA モバイルデバイスを一意に識別する14桁の番号。

O

OS

オペレーティング・システム。モバイルデバイス上のソフトウェアで、ハードウェアリソースを管理して各種アプリケーションに共通のサービスを提供します。

P

PCI

ペリフェラルコンポーネントインターコネクト。コンピューターのマイクロプロセッサと、モデムカードやネットワークカードなどの拡張スロットを通じて接続されているすべてのデバイスとの間の相互接続システム。

R

RAM

ランダムアクセスメモリー。命令やデータ迅速を迅速に実行するための一時的なワークスペースを提供する、モバイルデバイスの主なタイプのメモリー。

ROM

読み取り専用メモリー。コンピューターの電源を切っても、データを恒久的に記憶する記憶媒体の種類。通常、ROM は読み取り専用で、書き込みはできません。

S

SCSI

小型計算機システムインターフェース。プリンター、ディスクドライブ、スキャナー、コンピューターに接続している他の周辺機器を取り付けるため、米国規格協会 (ANSI) によって開発されたパラレルインターフェース規格のセット。

SD

セキュアデジタル。スマートフォンなどの携帯機器で使用されるメモリーカード。

SIM

加入者識別モジュール。モバイルデバイスの加入者を識別し、認証するために使用する情報を安全に保存する集積回路。SIM回路は、「SIMカード」と呼ばれる着脱可能なプラスチック製のカードに埋め込まれています。

SMC

システム管理コントローラー。さまざまな内部システムを制御する Intel プロセッサベースの Mac コンピュータのサブシステム。

T

TCP

伝送制御プロトコル。データの配信保証を必要とするアプリケーションによって使用される、トランスポート層プロトコル。

U

UDID

デバイスの一意の識別子。iPhone、iPod touch、iPad を一意に識別する 40 桁のひと続きの文字と数値。

UMTS

ユニバーサル移動通信サービス。モバイルユーザーに高速データおよびマルチメディア機能を提供する、GSM 規格に基づいたセルラーネットワークのための第三世代 (3G) モバイルブロードバンドシステム。

USB

ユニバーサルシリアルバス。電子デバイスとその周辺機器との接続を定義する業界基準。

UTC

協定世界時。世界が時計と時間を調節する基準となるプライマリ時間標準。UTC はグリニッジ標準時 (GMT) と密接に関係し、一般的に交換可能です。

UUID

汎用一意識別子。インターネットオブジェクトまたはデータを一意に識別する128ビットの番号。

V

VPN

仮想プライベートネットワーク。インターネットなどの公共ネットワークを経由でプライベートネットワークへの安全な接続を作成するネットワーク技術。

VPP

Volume Purchase Program。組織が iOS アプリケーションを大量に購入し、アクティベーションコードの使用により、モバイルデバイスのユーザーにそれらを配信することができる、Apple が提供するプログラム。

W

Wi-Fi

電子デバイスがインターネットに接続したり、電波を介して特定のエリア内の別の電子デバイスと無線で相互に通信することを可能にする技術。

ア

アクション

モバイルデバイスがスマートポリシーに参加したときに、Absolute Manage が何をすべきか指定することを可能にします。

アクティブ・ディレクトリ

Windows ドメインネットワークのために Microsoft によって開発され、プロセスとサービスのセットとしてほとんどの Windows Server オペレーティング・システムに含まれているディレクトリ・サービス。

イ

インハウスアプリケーション

組織が IT 展開中のモバイルデバイス上で使用するために開発したアプリケーション。

エ

エージェント

展開内のすべてのデバイスとの接続を維持することを可能にする、エンドポイントソフトウェアモジュール。エージェントは、定期的に Absolute Manage サーバーに予約コールを行ってデバイスのステータスを報告し、デバイスの遠隔管理を行います。

オ

オープンディレクトリ

Mac OS X サーバーのネイティブディレクトリサービス。

カ

カーネル

デバイスのソフトウェアとハードウェアの間のブリッジとして機能する、モバイルデバイスのオペレーティング・システムの基本的な部分。

キ

キャッシュ

モバイルデバイスがランダムアクセスメモリー (RAM) よりも迅速にアクセスできるメモリーのタイプ。これは、アプリケーションを実行するために何度も必要になる命令を保存するために使用され、デバ

イス全体の速度を向上します。

サ

サードパーティアプリケーション

社外で開発され、Google Play や App Store のような配信プラットフォームを通じて一般的に入手可能な、モバイルデバイス用のアプリケーション。

ス

スマートポリシー

どのモバイルデバイスをポリシーに含めるか決定するため、フィルター基準を設定することを可能にするポリシー。

スワップ領域

一時的に非アクティブなメモリーページを保持し、RAM と一緒に、マシンの仮想メモリーを構成するハードディスク上の領域。スワップ領域は、マシンがアクティブなプロセスのための物理メモリーを必要とし、未使用の利用可能な物理メモリーが不十分な場合に使用されます。

パ

パーシスタンス

Absolute Manage クライアントソフトウェアを削除しようとしたり、工場リセットした後でもこのソフトウェアをデバイスに留めることができる技術。パーシスタンス技術は一部の Android デバイスでサポートされています。

ハ

ハートビート

エージェントが送信する定期的な信号で、エージェントがまだコンピューター上で実行されていることを示します。

パスコード

モバイルデバイスにアクセスするために必要な、英数字の文字列。

プ

プッシュ通知

アプリケーションで使用される技術であり、アプリケーションを開く必要なしに、コンテンツの更新、メッセージ、またはその他のイベントについてモバイルデバイスのユーザーに警告します。

プロビジョニングプロファイル

iOS デバイスにのみ適用されます。必要なデジタル証明書、App ID、UDID を含むバイナリファイルで、エンタープライズまたはベータアプリケーションを、App Store の外で iOS デバイスに配信することを可能にします。

ポ

ポリシー

モバイルデバイスの管理の特定の場面を自動化するために使用できるツール。ポリシーには目標となるモバイルデバイスの集合に加えて、以下の要素 (サードパーティアプリケーション、構成プロファイル、メディアファイル) の1つ以上が含まれます。使用できるポリシーは、標準ポリシーとスマートポリシーの2種類です。

メ

メディアファイル

ポリシーを通じてモバイルデバイスに配信できるファイル。

ロ

ローミング

モバイルデバイスが標準のキャリアネットワーク外に移動し、音声またはデータサービスを再開するために他のキャリアのネットワークに接続すること。

構

構成プロファイル

モバイルデバイスとOS X コンピューターに一般的な設定 (たとえば Wi-Fi、VPN、e メール、またはアプリケーション固有の設定) を容易に配信する方法です。

標

標準ポリシー

ポリシーから、またはポリシーへ特定のモバイルデバイスを手動で追加したり削除したりすることを可能にするポリシー。

管

管理デバイス

Absolute Manage サーバーに登録されているモバイルデバイスであり、Absolute Manage Web Admin から管理できるデバイス。